

一等水準点検測成果集録

第 24 卷

(昭和54年度観測)

昭和55年10月

建設省国土地理院

記

本集録は、昭和54年度に、国土地理院が行った一等水準点検測の結果を集録、図示したものである。

なお、地盤変動調査のため行った測量のうち、別途報告書が発表される地域の一部のものについては、本集録では省略した。

昭和55年10月

建設省国土地理院

一等水準点検測成果集録

第 24 卷

(昭和54年度観測)

目 次

1. 観測器械および観測法	3
(1) 観 測 器 械	
(2) 観 測 法	
2. 検測区域および期間	7
3. 変動図の説明	12

付図 一等水準路線図

一等水準点変動図

1. 観測器械および観測法

昭和54年度において使用した観測器械および観測法は次のとおりである。

(1) 観測器械

A 水準儀

水準儀名称	望遠鏡倍率	水準器感度
Wild製N3型精密水準儀	42倍	10"/2mm (合致式)
Carl Zeiss Jena製Ni002型精密自動水準儀	40倍	公称視準精度 0.05"

B 水準標尺

水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
		材質	目盛法
Wild製精密水準標尺	3m	インバール(巾2.6cm、長さ3mのものを20Kgの張力で緊張してある)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
Carl Zeiss Jena製精密水準標尺	3m	"	"

(2) 観測法

観測に際しては、地上によく踏みこんだ鉄製標尺台に、標尺を尺付属の円形水準器によって鉛直に立て、水準儀は両標尺間の中央に整置し、後視-前視、更に前視-後視の順序に観測を行う。

整準ねじによってまず、円形水準器の気泡を中央に導き、第1回視準(後視-前視)は右側目盛分画線、第2回視準(前視-後視)は左側目盛分画線を視準する。

Wild製N3型精密水準儀の場合は微傾動ねじによって主水準器気泡の映像を合致させ、測微装置によって、くさび型十字糸で分画線を正しく挟んで10分の1mmまで読みとる。

Carl Zeiss Jena製Ni002型精密自動水準儀の場合は第1回視準はコンペンセーターがIの位置、第2回視準はコンペンセーターがIIの位置において測微装置によってくさび型十字糸で分画線を正しく挟んで10分の1mmまで読みとる。

水準儀と標尺の距離は、平地では通常 50 m 以内とし、各水準点間 2 km、(地点標に併設された水準点間は 1 km) を往復観測行い、その往復差は、 $2.5 \text{ mm} \sqrt{S}$ (S は片道の観測距離で km 単位) 以内である。

なお、標尺の検定は、定期的にレーザー干渉計により比較測定して行い、観測値に所要の補正をする。

付 表

昭和54年度以前において使用した観測器械および観測法

(1) 観 測 器 械

A 水 準 儀

観 測 年 度	水 準 儀 名 称	望 遠 鏡 倍 率	水 準 器 感 度
大正13年(1924)以前	Carl Bamberg製 一等水準儀(Y型)	3.6倍	4" ~ 5" / 2mm
昭和27年(1952)以前	Carl Zeiss製 Ⅲ型精密水準儀	3.6倍	10" ~ 12" / 2mm (合致式)
昭和30年(1955)以前	Carl Zeiss製 Ⅲ型精密水準儀	3.6倍	"
	Wild製N3型精密水準儀	4.2倍	10" / 2mm (合致式)
昭和42年(1967)以前	Wild製N3型精密水準儀	4.2倍	"
昭和44年(1969)以前	Wild製N3型精密水準儀	4.2倍	"
	Zeiss製Ni2型精密水準儀	3.2倍	円形水準器 8'
昭和53年(1978)以前	Wild製N3型精密水準儀	4.2倍	10" / 2mm (合致式)
昭和54年(1979)	Wild製N3型精密水準儀	4.2倍	10" / 2mm (合致式)
	Carl Zeiss Jena製 Ni002型精密自動水準儀	4.0倍	公称視準精度 0.05"

B 水 準 標 尺

観 測 年 度	水 準 標 尺 名 称	長 さ	目 盛 部 の 状 況	
			材 質	目 盛 法
大正13年以前 (1924)	Carl Bamberg製 水準標尺	3m	U.S.S.R産自然 乾燥赤揚	木部の表面に直接 5mmごとに目盛る
昭和27年以前 (1952)	Carl Zeiss製 精密水準標尺	3m	インバール(巾2.6 cm長さ3mのもの を20Kgの張力で 緊張してある)	インバール帯の中央 線の両側に2.5mm の差をもって5mm ごとに目盛る

観測年度	水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
			材質	目盛法
昭和30年以前 (1955)	Carl Zeiss 製 精密水準標尺	3 m	インパール(巾 2.6 cm長さ 3 mのものを 20 Kgの張力で緊張してある)	インパール帯の中央線の両側に 2.5 mmの差をもって 5 mmごとに目盛る
	Wild 製精密水準標尺	3 m	"	同上 5 mmの差をもって 10 mmごとに目盛る
昭和42年以前 (1967)	Wild 製精密水準標尺	3 m	"	"
昭和44年以前 (1969)	Wild 製精密水準標尺	3 m	"	"
	Zeiss 製精密水準標尺	3 m	"	"
昭和53年以前 (1978)	Wild N3 型精密水準標尺	3 m	"	"
昭和54年 (1979)	Wild N3 型精密水準標尺	3 m	"	"
	Carl Zeiss Jena 製 精密水準標尺	3 m	"	"

(2) 観測法

観測器械 区分	Carl Bamberg	Carl Zeiss	Wild N3	Zeiss Ni2	Carl Zeiss Jena Ni002
視準順序	上方分画— 下方分画	後視—前視 —前視—後視	後視—前視 —前視—後視	後視—前視 —前視—後視	後視—前視 —前視—後視
読定単位	0.01 mm	0.01 mm	0.1 mm 昭和35年以前は 0.01 mm	0.1 mm	0.1 mm
標尺距離 (平坦地)	最大 40 m	最大 40 m	最大 50 m 昭和45年以前は最大 60 m	最大 50 m	最大 50 m
往復差の制限 Sは片道の 観測距離で km 単位	$1.5 \text{ mm} \sqrt{2S}$	$1.5 \text{ mm} \sqrt{2S}$	$2.5 \text{ mm} \sqrt{S}$ 昭和35年以前 は $1.5 \text{ mm} \sqrt{2S}$ 昭和36年から 昭和39年までは $2.0 \text{ mm} \sqrt{2S}$	$2.5 \text{ mm} \sqrt{S}$	$2.5 \text{ mm} \sqrt{S}$
環閉合の制限	$1.5 \text{ mm} \sqrt{S}$	$1.5 \text{ mm} \sqrt{S}$	$2.0 \text{ mm} \sqrt{S}$	$2.0 \text{ mm} \sqrt{S}$	$2.0 \text{ mm} \sqrt{S}$

2. 検測区域および期間

No. 1

変動図番	検測区間	不動とした水準点番号	キロ数	検測期間	
54-1	自北海道紋別郡遠軽町 至 " 中川郡暮別町	B.M. 交 47 B.M. 交 8170	B.M. 交 47	181	自昭和54年 5月 至 " 9月
54-2	自青森県青森市 至 " "	B.M. 浅虫験潮場固定点 B.M.007-467, 6122	B.M. 浅虫験潮場固定点	25	自昭和54年 5月 至 " "
54-3	自青森県八戸市 至 " "	B.M. 準基 528 B.M. 6956	B.M. 6956	18	自昭和54年 9月 至 " "
54-4	自山形県東根市 至宮城県仙台市	B.M. 交 3797 B.M. 交 2179	B.M. 交 2179	54	自昭和54年10月 至 " 11月
54-5	自宮城県宮城郡利府町 至 " 岩沼市	B.M. 5655 B.M. 2168	B.M. 2168	40	自昭和54年 8月 至 " 9月
54-6	自山形県米沢市 至 " "	B.M. 4503 B.M. 4498	B.M. 4503	10	自昭和54年 9月 至 " "
54-7	自新潟県西蒲原郡岩室村 至 " 新潟市	B.M. 4438 B.M. 4419	B.M. 4438	44	自昭和54年 8月 至 " 10月
54-8	自新潟県上越市 至 " 中頸城郡柿崎町	B.M. 3721 B.M. 3732	B.M. 3721	22	自昭和54年 9月 至 " "
54-9	自福島県いわき市 至茨城県勝田市	B.M. 基 61 B.M. 4156	B.M. 基 61	109	自昭和54年12月 至昭和55年 1月
54-10	自新潟県糸魚川市 至 " 柏崎市	B.M. 交 2928 B.M. 柏崎験潮場附17	B.M. 交 2928	81	自昭和54年 9月 至 " 10月
54-11	自富山県富山市 至新潟県糸魚川市	B.M. 交 828 B.M. 交 2928	B.M. 交 2928	79	自昭和54年10月 至 " 12月
54-12	自新潟県糸魚川市 至長野県諏訪郡下諏訪町	B.M. 交 2928 B.M. 交 580	B.M. 交 2928	152	自昭和54年 7月 至 " 12月
54-13	自石川県加賀市 至富山県富山市	B.M. 882 B.M. 交 828	B.M. 882	113	自昭和54年 6月 至 " 9月
54-14	自福井県坂井郡金津町 至石川県小松市	B.M. 基 15 B.M. 準基 1235	B.M. 基 15	23	自昭和54年 6月 至 " 9月
54-15	自富山県富山市 至岐阜県岐阜市	B.M. 交 828 B.M. 交 185	B.M. 交 828	232	自昭和54年 6月 至昭和55年 1月
54-16	自群馬県高崎市 至埼玉県北足立郡吹上町	B.M. 交 522 B.M. 496	B.M. 交 522	54	自昭和55年 1月 至 " 2月
54-17	自埼玉県大宮市 至東京都千代田区	B.M. 基 36 B.M. 甲	B.M. 甲	57	自昭和54年12月 至 " "
54-18	自埼玉県大宮市 至千葉県船橋市	B.M. 基 36 B.M. 3825	B.M. 基 36	106	自昭和54年11月 至 " 12月
54-19	自東京都中央区 至千葉県千葉市	B.M. 京 2 B.M. 千葉県水準原点	B.M. 京 2	82	自昭和54年11月 至 " 12月
54-20	自東京都八王子市 至 " 千代田区	B.M. 交 116 B.M. 交 2-7	B.M. 交 2-7	43	自昭和54年11月 至 " 12月
54-21	自東京都千代田区 至神奈川県横浜市	B.M. 甲 B.M. 交 35-7	B.M. 甲	57	自昭和54年11月 至 " 12月
54-22	自東京都千代田区 至神奈川県三浦市	B.M. 甲 B.M. 油壺験潮場固定点	B.M. 甲	88	自昭和54年11月 至昭和55年 2月
54-23	自神奈川県藤沢市 至 " 三浦市	B.M. 交 36-1 B.M. 油壺験潮場固定点	B.M. 交 36-1	35	自昭和55年 1月 至 " 2月

変動 番 号	検 測 区 間	不動とした 水準点番号	キ口数	検 測 期 間
54-24	自千葉県富津市 B.M. 3863 至 " 安房郡和田町 B.M. 3887	B.M. 3863	79	自昭和54年 6月 至 " 7月
54-25	自千葉県富津市 B.M. 3863 至 " 鴨川市 B.M. 3895	3863	36	自昭和54年 6月 至 " 7月
54-26	自千葉県館山市 B.M. 交 3880 至 " 勝浦市 B.M. 勝浦験潮場固定点	B.M. 交 3880	47	自昭和54年 6月 至 " 7月
54-27	自東京都大島支庁大島町 B.M. 岡田検潮所固定点 至 " " " B.M. 10210	B.M. 10210	46	自昭和55年 1月 至 " 2月
54-28	自東京都三宅支庁三宅村 B.M. 10236 至 " " " 三宅島験潮所固定点	B.M. 10236	29	自昭和55年 2月 至 " "
54-29	自山梨県甲府市 B.M. 交 92-1 至東京都八王子市 B.M. 交 116	B.M. 交 92-1	94	自昭和54年 9月 至 " 10月
54-30	自長野県諏訪郡下諏訪町 B.M. 交 580 至山梨県甲府市 B.M. 交 92-1	B.M. 交 92-1	137	自昭和54年 8月 至 " 10月
54-31	自静岡県沼津市 B.M. 交 60 至神奈川県横浜府市 B.M. 基 25	B.M. 基 25	111	自昭和54年 9月 至昭和55年 1月
54-32	自山梨県南巨摩郡富沢町 B.M. 76-1 至神奈川県小田原市 B.M. 43-1	B.M. 76-1	117	自昭和54年 9月 至 " 10月
54-33	自山梨県甲府市 B.M. 交 92-1 至静岡県清水市 B.M. 交 70-1	B.M. 交 92-1	91	自昭和54年 8月 至 " 11月
54-34	自静岡県清水市 B.M. 交 70-1 至 " 沼津市 B.M. 交 60	B.M. 交 60	47	自昭和54年 11月 至 " "
54-35	自静岡県沼津市 B.M. 交 60 至 " 賀茂郡河津町 B.M. 9353, 9341	B.M. 交 60	103	自昭和54年 5月 至 " 9月
54-36	自静岡県熱海市 B.M. 交 52 至 " 賀茂郡河津町 B.M. 9355	B.M. 交 52	68	自昭和55年 1月 至 " 2月
54-37	自長野県諏訪郡下諏訪町 B.M. 交 580 至静岡県掛川市 B.M. 交 141	B.M. 交 580	231	自昭和54年 5月 至昭和55年 2月
54-38	自岐阜県高山市 B.M. 交 784 至長野県木曾郡木祖村 B.M. 交 639	B.M. 交 784	81	自昭和54年 5月 至 " 7月
54-39	自静岡県静岡市 B.M. 128-1 至 " 清水市 B.M. 交 70-1	B.M. 交 70-1	25	自昭和54年 9月 至 " 10月
54-40	自静岡県静岡市 B.M. 126-1 至 " 清水市 B.M. 10169	B.M. 126-1	29	自昭和54年 9月 至 " 10月
54-41	自静岡県浜松市 B.M. 148 至 " 静岡市 B.M. 128-1	B.M. 128-1	78	自昭和54年 6月 至 " "
54-42	自静岡県掛川市 B.M. 140-1 至 " 小笠郡浜岡町 B.M. 2595	B.M. 140-1	23	自昭和54年 5月 至 " 6月
54-43	自静岡県掛川市 B.M. 140-1 至 " 小笠郡浜岡町 B.M. 2595	B.M. 140-1	23	自昭和54年 11月 至 " 12月
54-44	自静岡県藤枝市 B.M. 132 至 " 榛原郡相良町 B.M. 2593	B.M. 132	43	自昭和54年 7月 至 " "
54-45	自静岡県磐田市 B.M. 145 至 " 小笠郡浜岡町 B.M. 2597	B.M. 145	37	自昭和54年 6月 至 " 7月
54-46	自静岡県浜名郡舞阪町 舞阪検潮所固定点 至 " 浜松市 B.M. 148	B.M. 148	14	自昭和54年 6月 至 " "

変動 番 号	検 測 区 間	不動とした 水準点番号	キロ数	検 測 期 間	
54-47	自静岡県小笠郡浜岡町 至 " 榛原郡御前崎町	B.M. 準基 1356 御前崎検潮所附属水準点	B.M. 準基 1356	30	自昭和54年 6月 至 " 7月
54-48	自静岡県小笠郡浜岡町 至 " 榛原郡御前崎町	B.M. 準基 1356 御前崎検潮所附属水準点	B.M. 準基 1356	30	自昭和54年 12月 至 " "
54-49	自愛知県豊明市 至静岡県浜松市	B.M. 基 39 B.M. 148	B.M. 基 39	107	自昭和54年 6月 至 " 10月
54-50	自岐阜県岐阜市 至長野県木曾郡大桑村	B.M. 交 185 B.M. 660	B.M. 交 185	116	自昭和54年 5月 至 " 12月
54-51	自長野県木曾郡大桑村 至 " 塩尻市	B.M. 660 B.M. 交 627	B.M. 660	65	自昭和54年 5月 至 " 12月
54-52	自福井県福井市 至岐阜県関市	B.M. 交 5258 B.M. 交 725	B.M. 交 725	155	自昭和54年 7月 至 " 8月
54-53	自福井県福井市 至福井県敦賀市	B.M. 交 5258 B.M. 交 935	B.M. 交 935	56	自昭和54年 9月 至 " 10月
54-54	自愛知県豊明市 至 " 常滑市	B.M. 基 39 鬼崎験潮場固定点	B.M. 基 39	32	自昭和54年 10月 至 " 11月
54-55	自岐阜県不破郡関ヶ原町 至 " 羽島市	B.M. 194 B.M. 3357	B.M. 194	33	自昭和54年 11月 至 " 12月
54-56	自岐阜県羽島郡笠松町 至愛知県海部郡彌富町	B.M. 184 B.M. 1471	B.M. 184	48	自昭和54年 10月 至 " 11月
54-57	自岐阜県不破郡垂井町 至愛知県名古屋市	B.M. 準基 191-2 B.M. 交 172-1	B.M. 準基 191-2	78	自昭和54年 10月 至 " 11月
54-58	自岐阜県大垣市 至三重県桑名市	B.M. 4674 B.M. 4702	B.M. 4674	41	自昭和54年 11月 至 " 12月
54-59	自愛知県名古屋市 至三重県桑名市	B.M. 174-1 B.M. 交 1469	B.M. 174-1	28	自昭和54年 10月 至 " 11月
54-60	自三重県桑名市 至 " 津市	B.M. 交 1469 B.M. 交 1445	B.M. 交 1469	57	自昭和54年 11月 至 " "
54-61	自京都府与謝郡野田川町 至 " 舞鶴市	B.M. 交 1235 B.M. 1361	B.M. 交 1235	39	自昭和54年 6月 至 " 7月
54-62	自福井県遠敷郡上中町 至京都府京都市	B.M. 1335 B.M. 交 216	B.M. 1335	93	自昭和54年 6月 至 " 9月
54-63	自京都府京都市 至兵庫県西宮市	B.M. 交 216 460	B.M. 交 216	87	自昭和54年 6月 至 " 9月
54-64	自京都府相楽郡木津町 至三重県鈴鹿郡関町	B.M. 交 1401 B.M. 基 19	B.M. 交 1401	69	自昭和55年 1月 至 " 2月
54-65	自三重県多気郡多気町 至 " 鈴鹿市	B.M. 基 40 B.M. 基 19	B.M. 基 40	73	自昭和54年 5月 至 " 9月
54-66	自和歌山県和歌山市 至三重県多気郡多気町	B.M. 基 33 B.M. 基 40	B.M. 基 33	175	自昭和54年 5月 至 " 9月
54-67	自三重県熊野市 至 " 多気郡多気町	B.M. 042-253 B.M. 交 1510	B.M. 042-253	96	自昭和54年 7月 至 " 9月
54-68	自奈良県五条市 至和歌山県東牟婁郡本宮町	B.M. 交 1562 B.M. 交 4826	B.M. 交 1562	106	自昭和54年 10月 至 " 11月
54-69	自和歌山県西牟婁郡上富田町 至 " 新宮市	準基 9188 B.M. 交 4810	B.M. 準基 9188	97	自昭和54年 7月 至 " 9月

変動区号 番	検 測 区 間	不動とした 水準点番号	キ口数	検 測 期 間	
54-70	自和歌山県和歌山市 至 " 西牟婁郡上富田町	基 33 準基 9188	基 33	68	自昭和54年 7月 至 " 9月
54-71	自和歌山県西牟婁郡上富田町 至 " " 串本町	準基 9188 基 41	準基 9188	106	自昭和54年 7月 至 " 9月
54-72	自和歌山県西牟婁郡串本町 至三重県熊野市	基 41 042-253	基 41	89	自昭和54年 7月 至 " 9月
54-73	自京都府京都市 至大阪府堺市	交 218 247	交 218	87	自昭和54年 9月 至昭和55年 2月
54-74	自兵庫県朝来郡和田山町 至京都府船井郡瑞穂町	交 1170 基 13	交 1170	60	自昭和54年 6月 至 " 7月
54-75	自京都府船井郡瑞穂町 至 " 京都市	基 13 交 216	基 13	61	自昭和54年 6月 至 " 7月
54-76	自兵庫県姫路市 至 " 西宮市	422 460	422	32	自昭和54年 7月 至 " "
54-77	自大阪府大阪市 至和歌山県和歌山市	交 229 交 271	交 229	73	自昭和54年 6月 至 " 9月
54-78	自香川県善通寺市 至徳島県阿南市	交 3385 5090	交 3385	167	自昭和54年 8月 至昭和55年 1月
54-79	自高知県高知市 至徳島県阿南市	交 5004 5090	交 5004	188	自昭和54年 5月 至昭和55年 2月
54-80	自佐賀県杵島郡有明町 至福岡県柳川市	基 52 3356	準基 3332	59	自昭和55年 1月 至 " 2月
54-81	自沖縄県国頭郡大宜味村 至 " " 国頭村	9697-2 9713	9697-2	43	自昭和54年 5月 至 " 6月

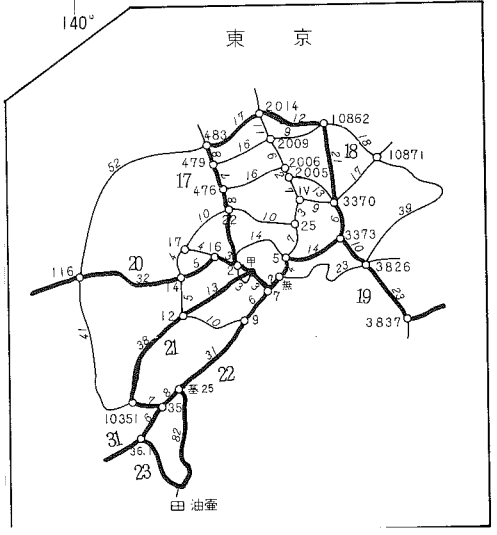
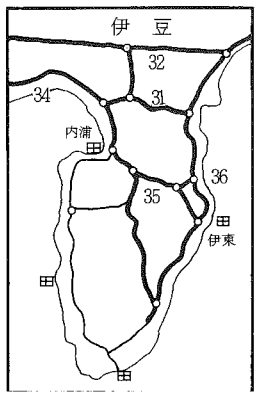
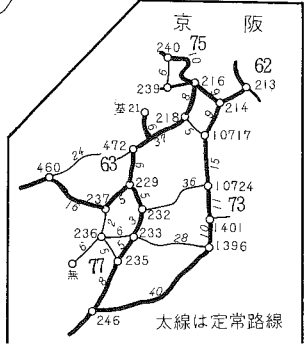
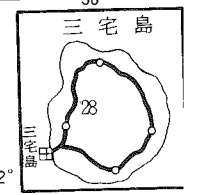
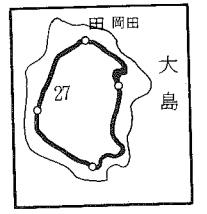
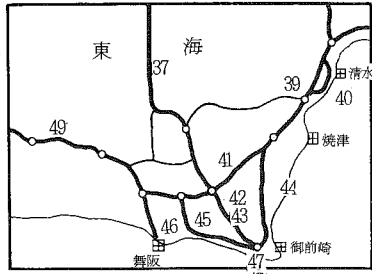
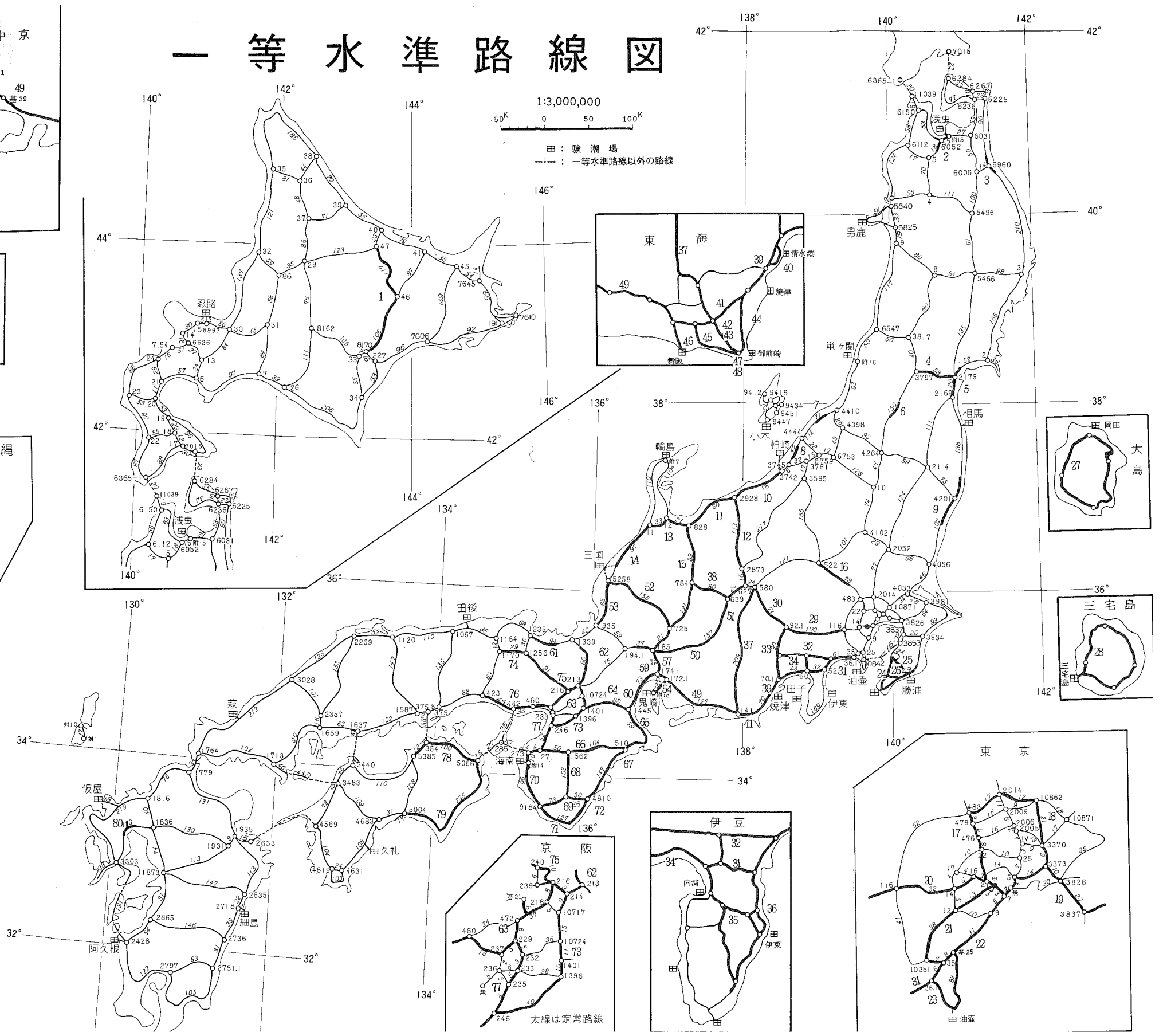
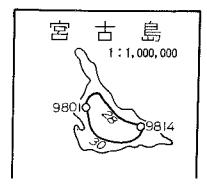
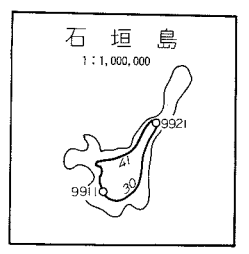
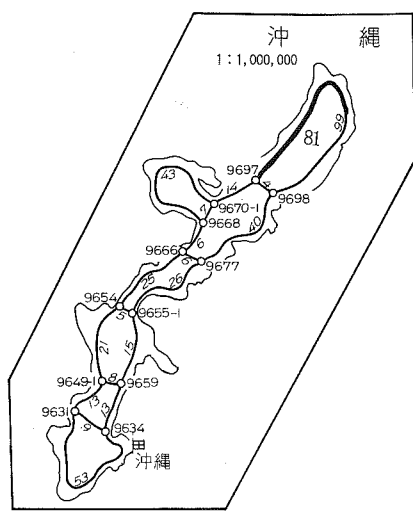
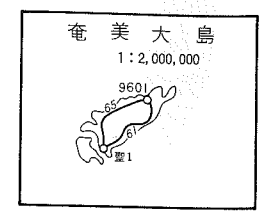
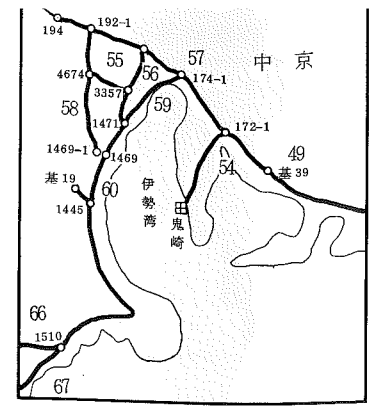
3. 水準点変動図の説明

- (1) 変動量はすべて水準点間の新観測比高から、旧観測比高を減じた値を、仮不動点を基準として累加したものである。
- (2) 変動図中、再設、傾斜改埋等のため比較不能のものについては、点線で示し、それらの点が図の両端にあるときは空白とした。
- (3) 昭和39年度から、建設省道路局長と国土地理院長との覚書により、指定区間内の一般国道において、道路管理者の設ける地点標の1 km毎に、一等水準点を併設（新設）することになり、これを道路水準点と仮称しており、001-181のような番号がなされている。

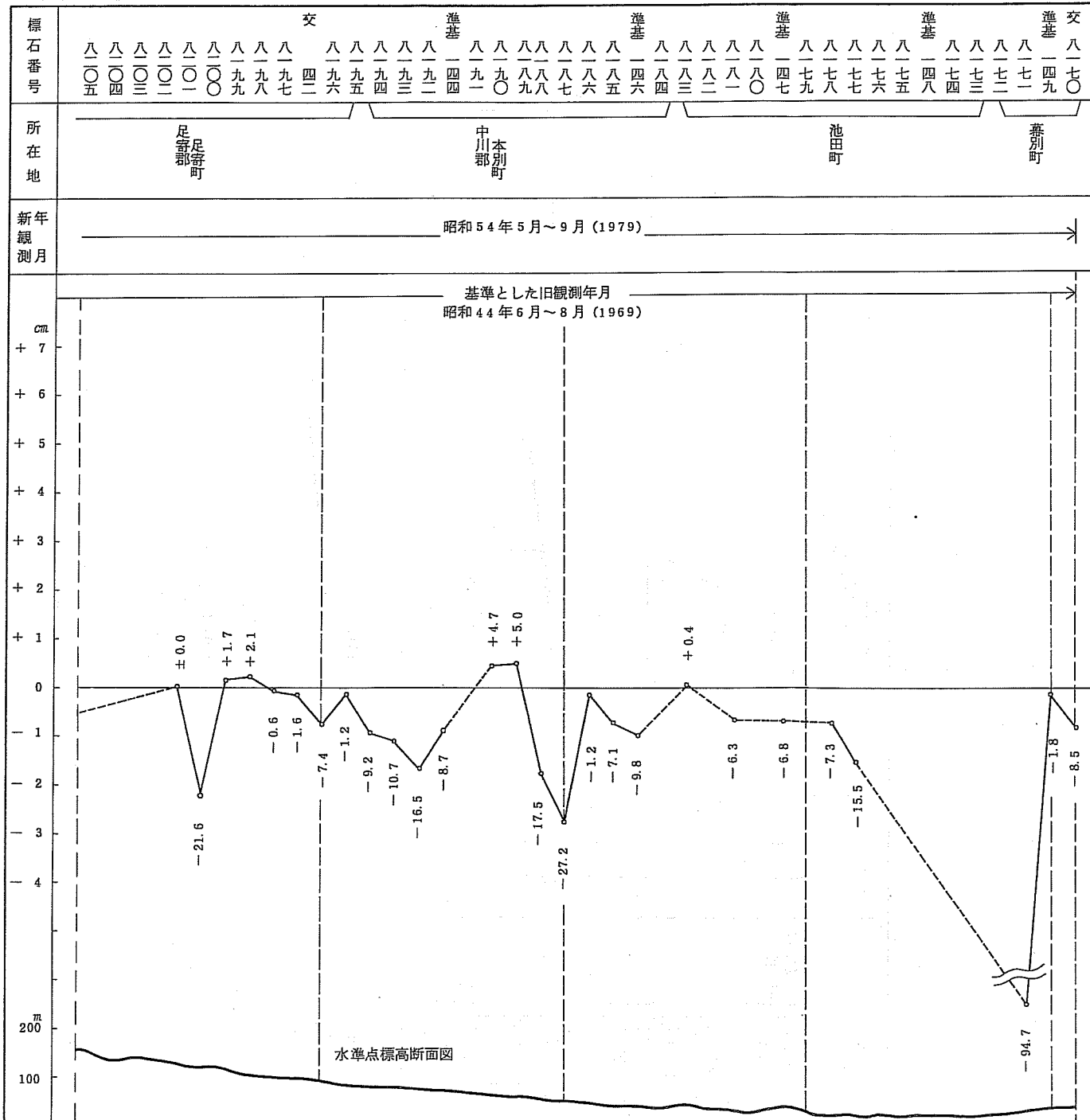
一等水準路線図

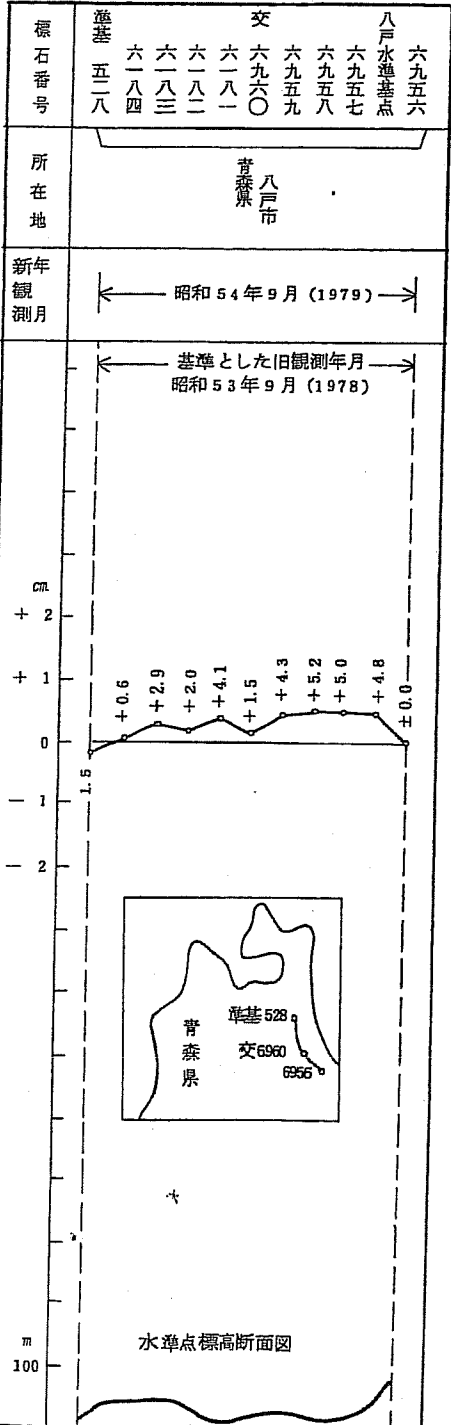
1:3,000,000
50K 0 50 100K

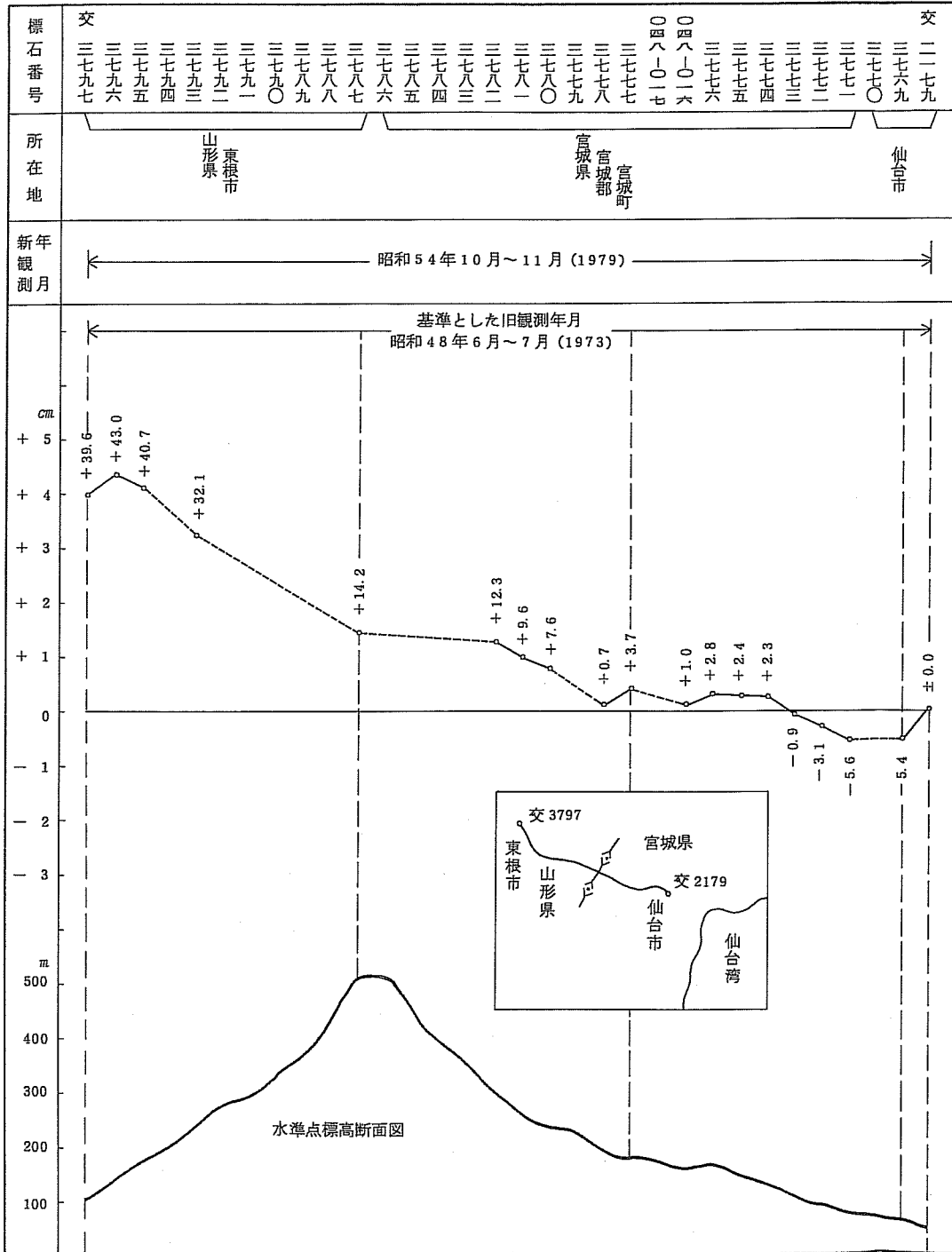
田：験潮場
---：一等水準路線以外の路線

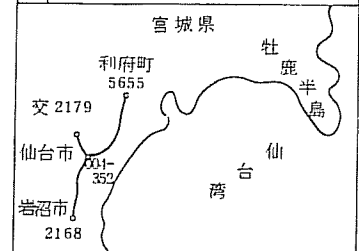
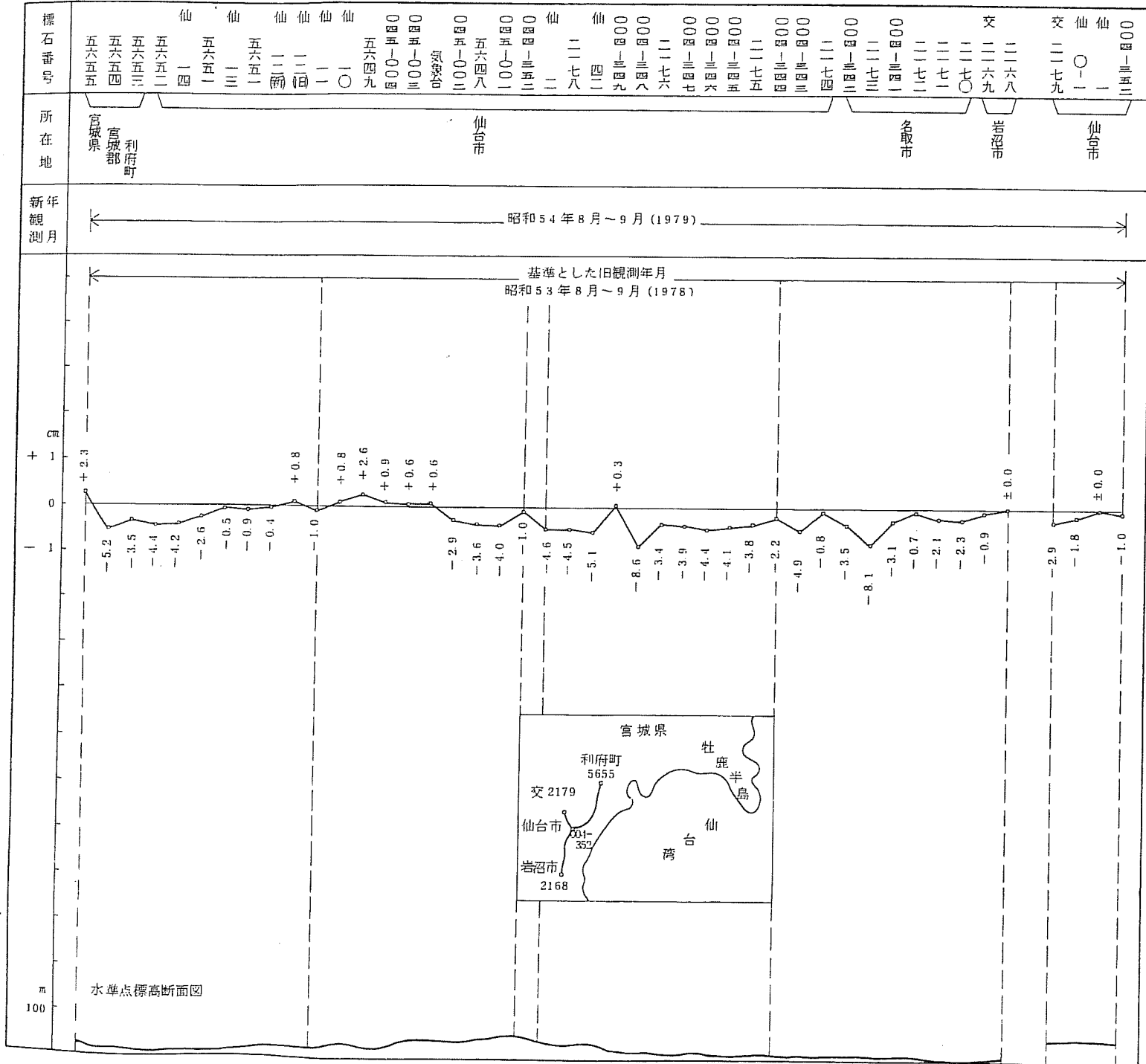


自北海道紋別郡遠軽町 至中川郡幕別町





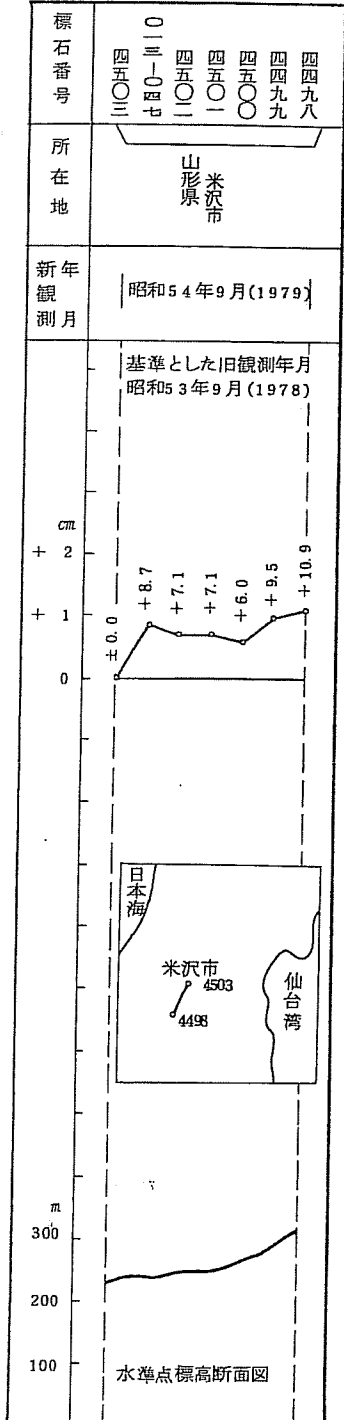


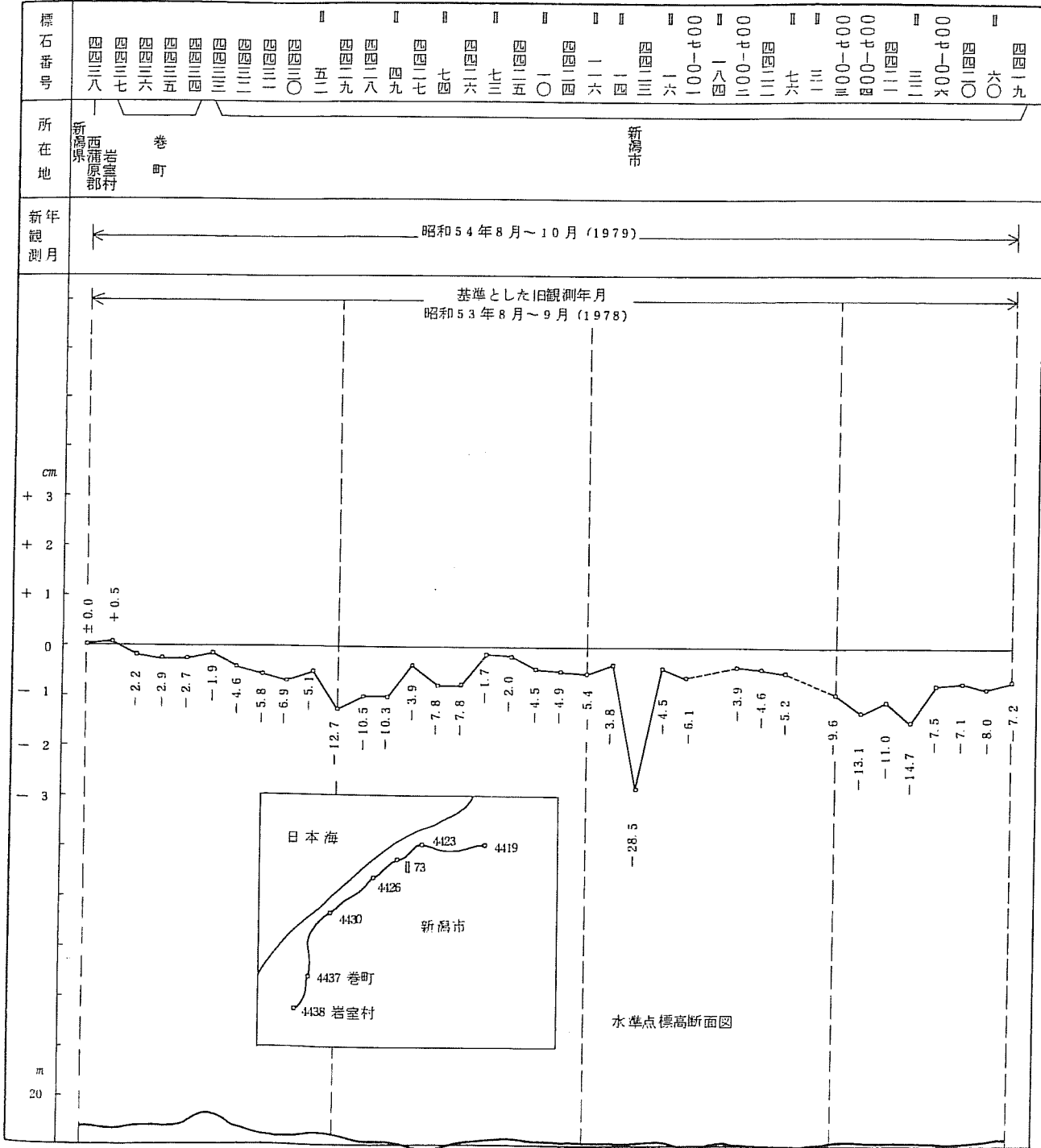


水準点標高断面図

m
100

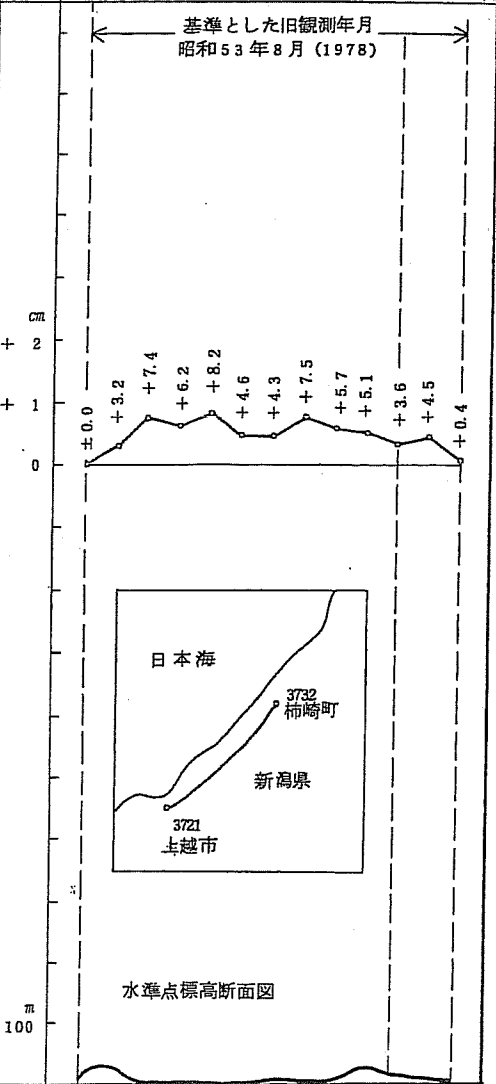
54-6 山形県米沢市

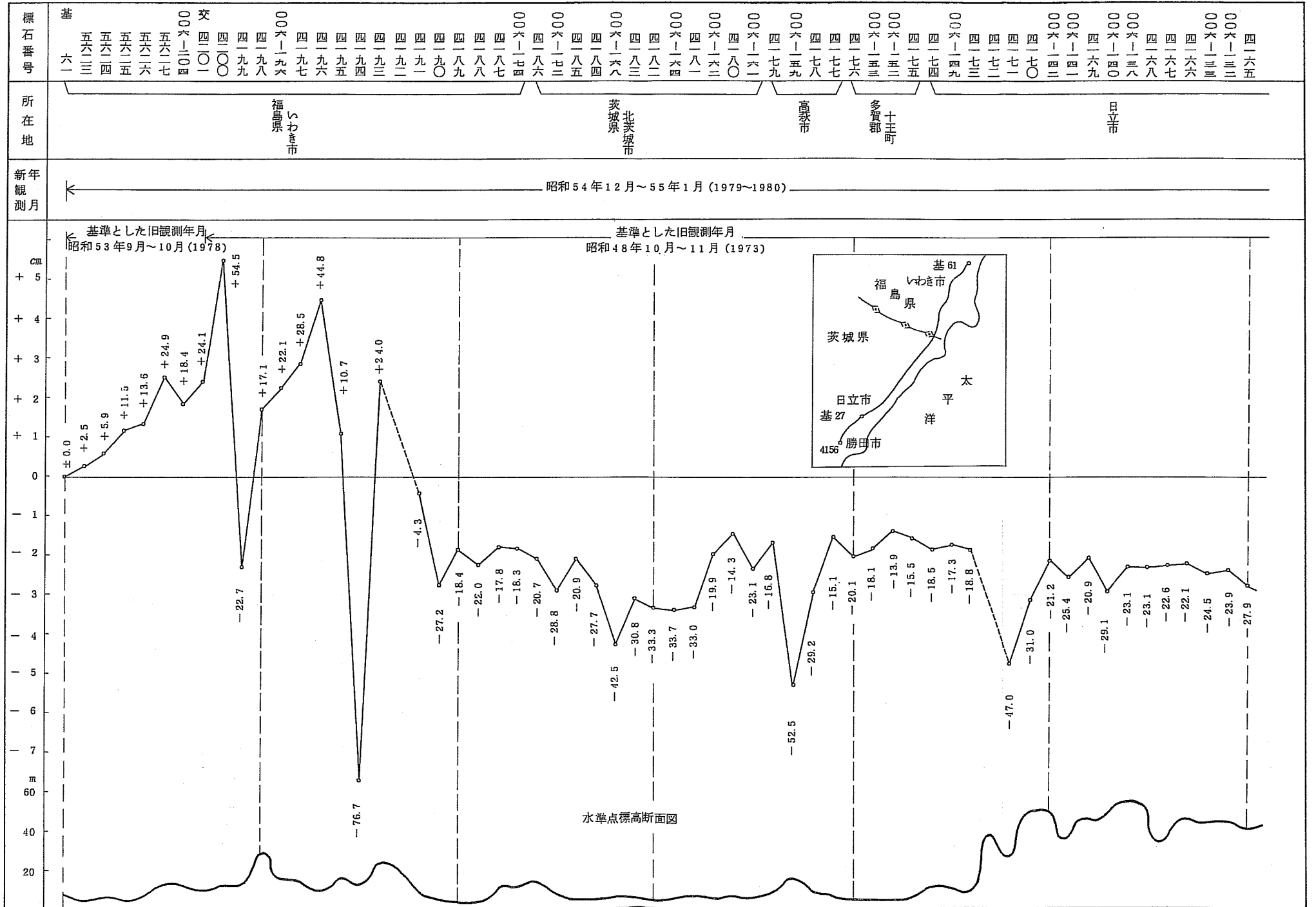




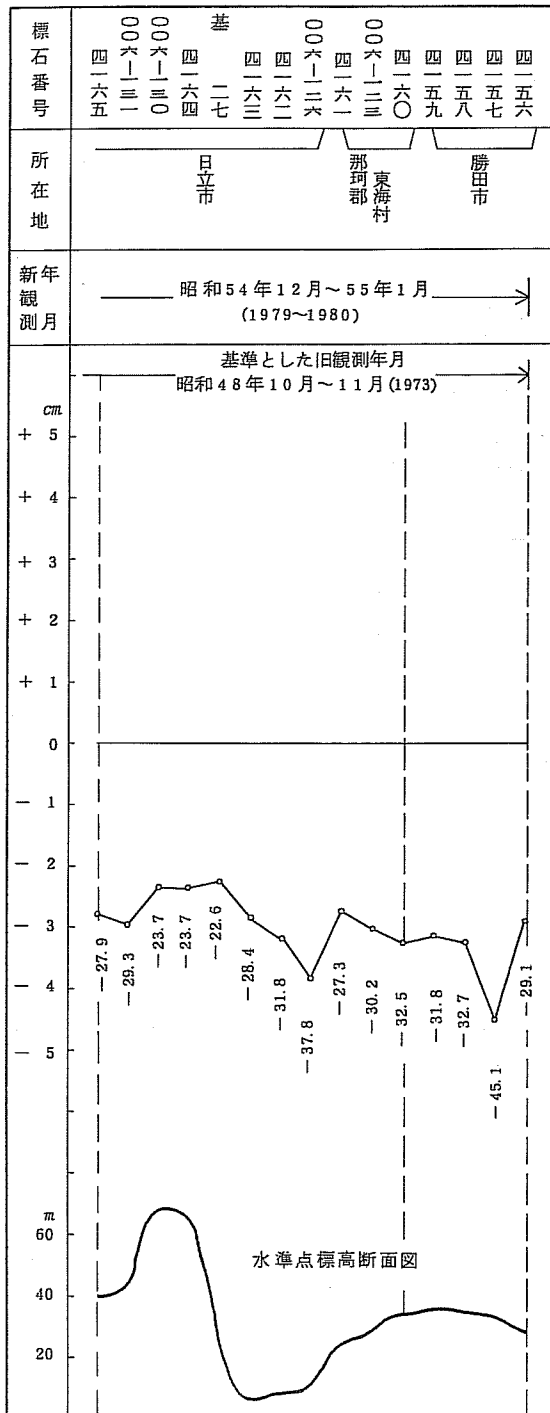
標石番号	建 三七二 三七三 三七四 三七五 三七六 三七七 三七八 三七九 三八〇
所在地	新潟県 上越市 中頸城郡 柿崎町

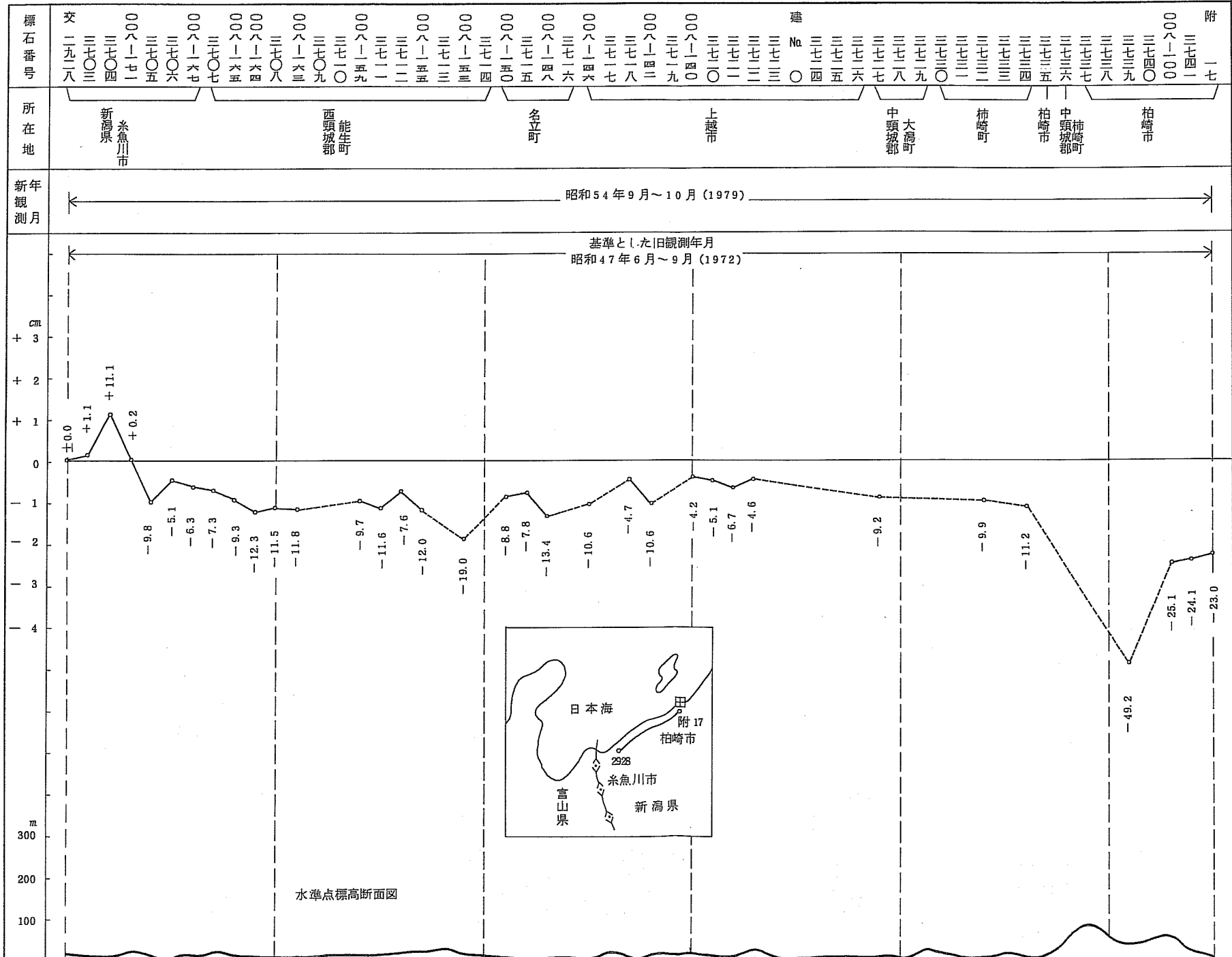
新年観測月
昭和54年9月(1979)

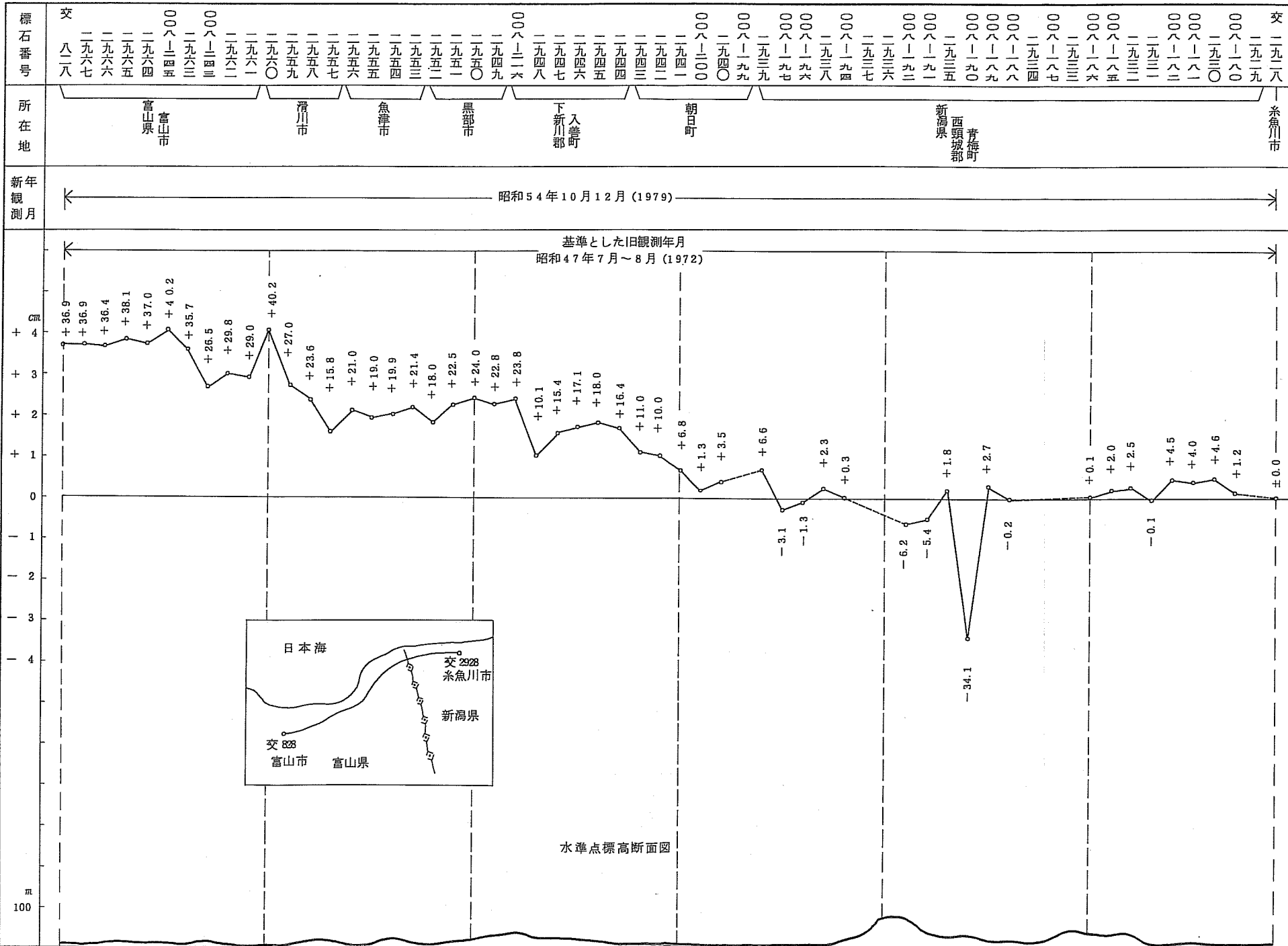


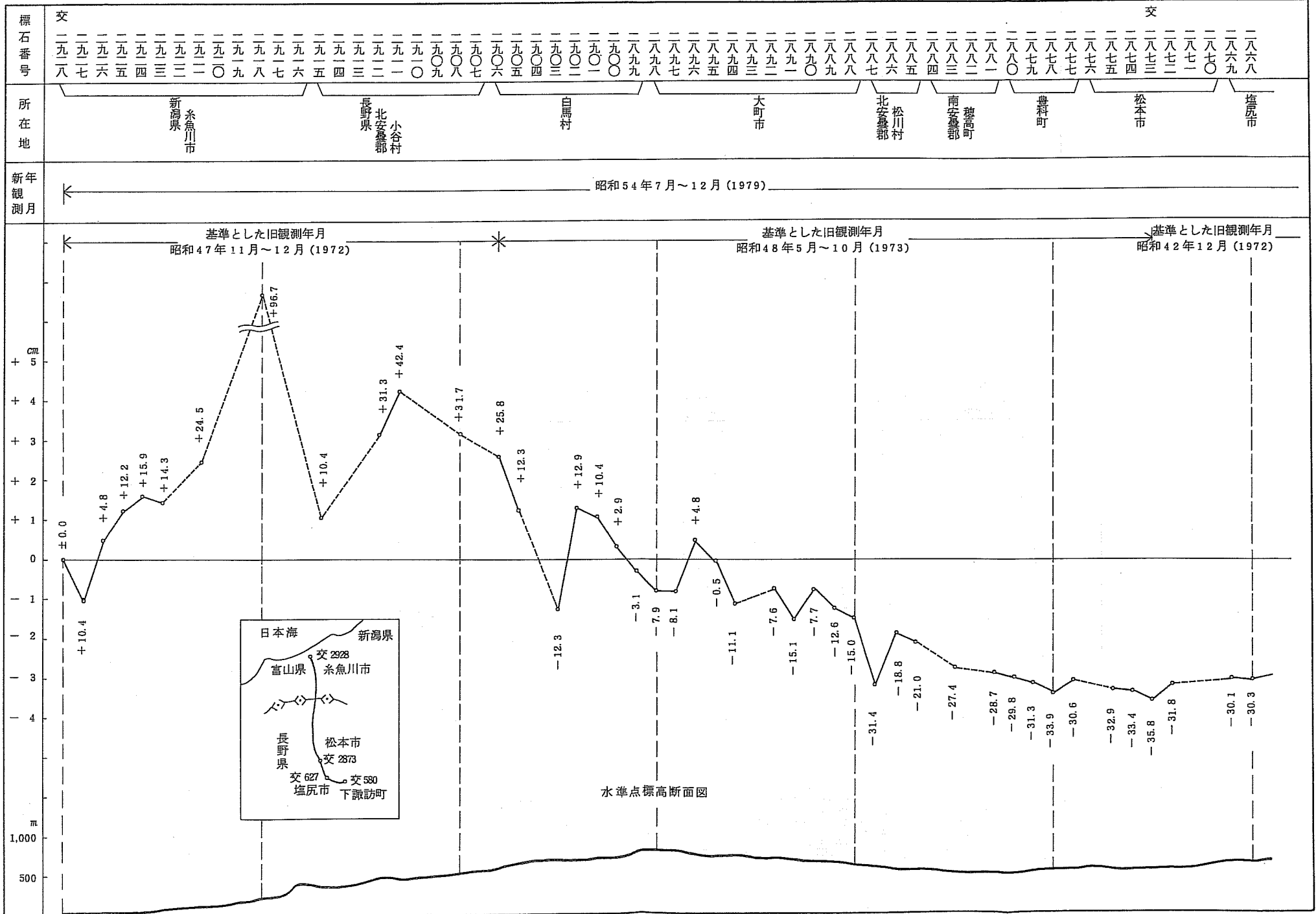


自福島県いわき市 至茨城県勝田市

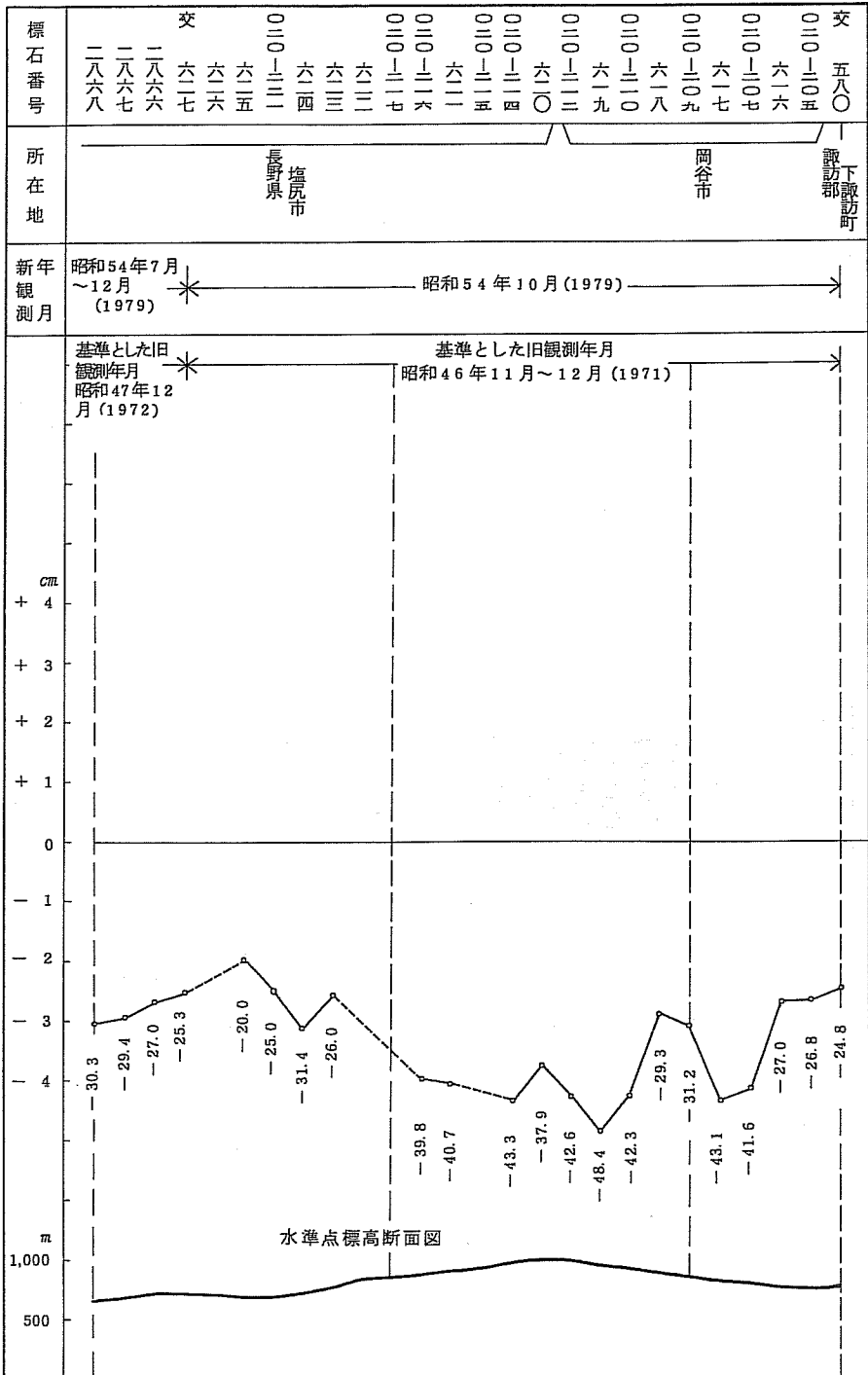








自新潟県糸魚川市 至長野県諏訪郡下諏訪町



標石番号	所在地
八八二	石川県 加賀市
八八三	
八八四	
八八五	
八八六	
八八七	
八八八	
八八九	
八九〇	
八八一	
八八二	小松市
八八三	
八八四	
八八五	
八八六	
八八七	能美郡 寺井町
八八八	
八八九	
八九〇	
八九一	
八九二	
八九三	
八九四	
八九五	
八九六	
八九七	石川県 野々市町
八九八	
八九九	
九〇〇	
九〇一	
八六二	金沢市
八六三	
八六四	
八六五	
八六六	
八六七	河内郡 津幡町
八六八	
八六九	
八七〇	
八七一	
八七二	
八七三	
八七四	
八七五	
八七六	
八七七	富山県 小矢部市
八七八	
八七九	
八八〇	
八八一	
八四六	富山県 富山市
八四七	
八四八	
八四九	
八五〇	
八五一	
八五二	
八五三	
八五四	
八五五	

新年観測月

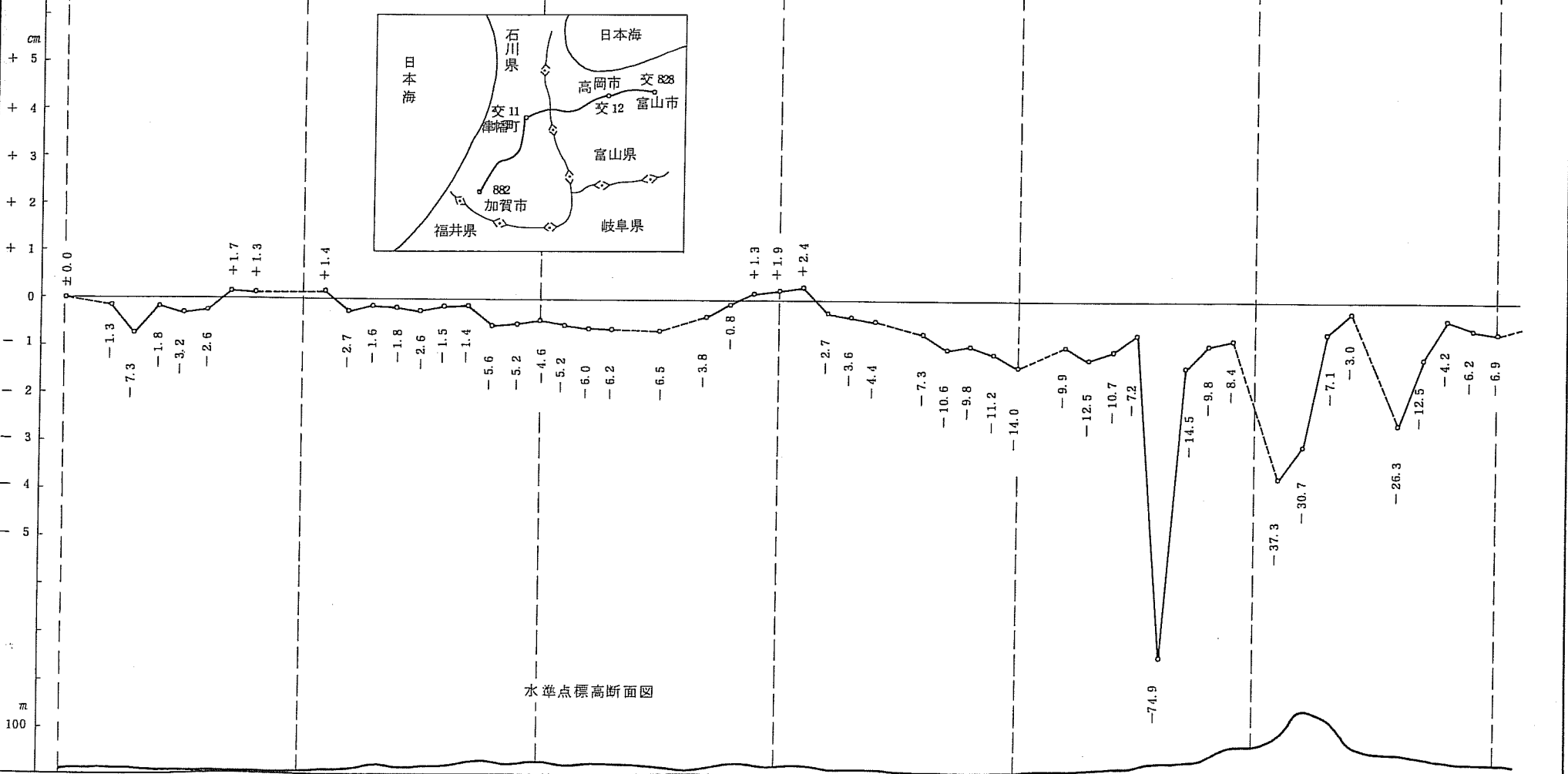
昭和54年6月~9月(1979)

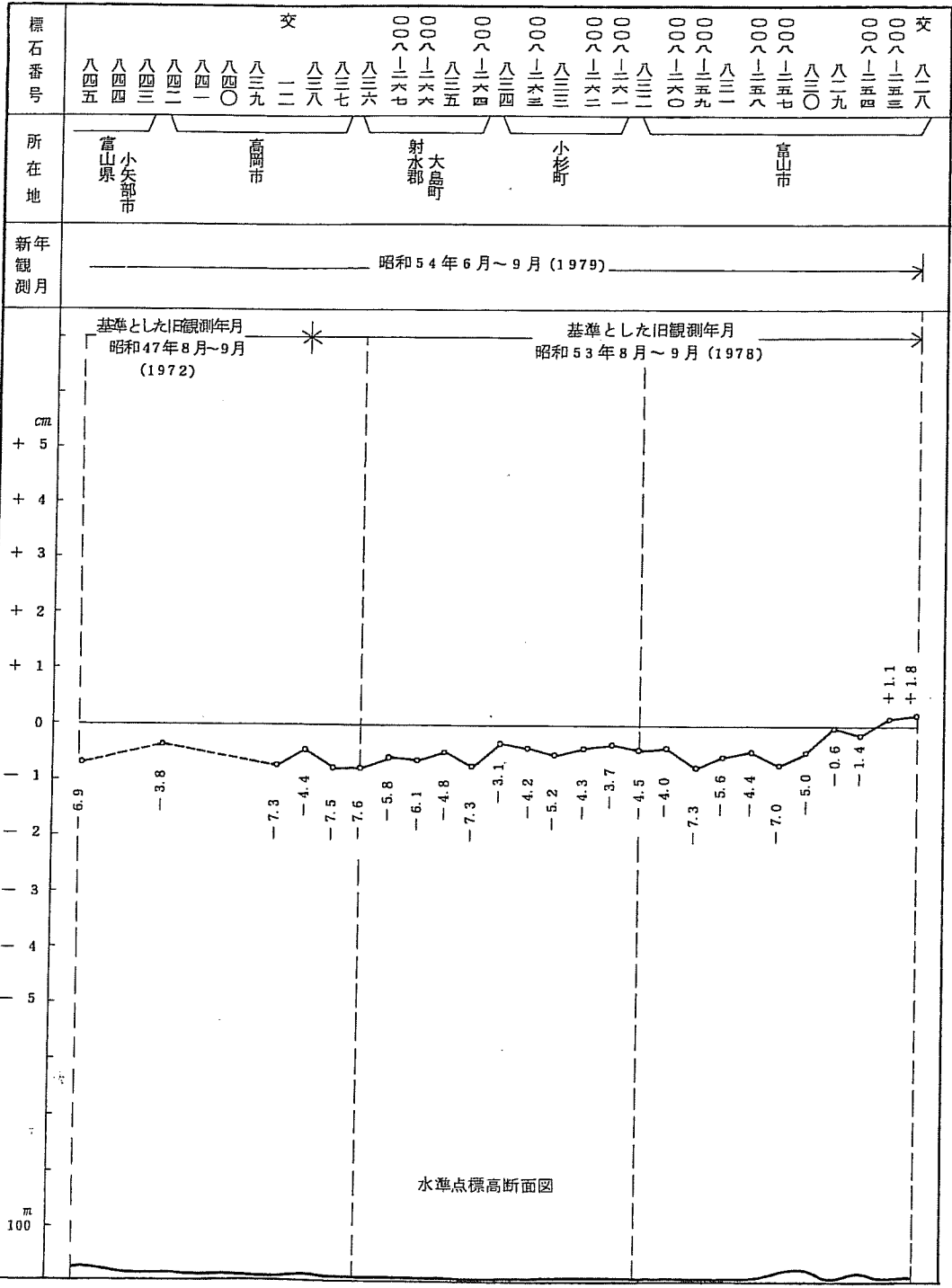
基準とした旧観測年月

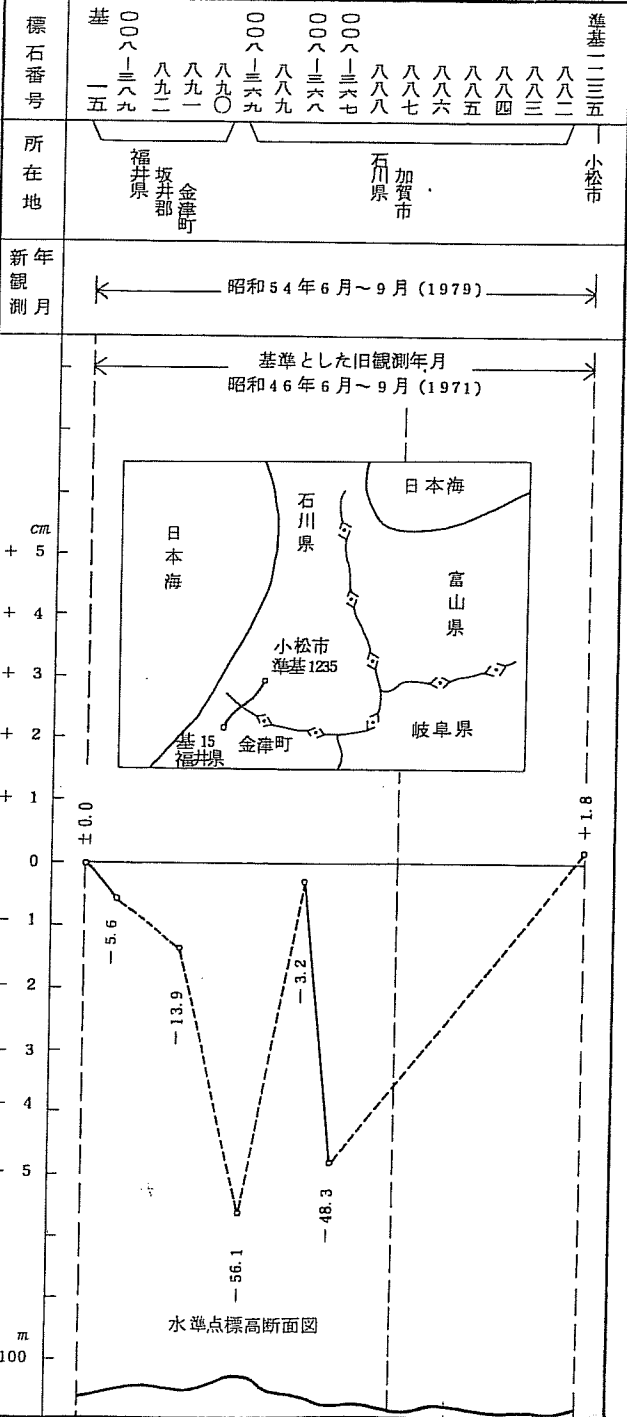
昭和53年8月~9月(1978)

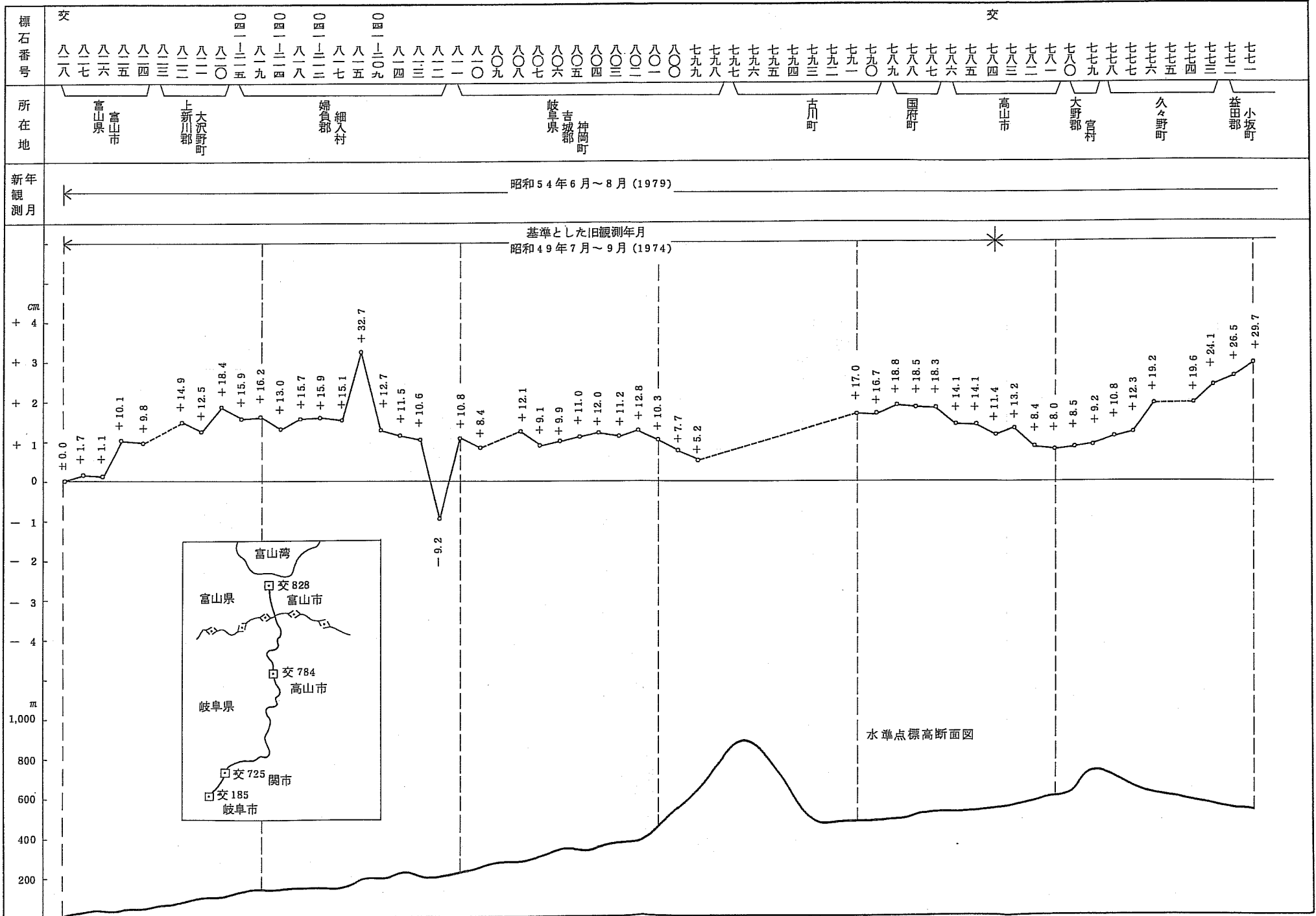
基準とした旧観測年月

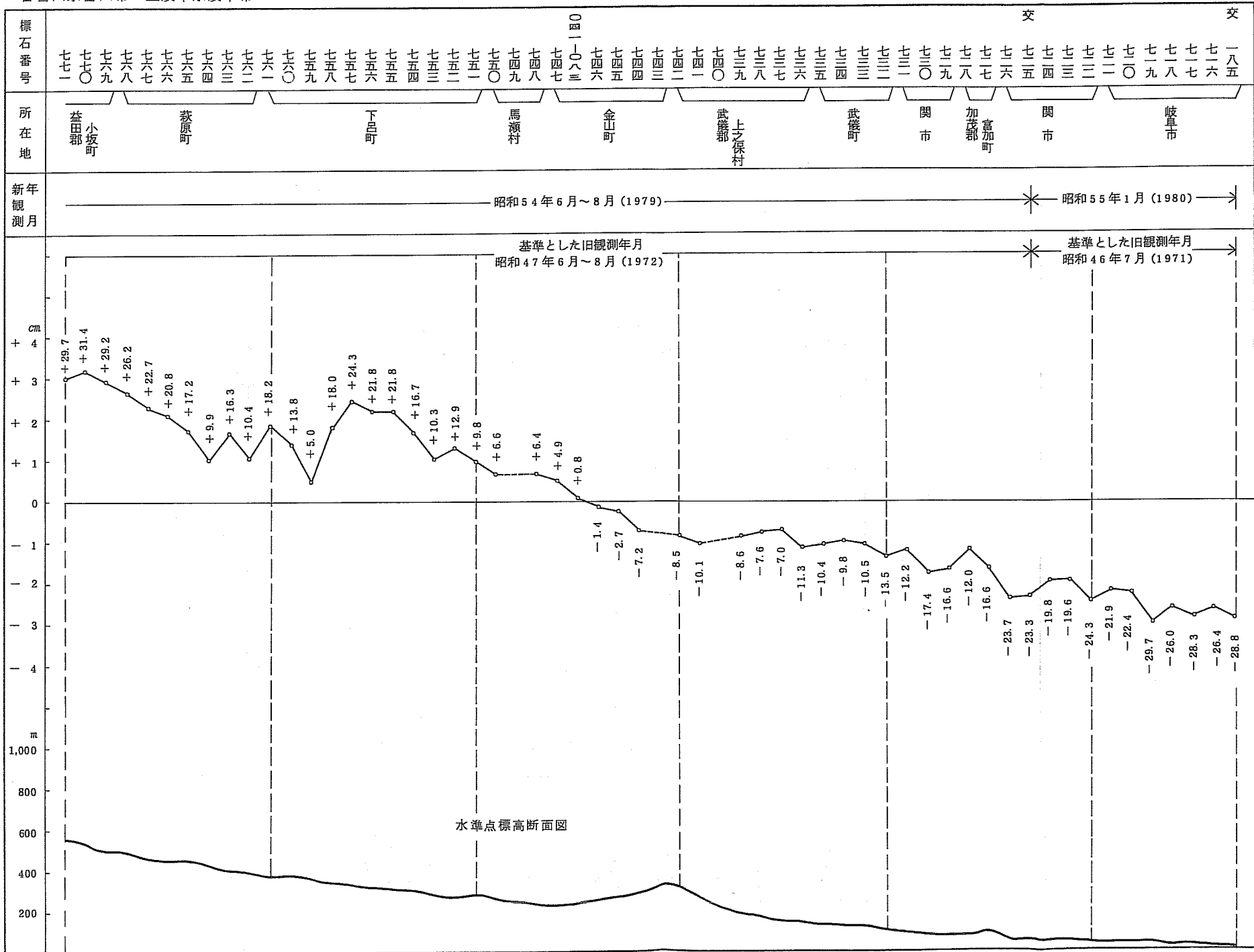
昭和47年8月~9月(1972)

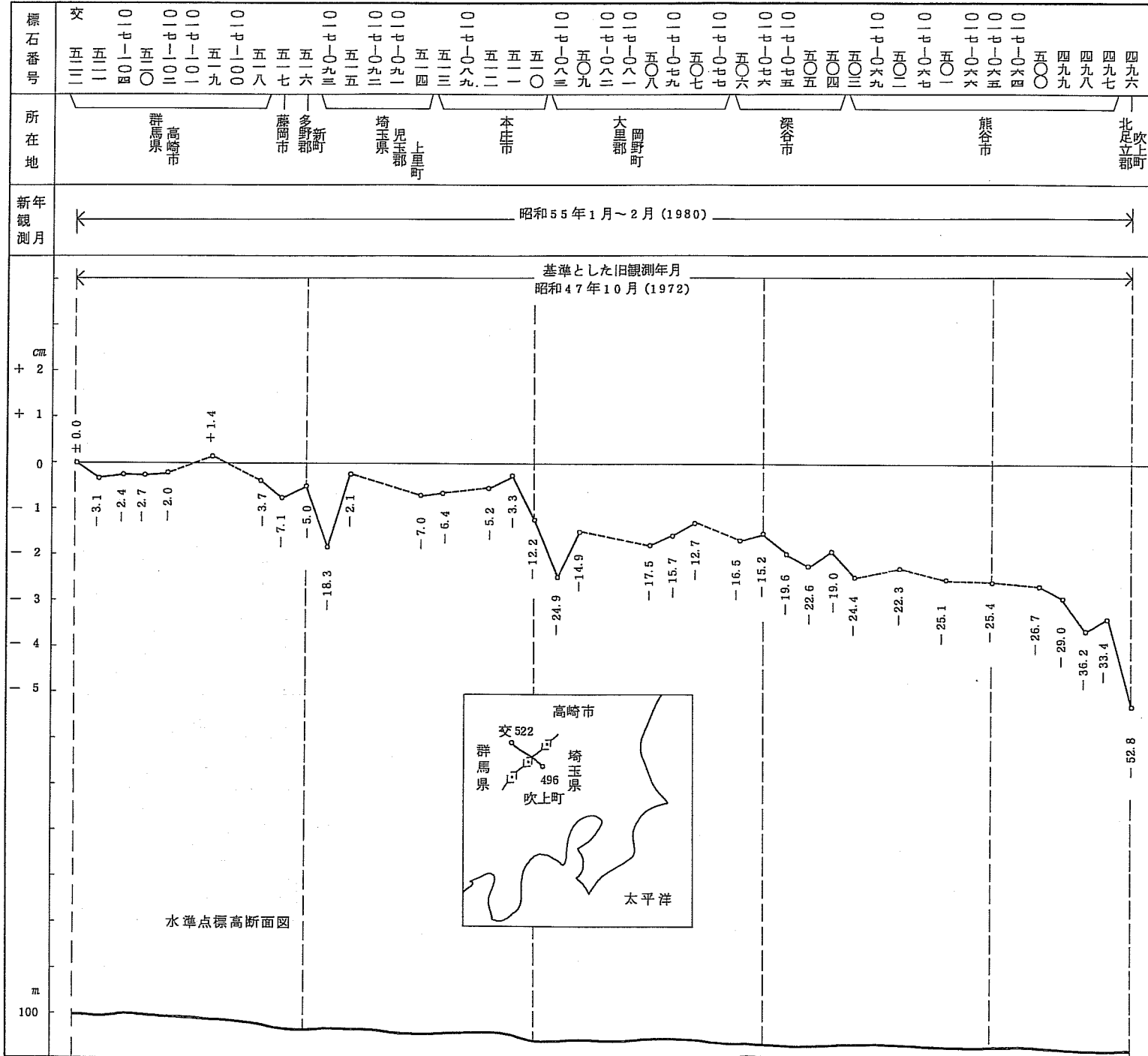


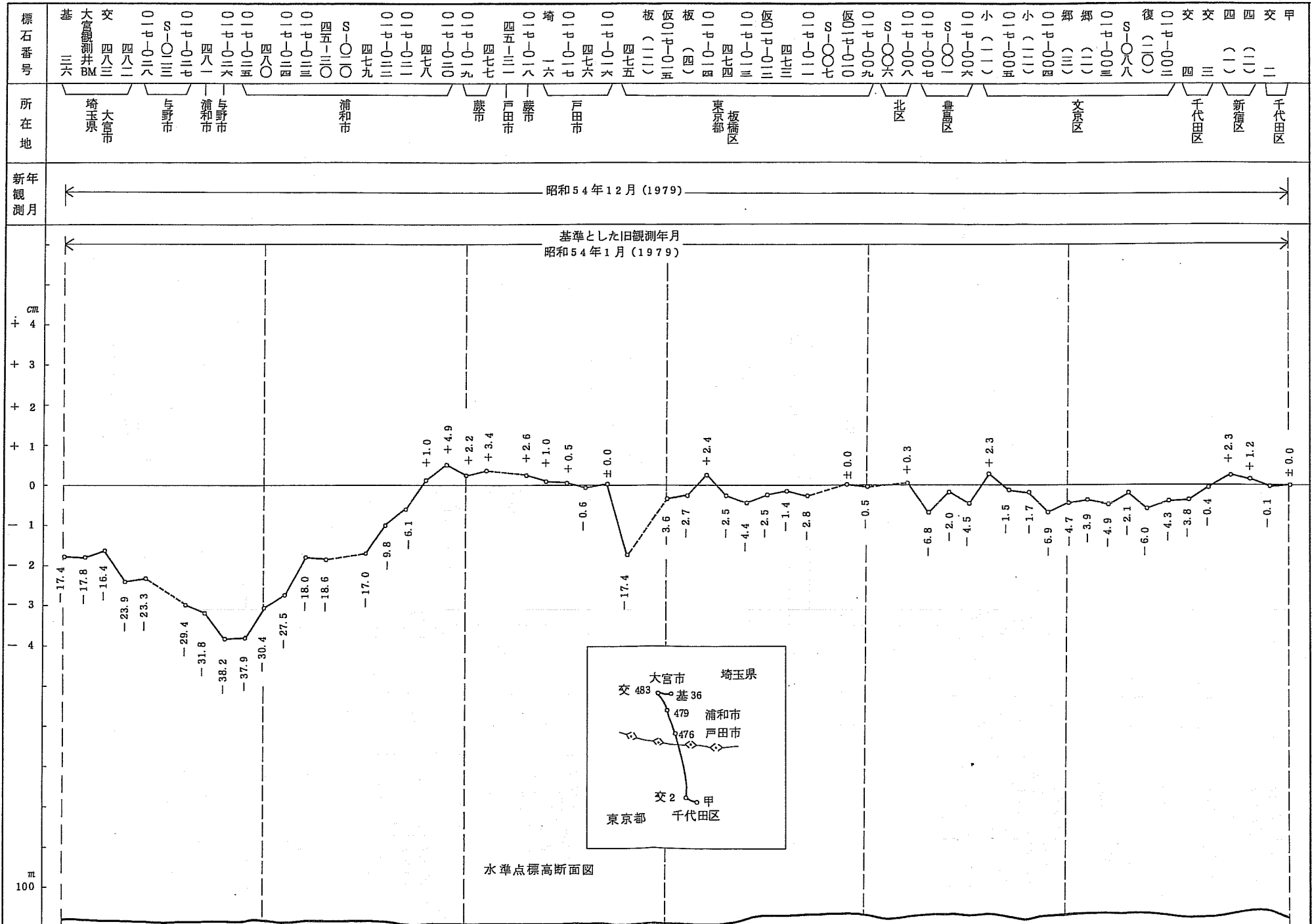


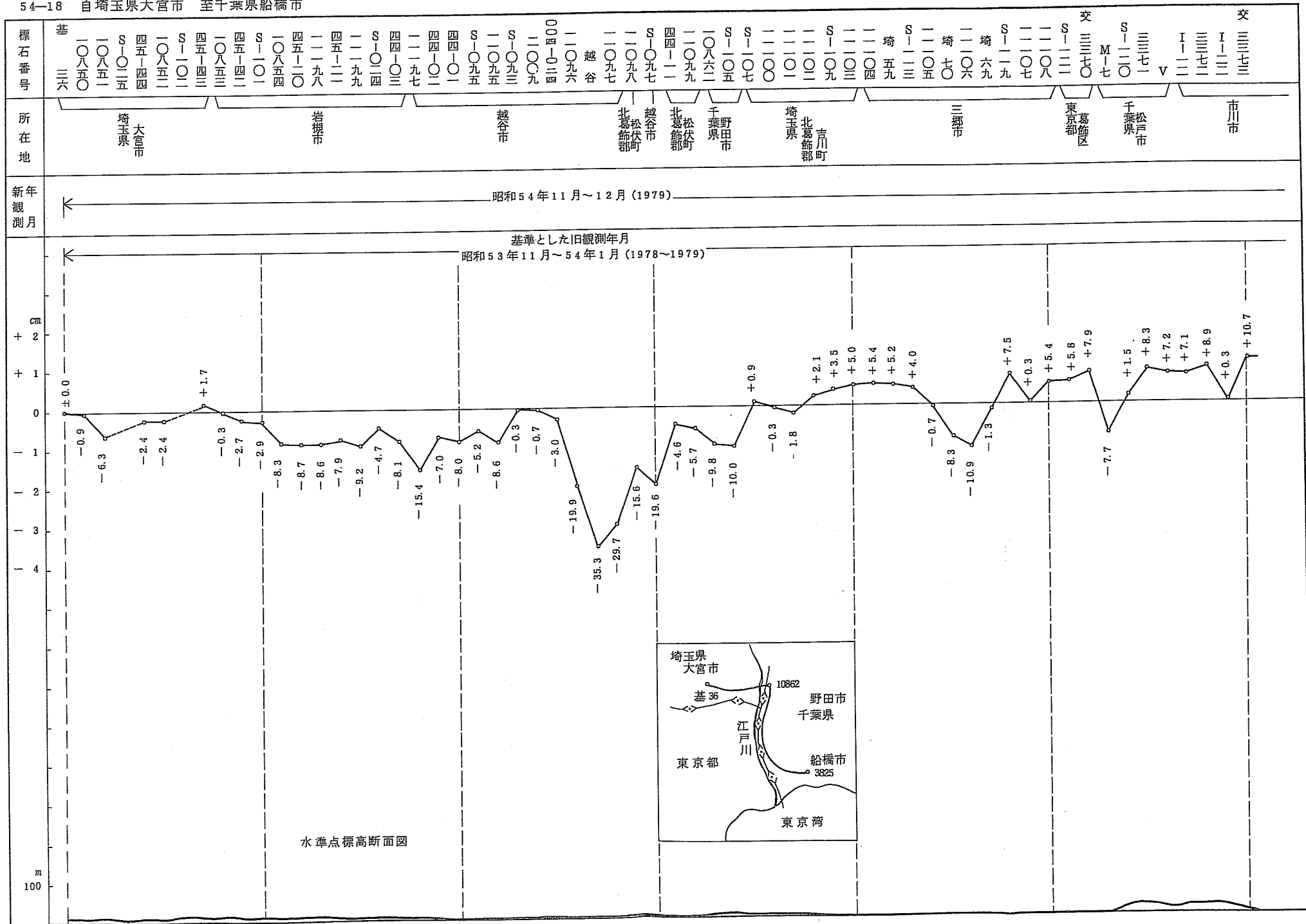




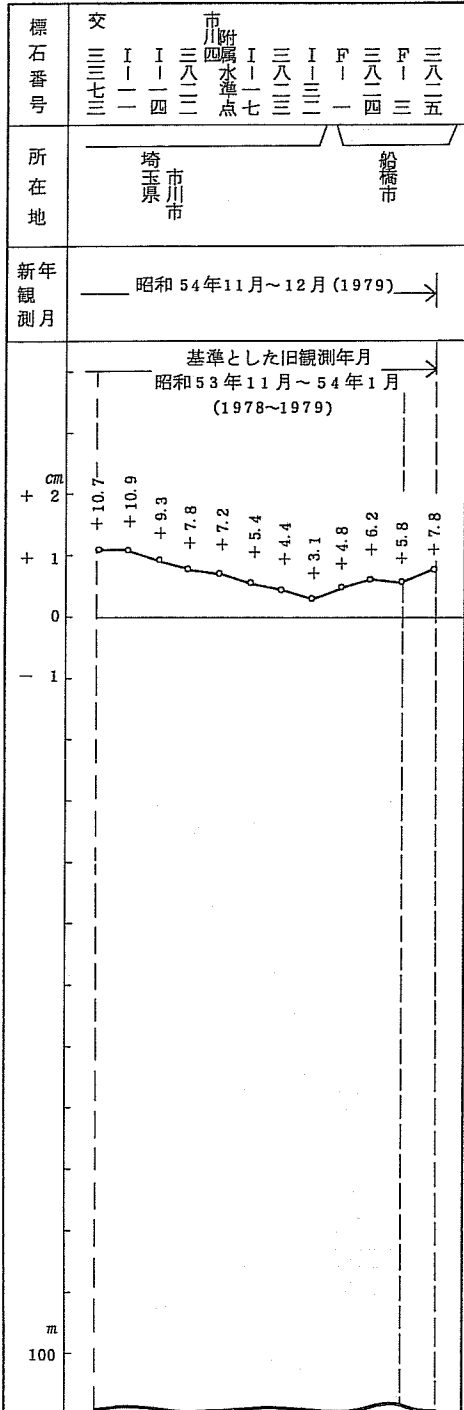








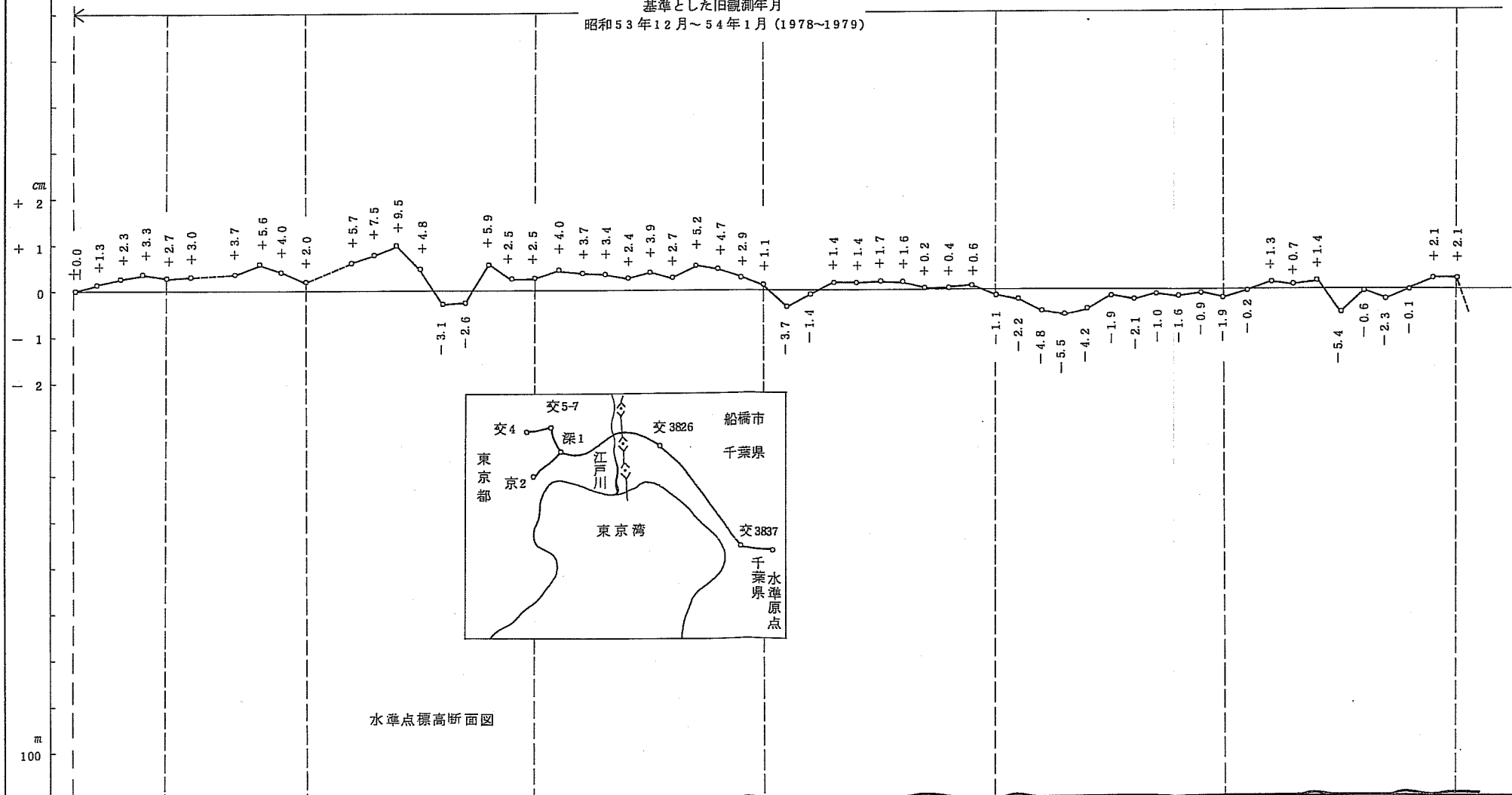
自埼玉県大宮市 至千葉県船橋市



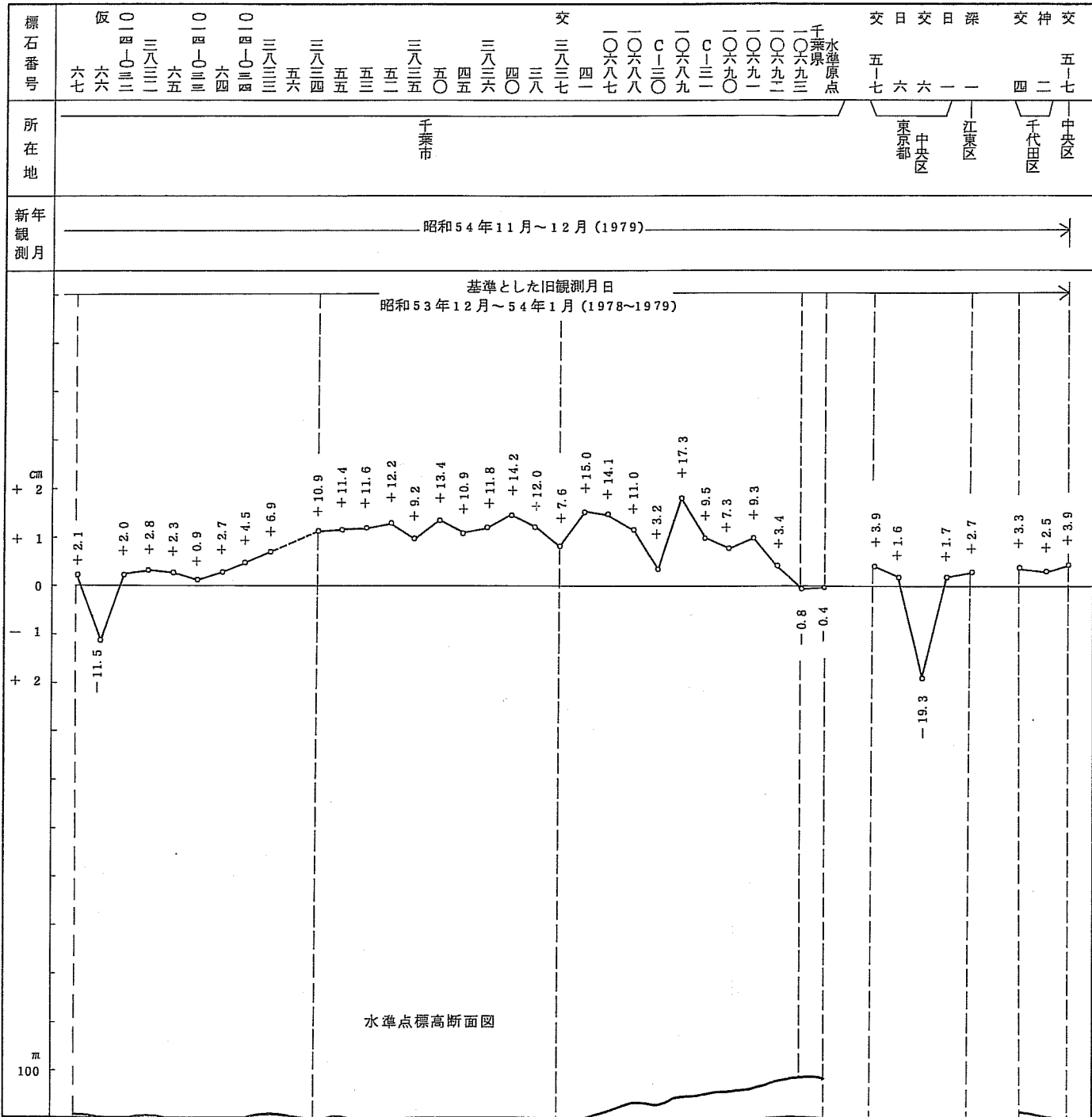
標石番号	京交 七二 京交 七五 交 無号	深復 九八三一 深復 九八三三 深復 九八三二	研 九八三四 研 九八三三 研 九八三二	深 九八三五 深 九八三六 深 九八三四	江 九八三七 江 九八三六 江 九八三五	江 九八三八 江 九八三九 江 九八三八	江 九八四〇 江 九八四一 江 九八四二	市川 八八 市川 八八 市川 八八	市川 九八四三 市川 九八四四 市川 九八四五	三 三八二七 三 三八二八 三 三八二九	交 三八七六 交 三八七五 交 三八七四	交 三八七三 交 三八七二 交 三八七一	〇 二四一三 〇 二四一四 〇 二四一五	〇 二四一六 〇 二四一七 〇 二四一八	〇 二四一九 〇 二四二〇 〇 二四二一	〇 二四二二 〇 二四二三 〇 二四二四	〇 二四二五 〇 二四二六 〇 二四二七	〇 二四二八 〇 二四二九 〇 二四三〇	〇 二四三一 〇 二四三二 〇 二四三三	〇 二四三四 〇 二四三五 〇 二四三六	〇 二四三七 〇 二四三八 〇 二四三九	〇 二四四〇 〇 二四四一 〇 二四四二	〇 二四四三 〇 二四四四 〇 二四四五										
所在地	東京都 中央区	千葉県 江東区	千葉県 江戸川区	千葉県 千葉市 中央区	千葉県 千葉市 中央区	千葉県 千葉市 中央区	千葉県 千葉市 中央区	千葉県 千葉市 中央区	千葉県 千葉市 中央区	千葉県 船橋市	千葉県 船橋市	千葉県 船橋市	千葉県 習志野市	千葉県 習志野市	千葉県 習志野市	千葉県 習志野市	千葉県 習志野市	千葉県 習志野市	千葉県 千葉市	千葉県 千葉市	千葉県 千葉市	千葉県 千葉市	千葉県 千葉市	千葉県 千葉市	千葉県 千葉市	千葉県 千葉市	千葉県 千葉市	千葉県 千葉市	千葉県 千葉市	千葉県 千葉市	千葉県 千葉市	千葉県 千葉市	千葉県 千葉市

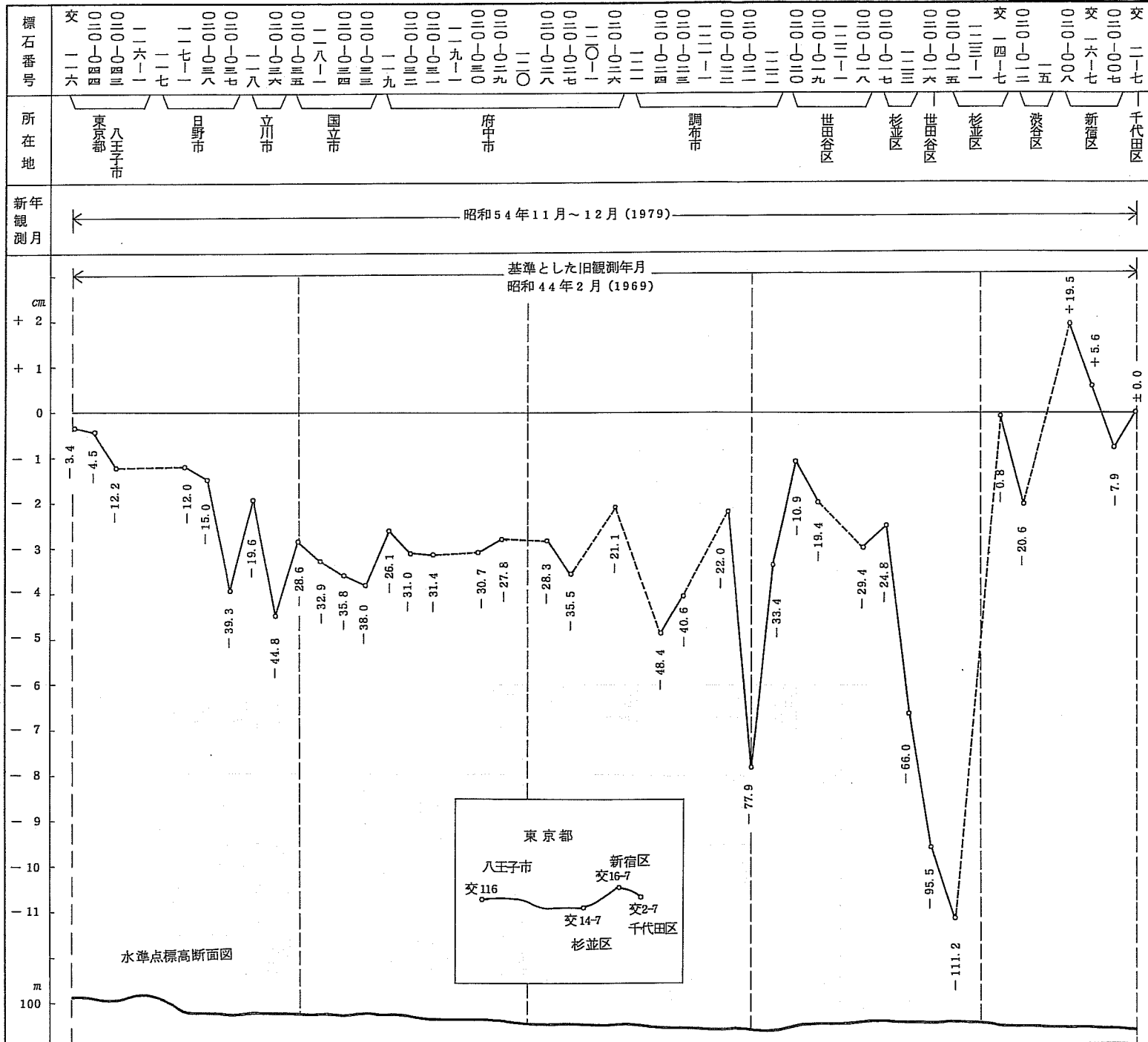
昭和54年11月~12月 (1979)

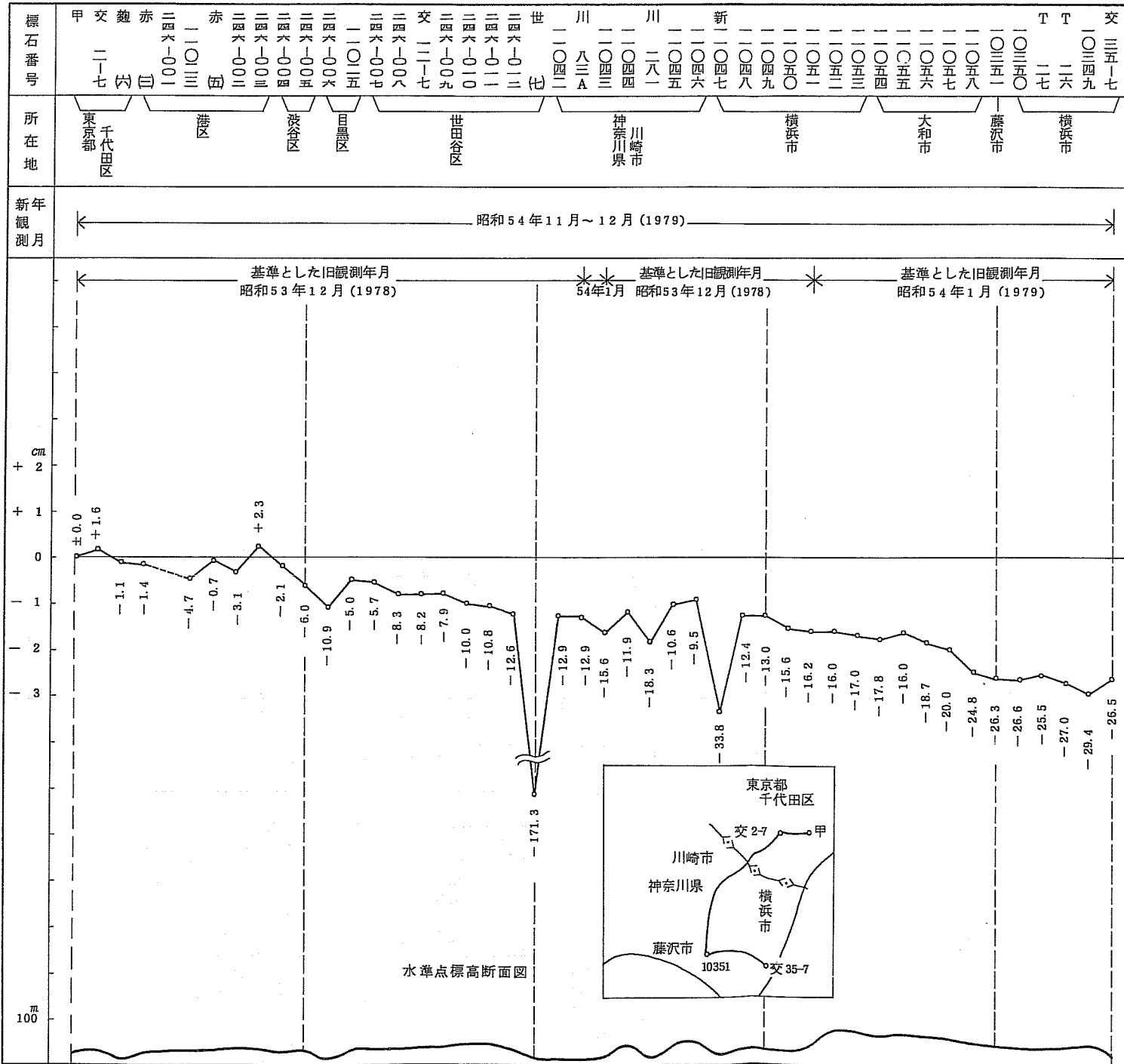
基準とした旧観測年月
昭和53年12月~54年1月 (1978~1979)

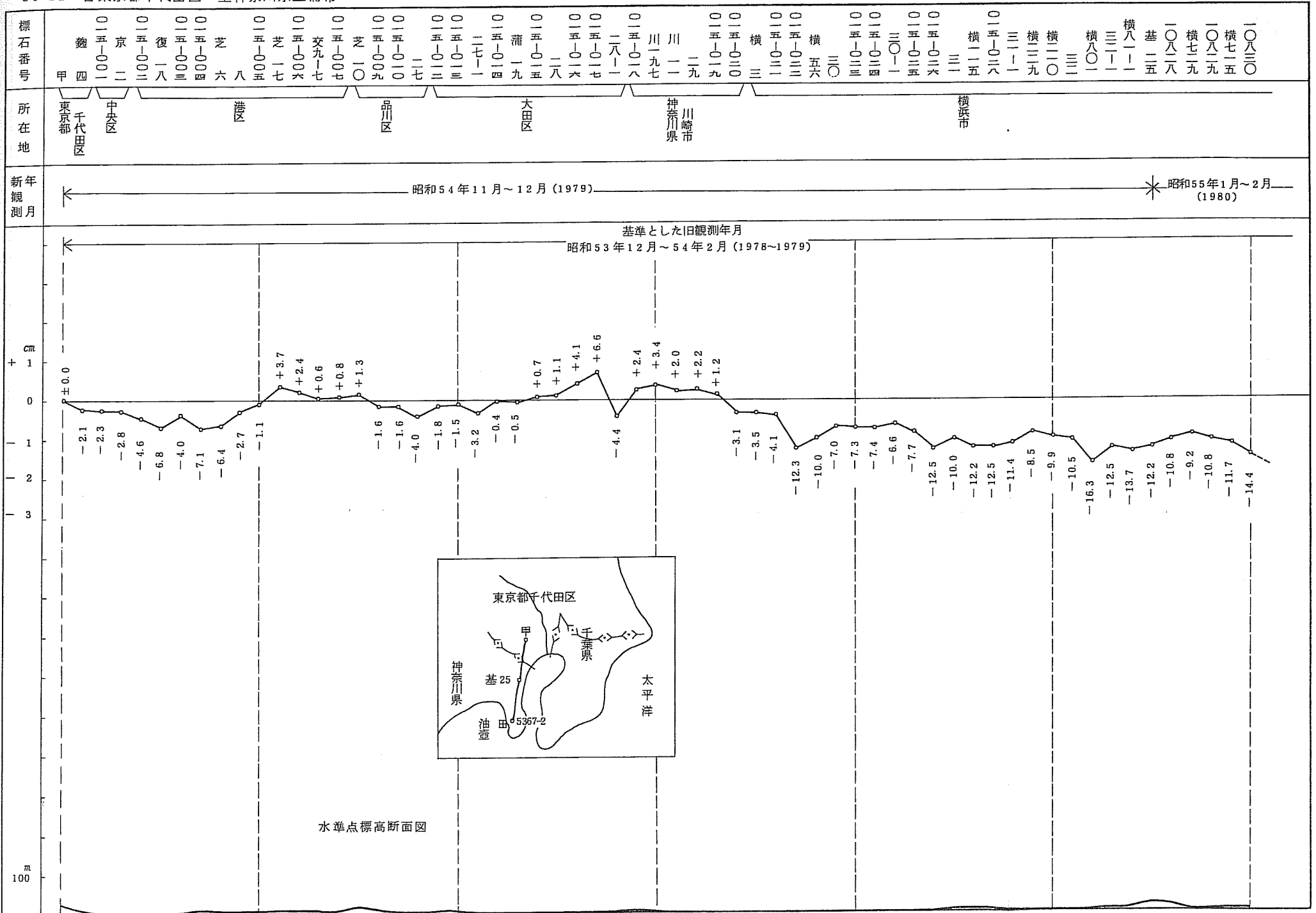


自東京都中央区 至千葉県千葉市

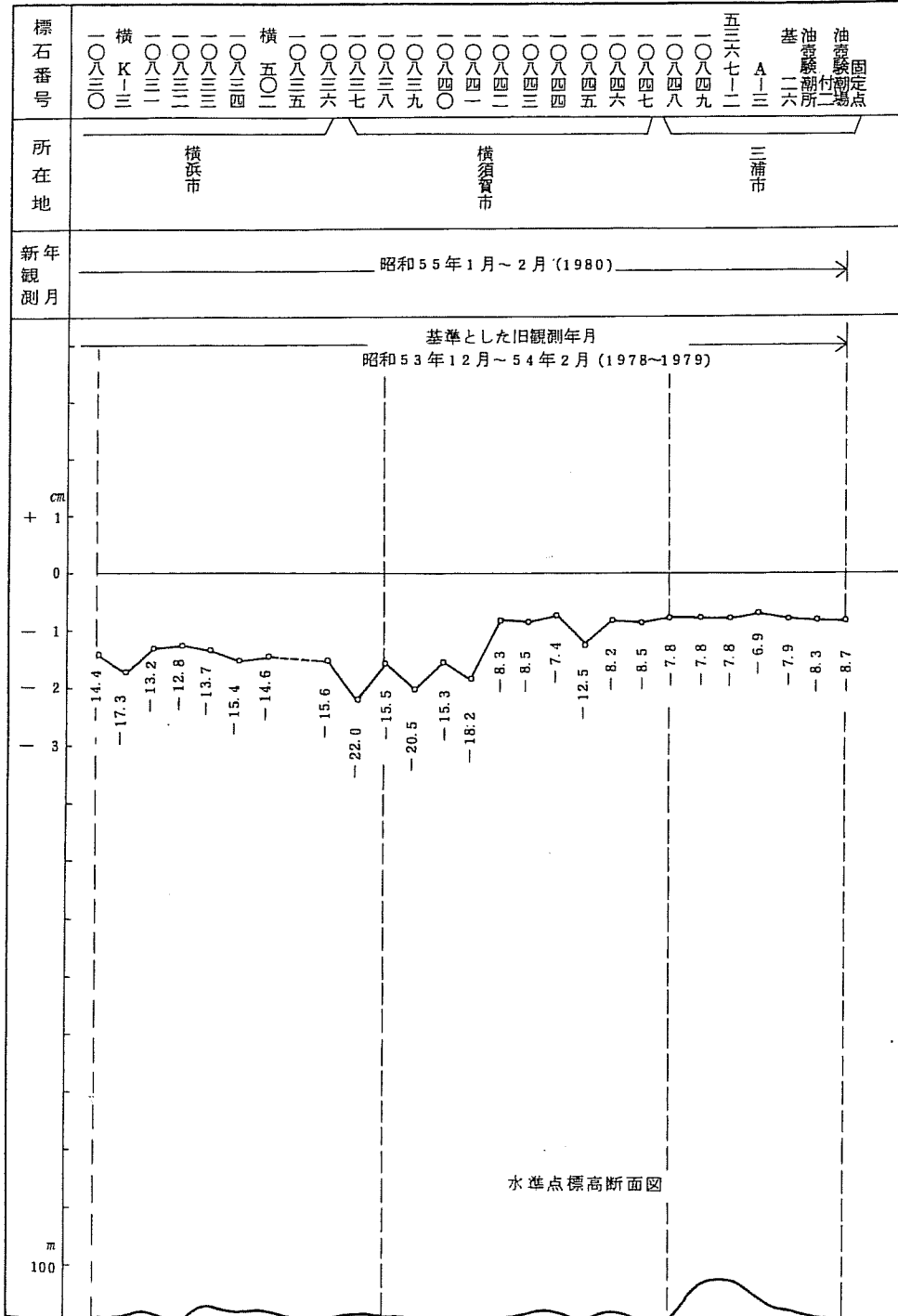




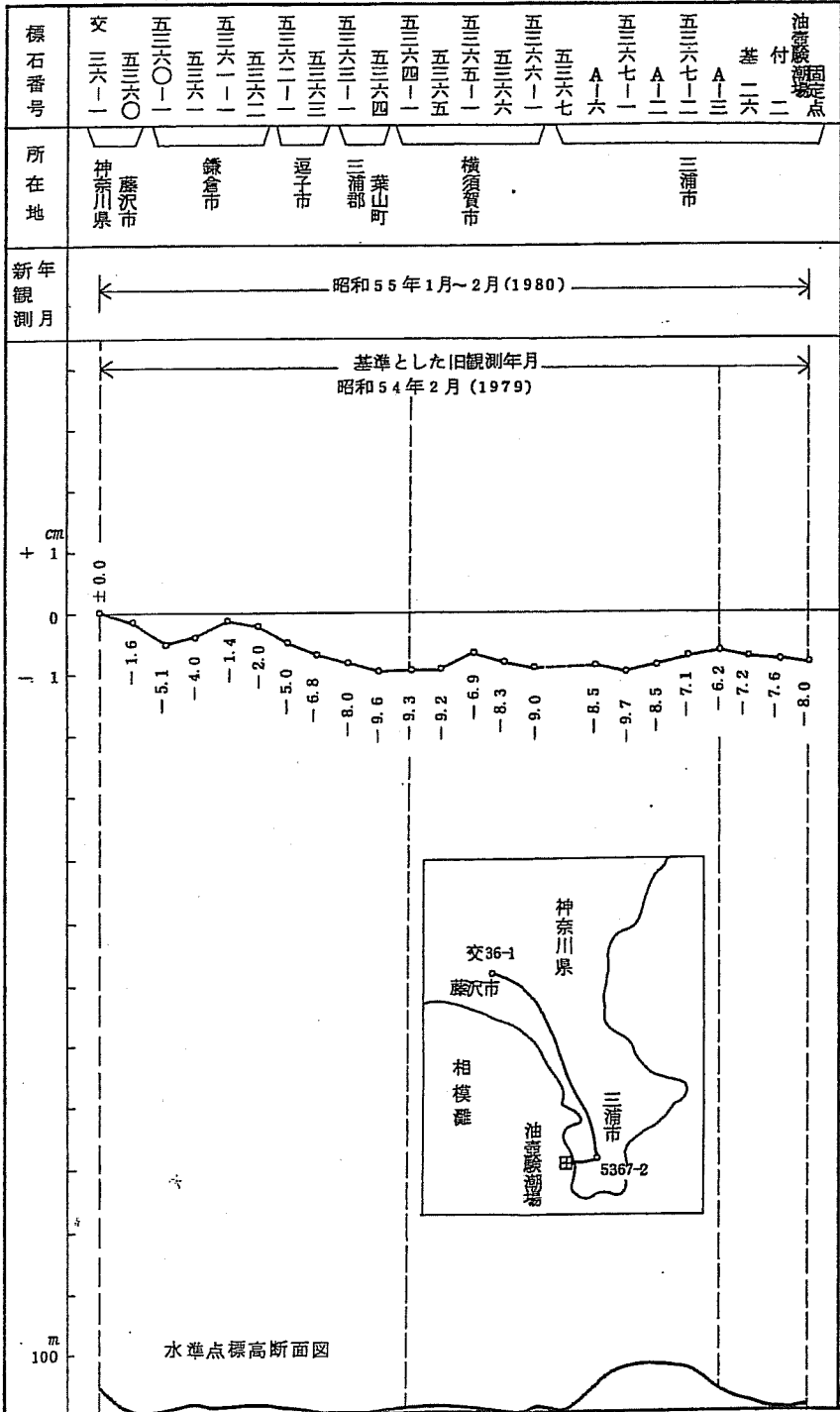


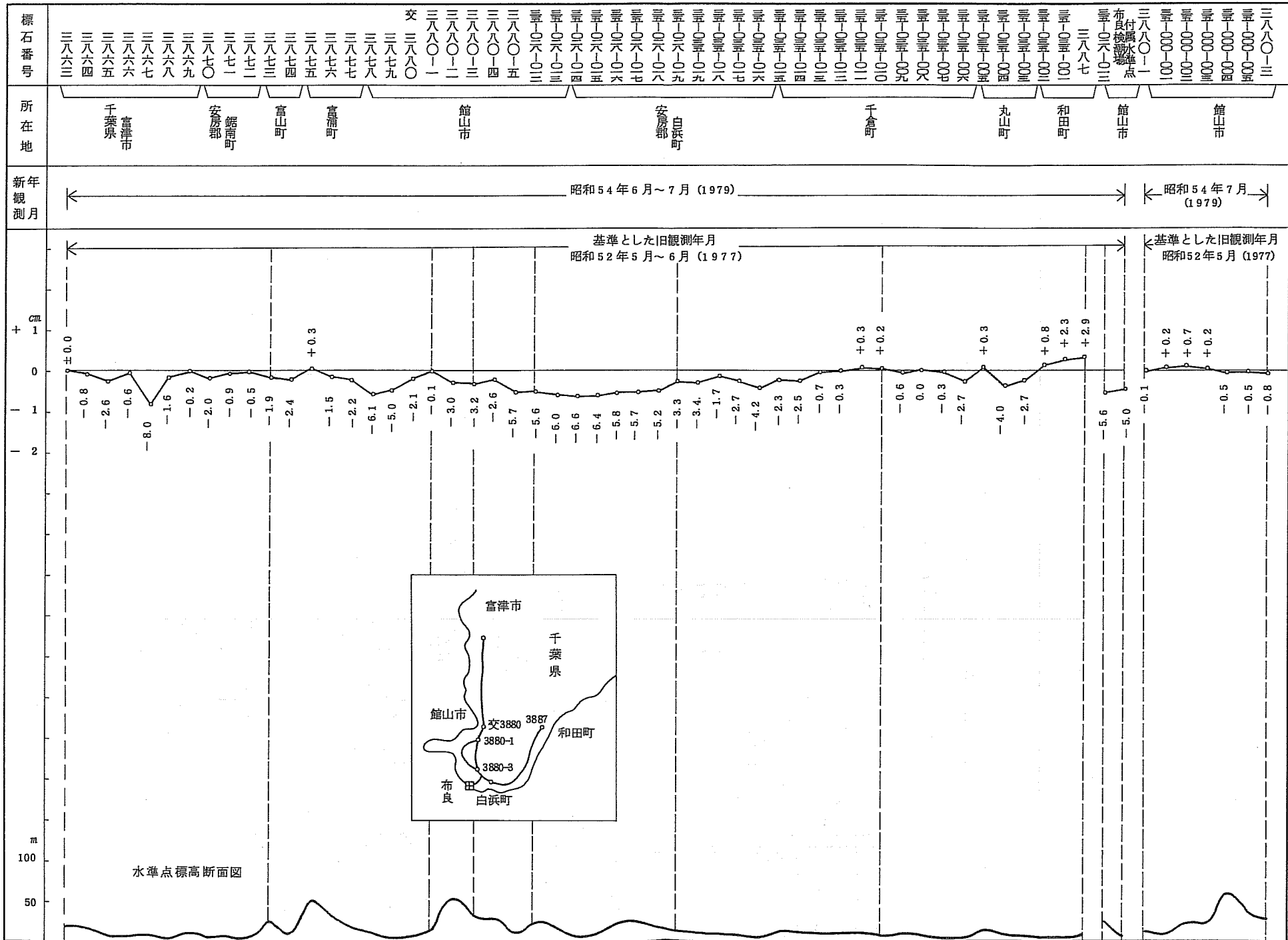


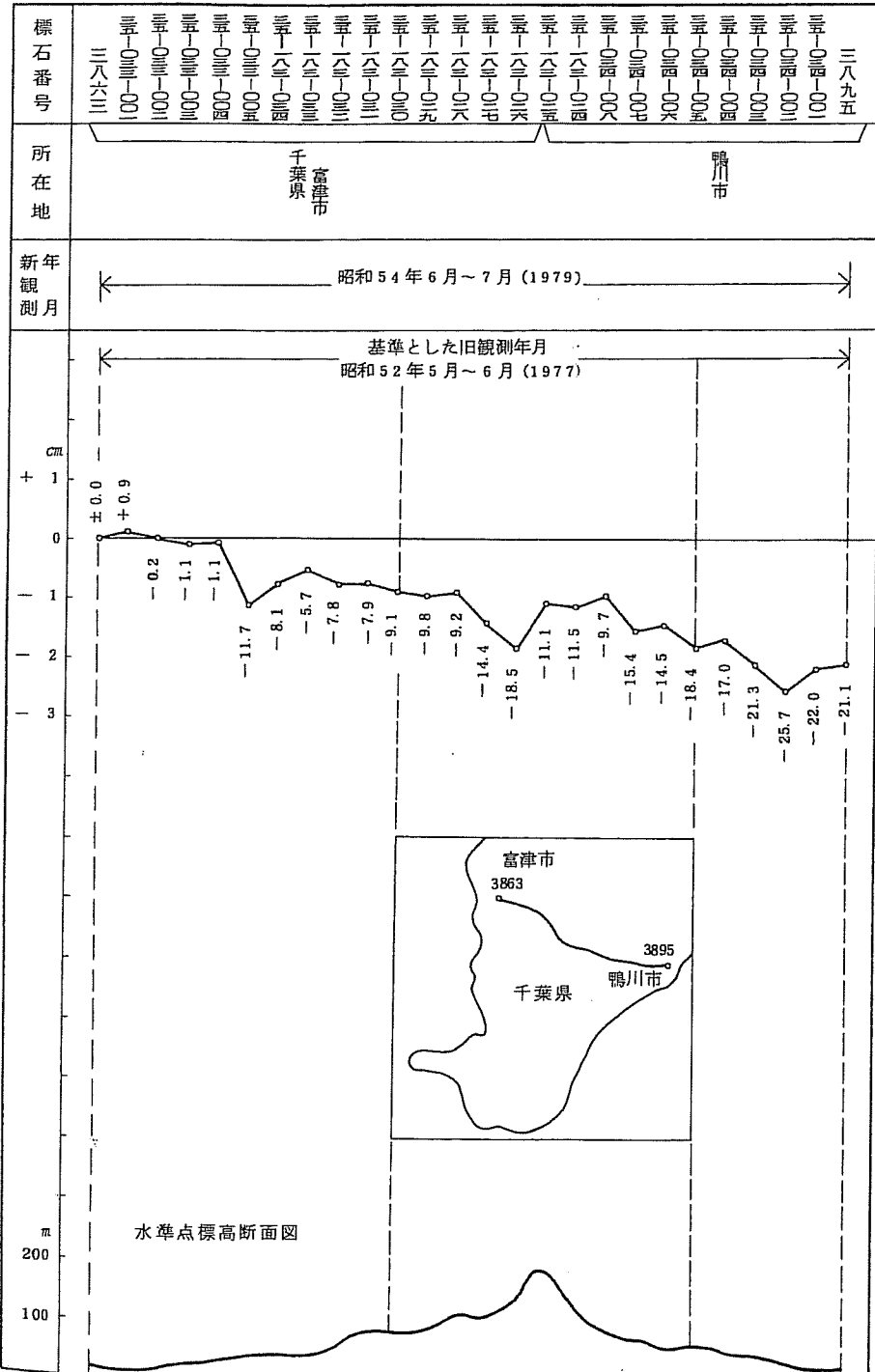
自東京都千代田区 至神奈川県三浦市



54-23 自神奈川県藤沢市 至三浦市

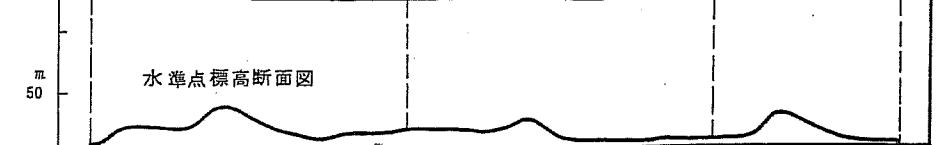
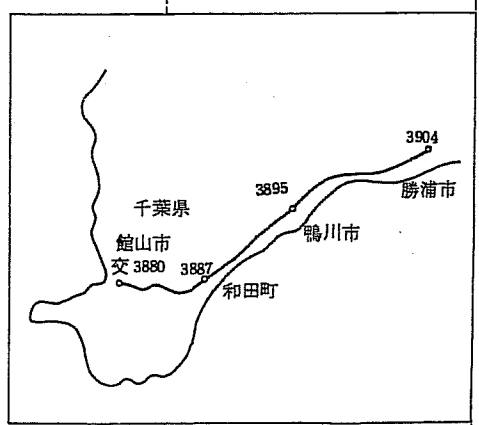
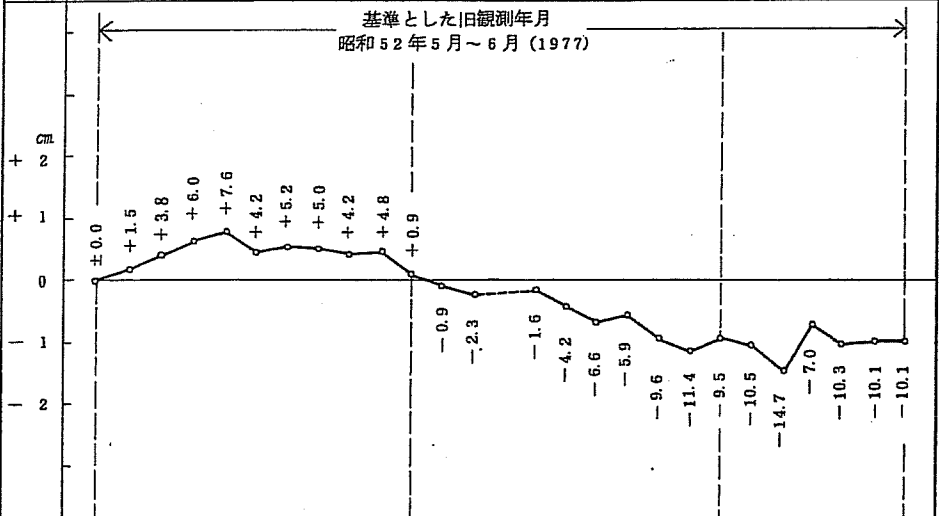


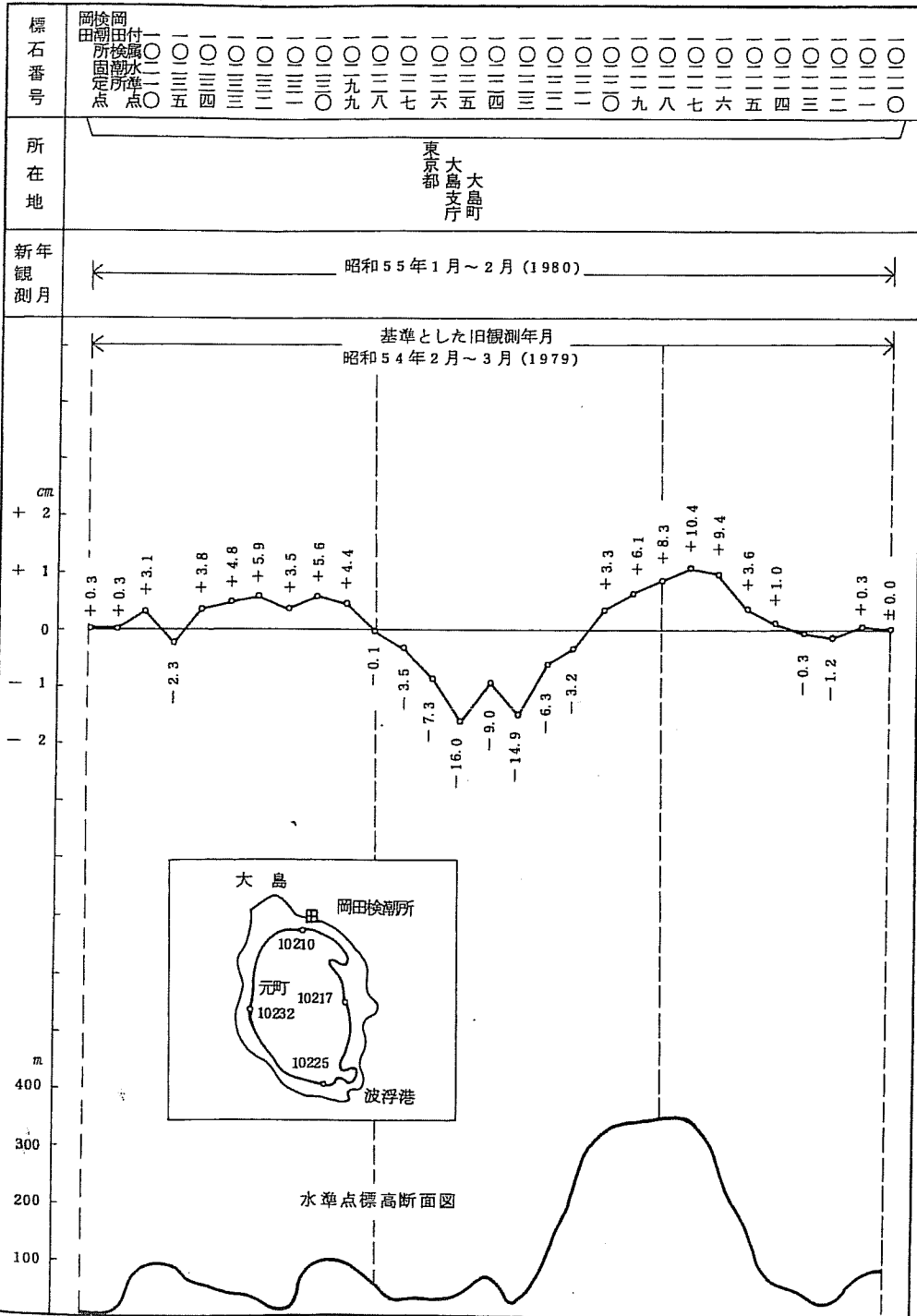




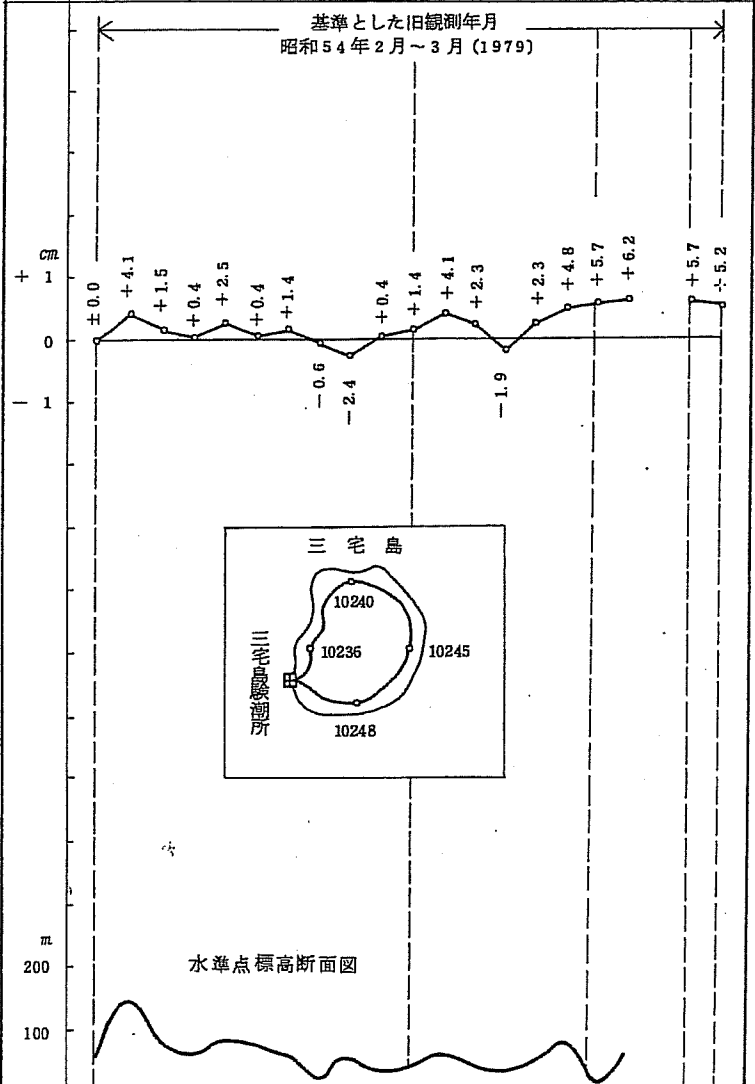
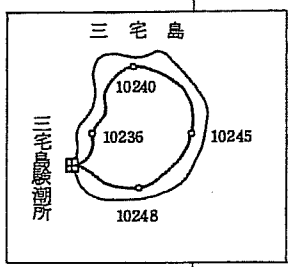
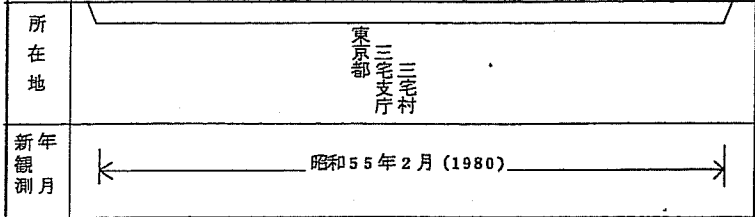
標石番号	交 三八八〇 三八八一 三八八二 三八八三 三八八四 三八八五 三八八六 三八八七 三八八八 三八八九 三八九〇 三八九一 三八九二 三八九三 三八九四 三八九五 三八九六 三八九七 三八九八 三八九九 三九〇〇 三九〇一 三九〇二 三九〇三 三九〇四 付二〇	所在地	千葉県 館山市 安房郡 丸山町 和田町 鴨川市 安房郡 天津小湊町 勝浦市
------	--	-----	---

新年観測月
 ← 昭和54年6月~7月(1979) →

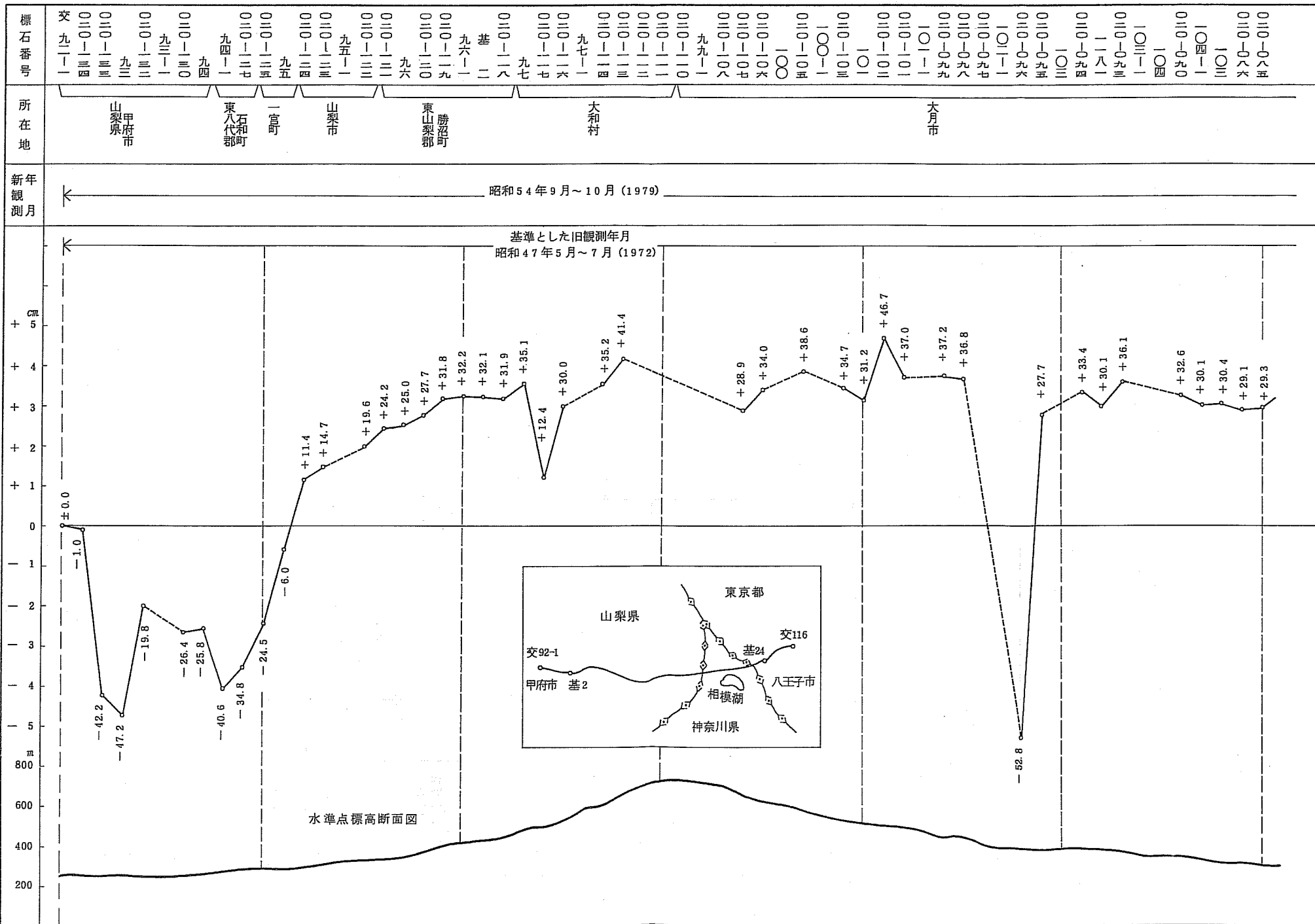




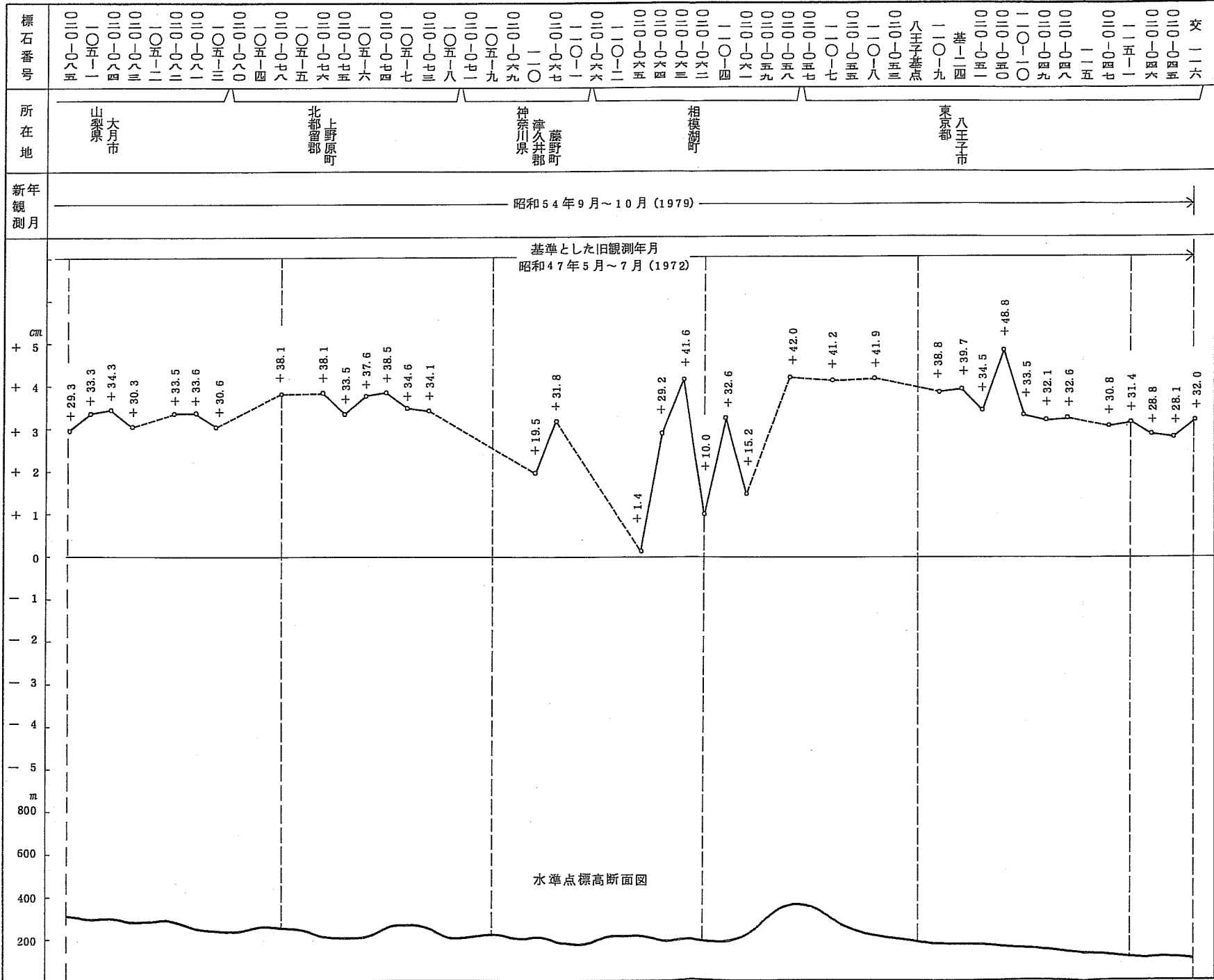
標石番号	一〇三六 一〇三七 一〇三八 一〇三九 一〇四〇 一〇四一 一〇四二 一〇四三 一〇四四 一〇四五 一〇四六 一〇四七 一〇四八 一〇四九 一〇五〇 一〇五一 一〇五二 三宅島 付属水俣点 三宅島 三宅島
所在地	東京都 三宅支庁 三宅村
新観測月	昭和55年2月(1980)
基準とした旧観測年月	昭和54年2月~3月(1979)

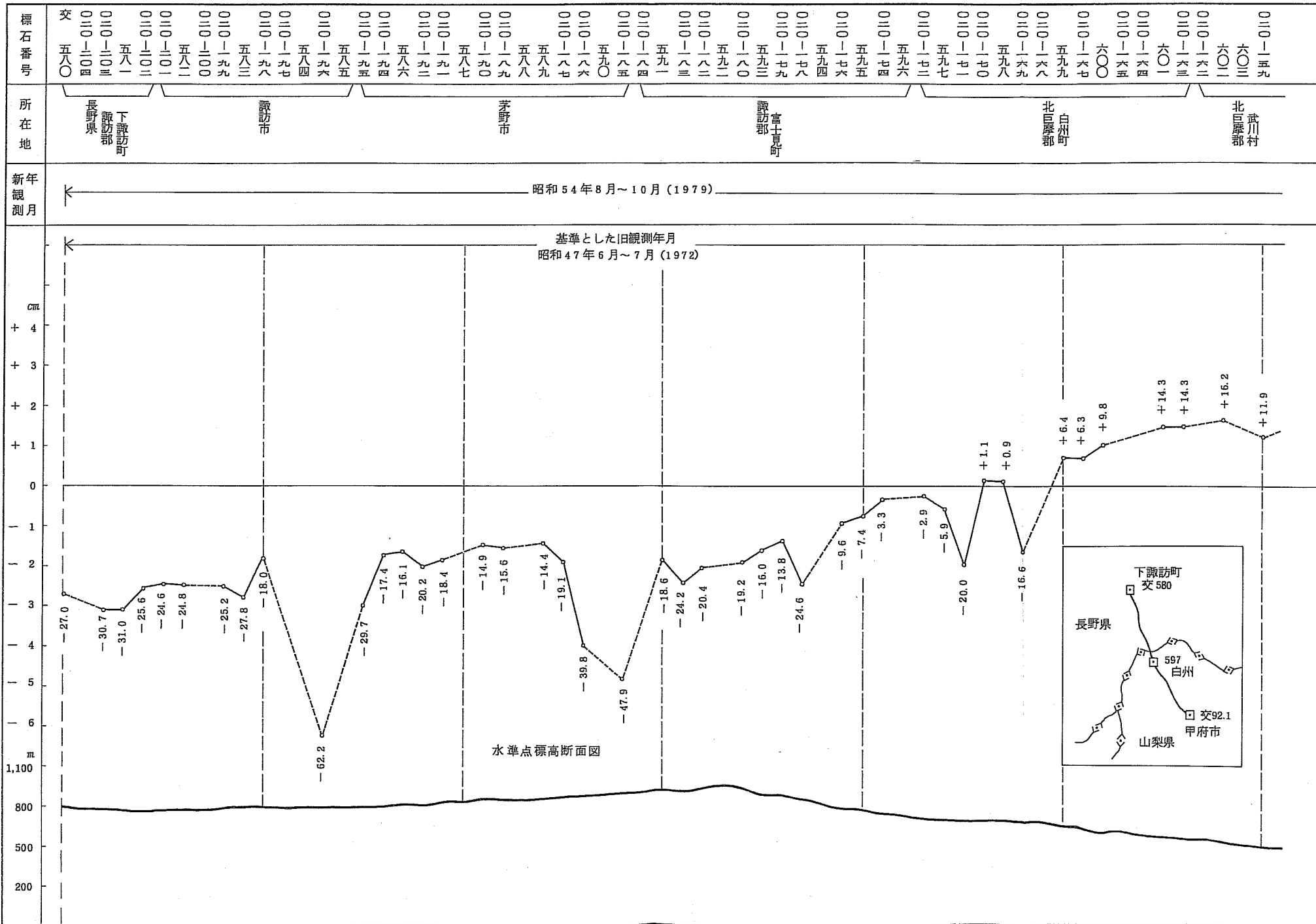


水準点標高断面図

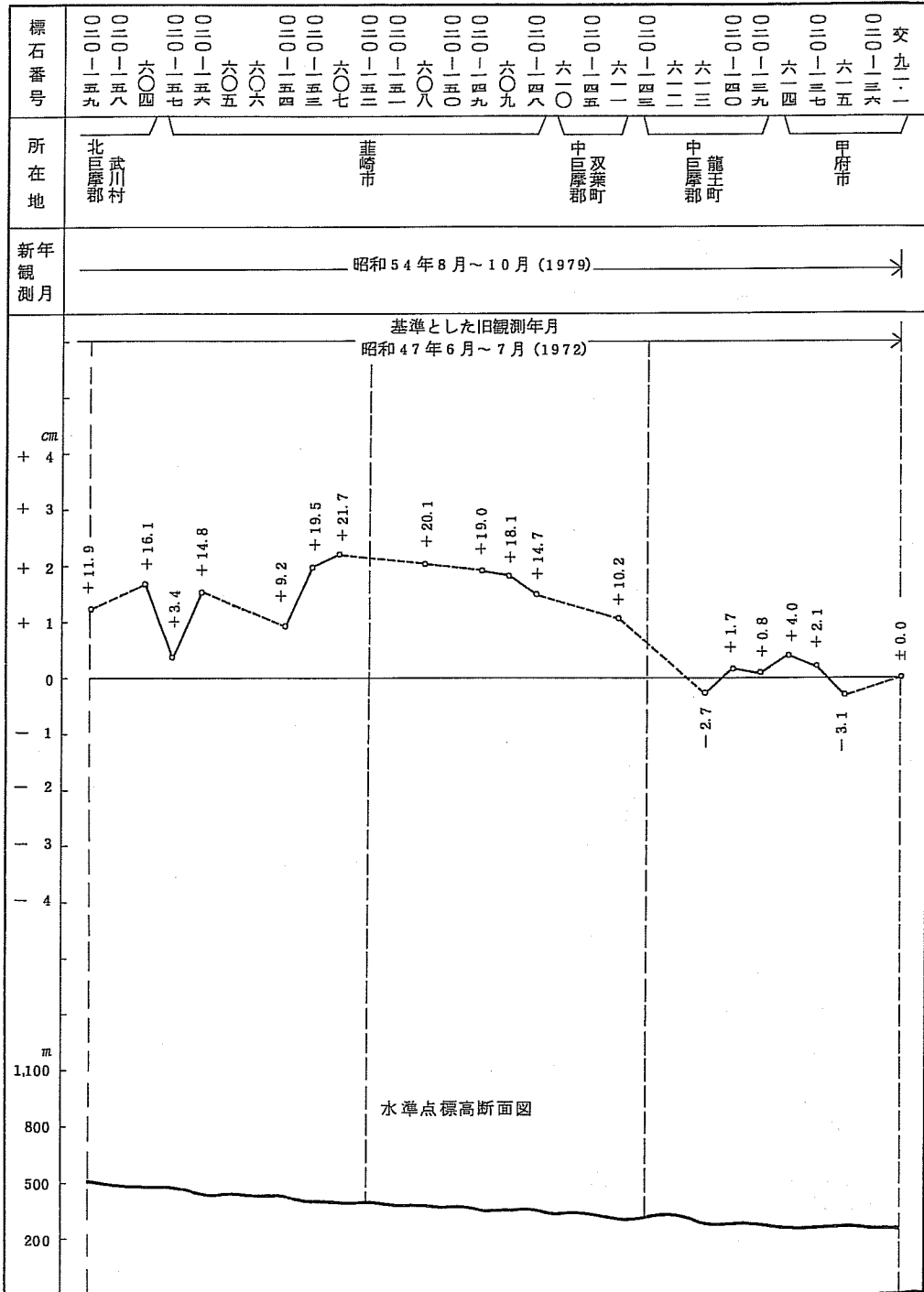


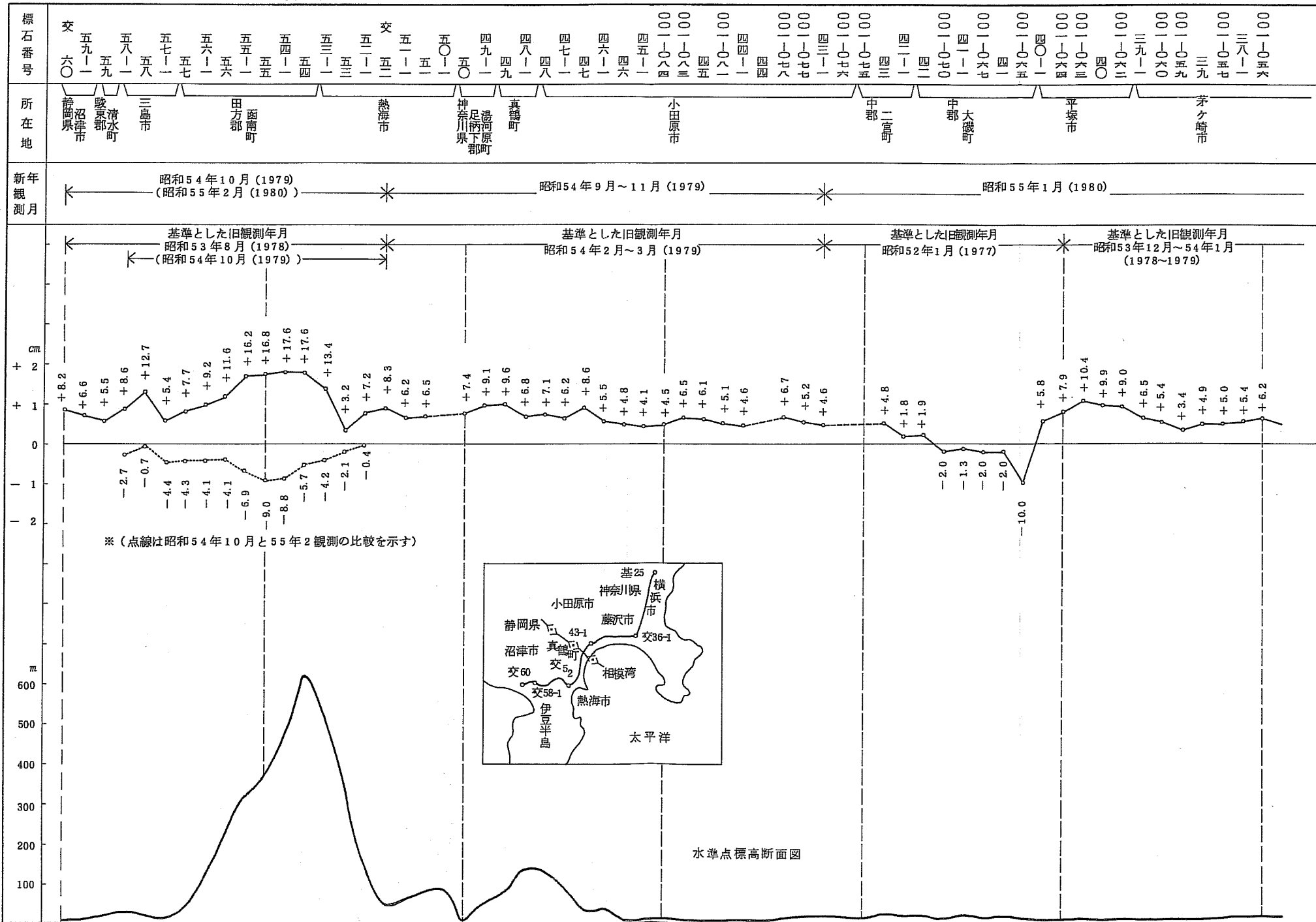
自山梨県甲府市 至東京都八王子市



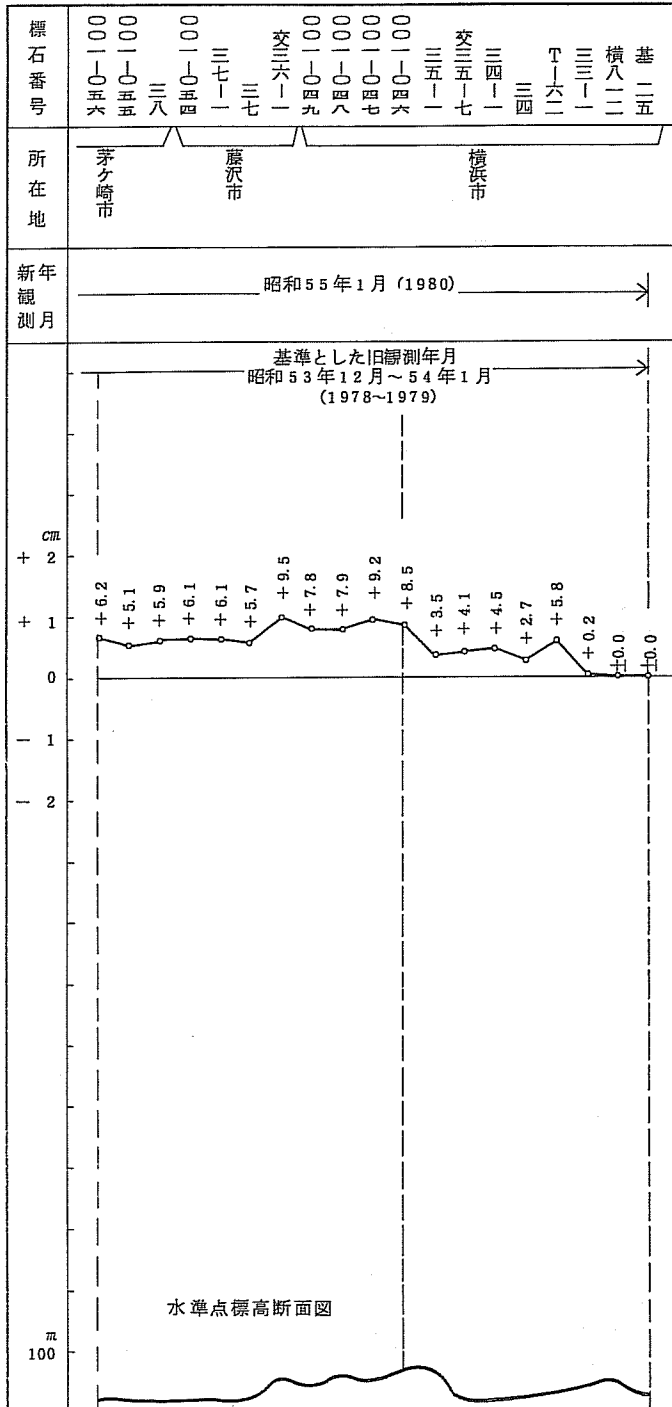


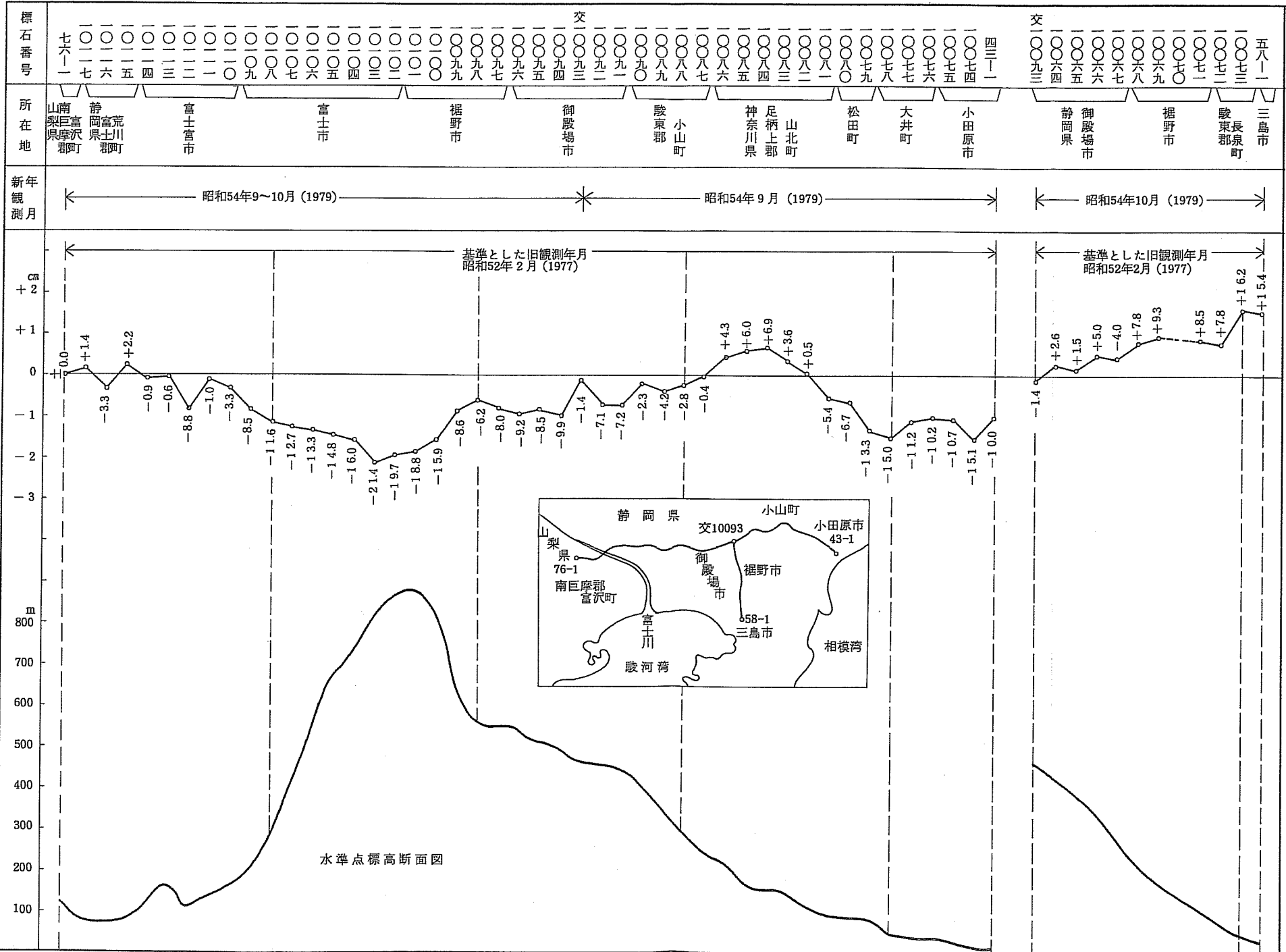
自長野県諏訪郡下諏訪町 至山梨県甲府市

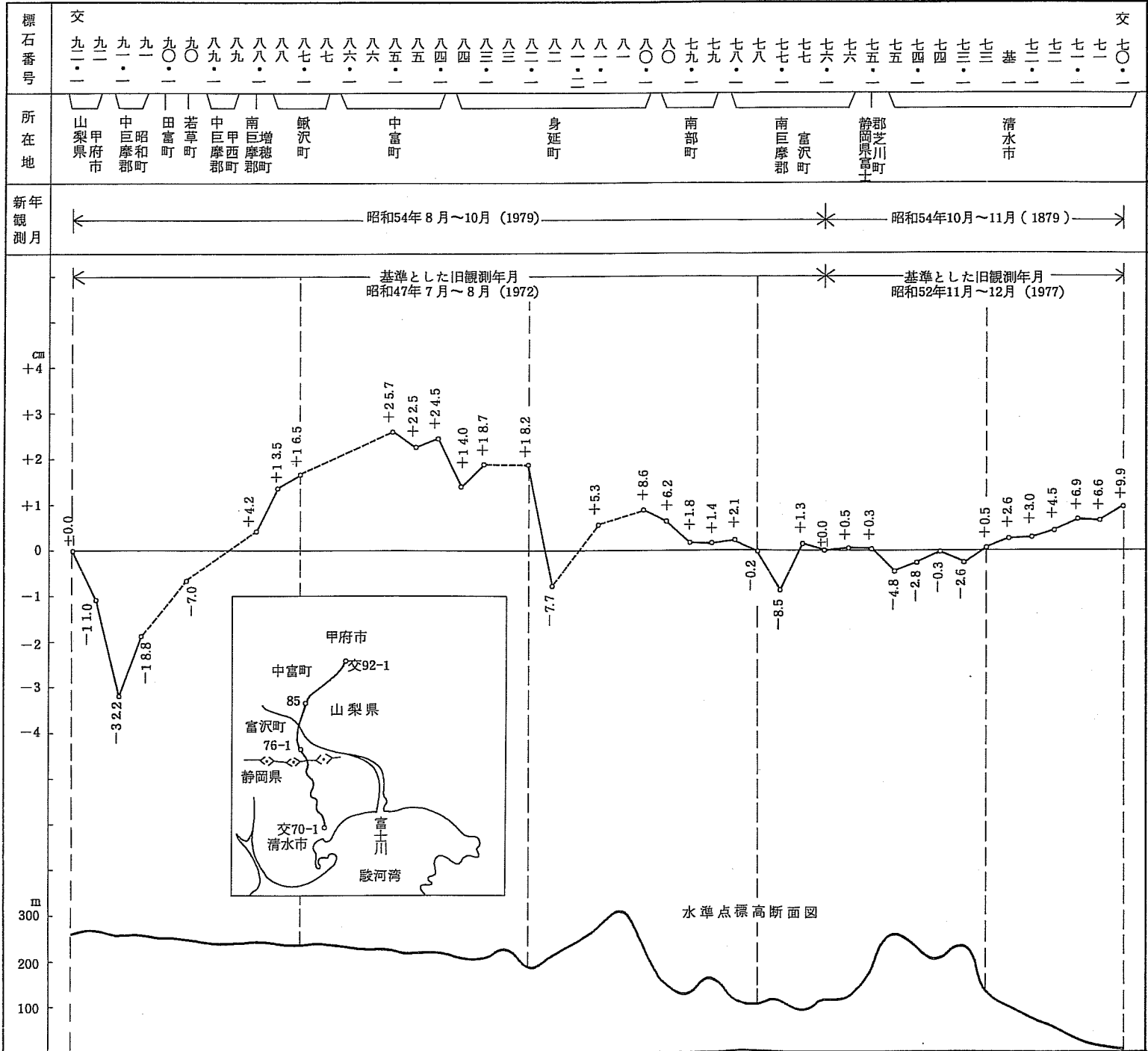


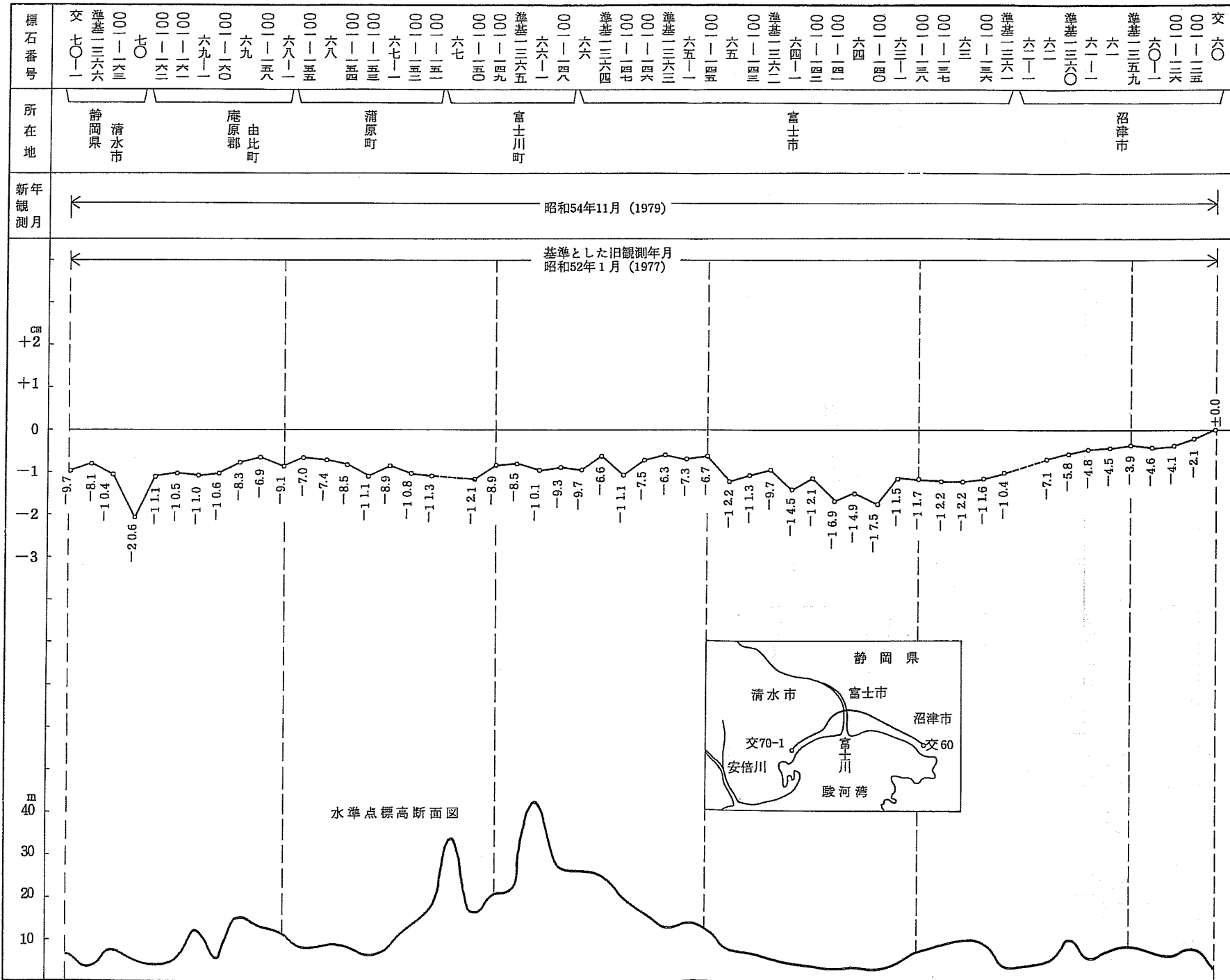


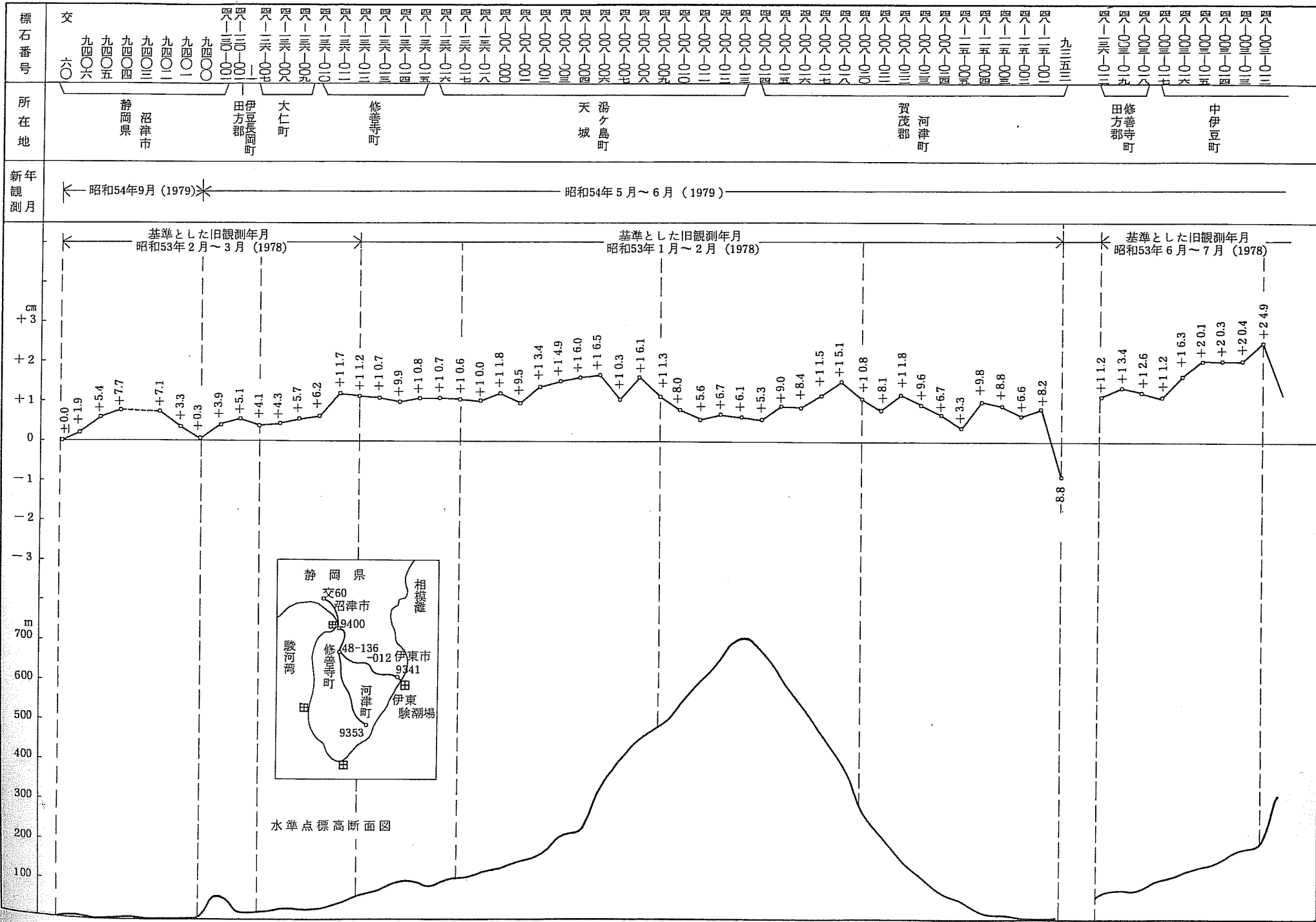
自静岡県沼津市 至神奈川県横浜市

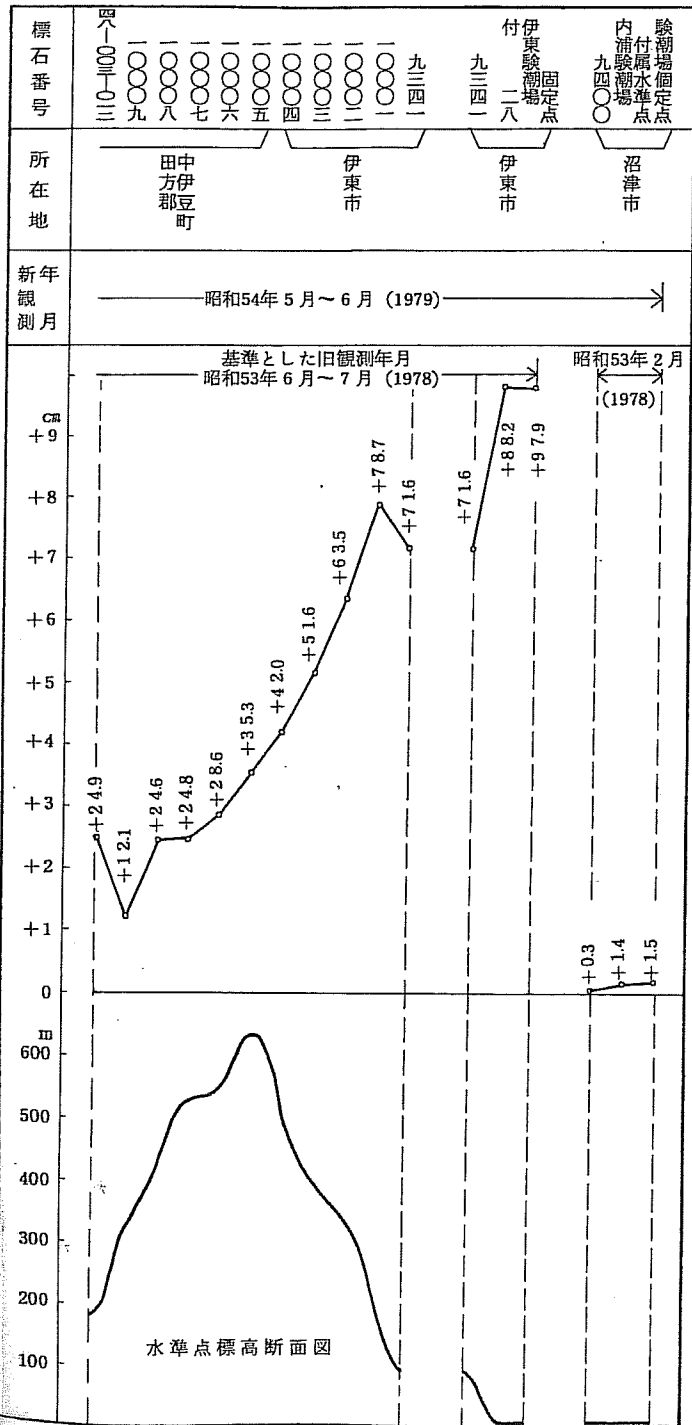






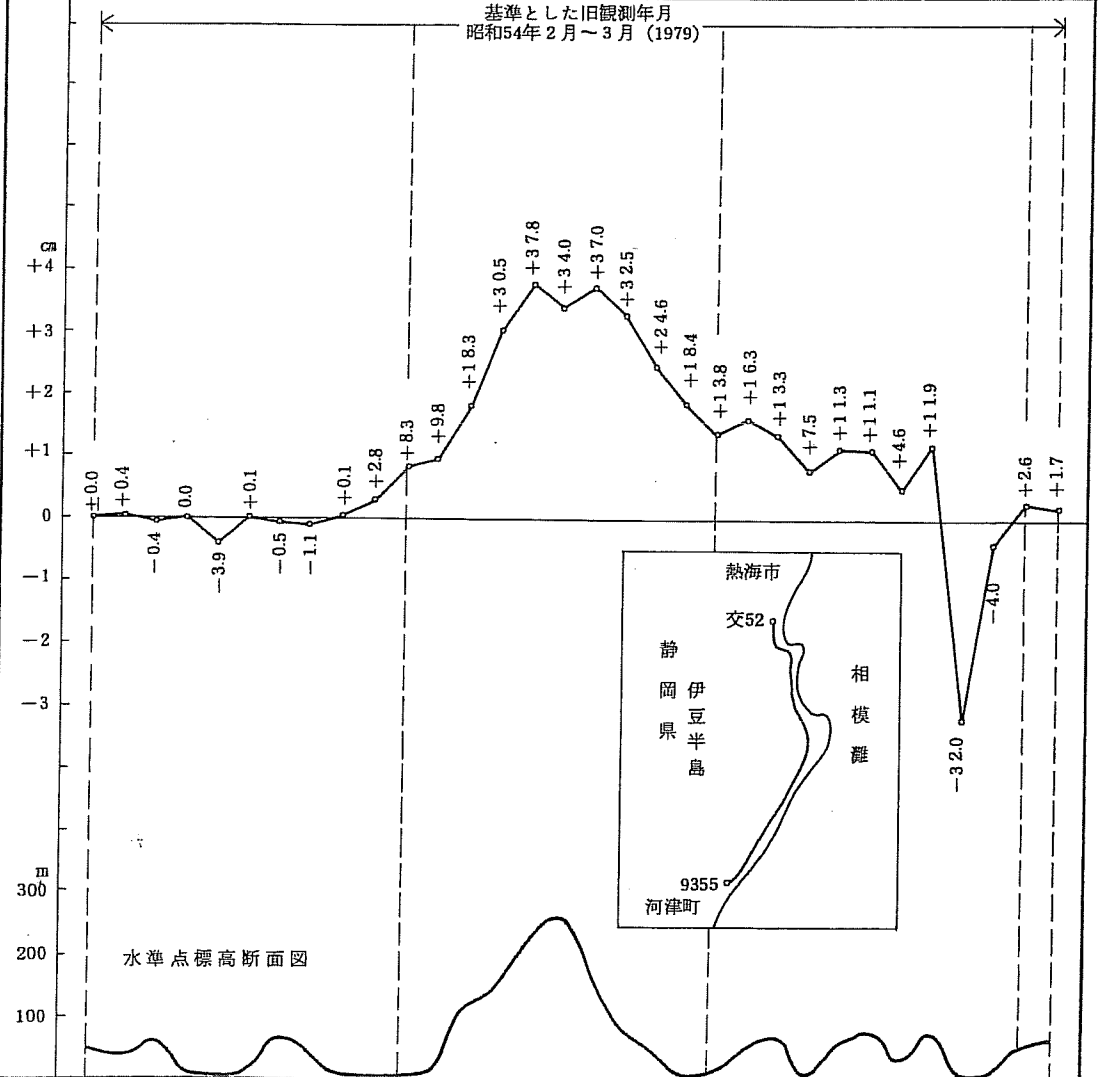


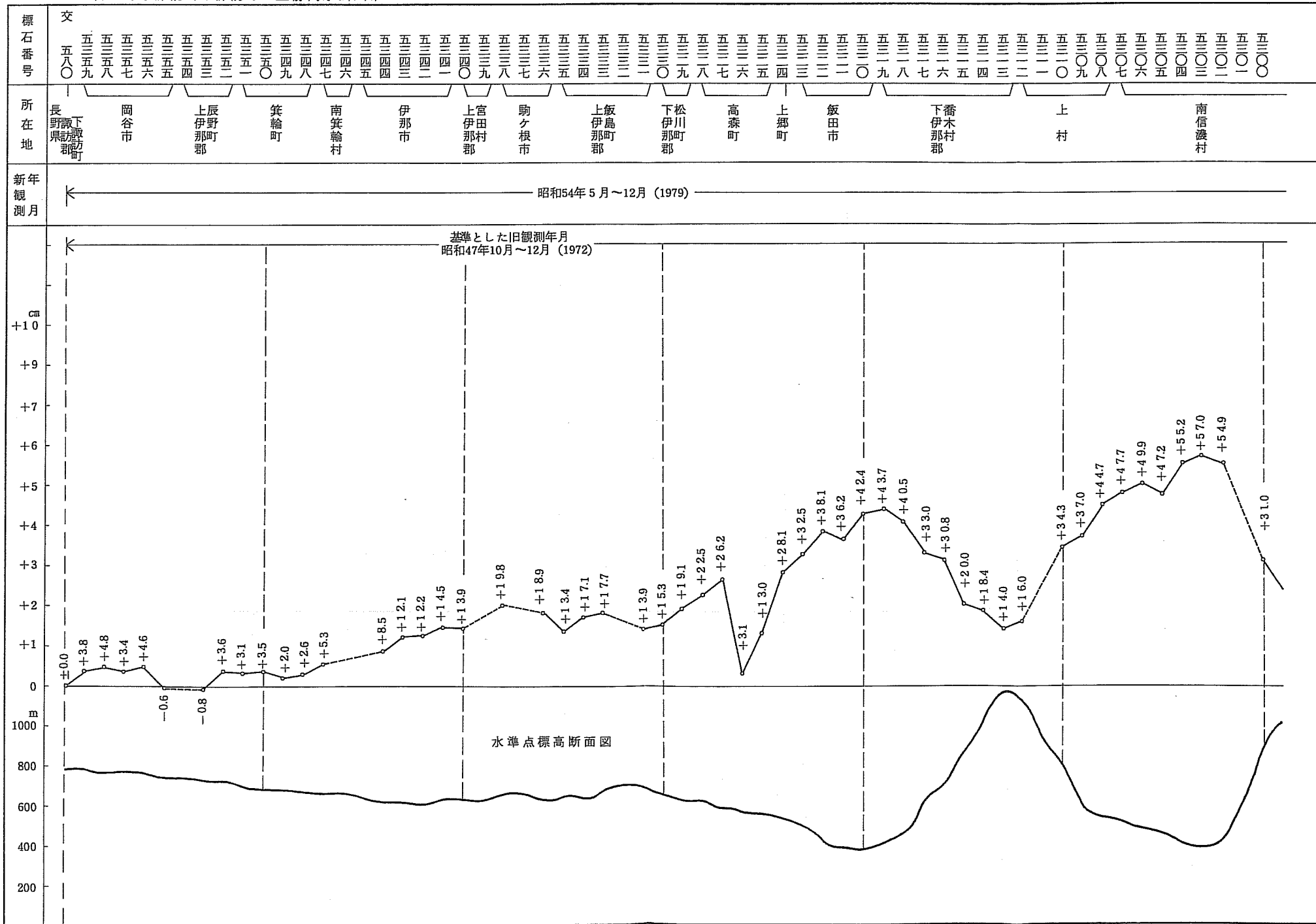




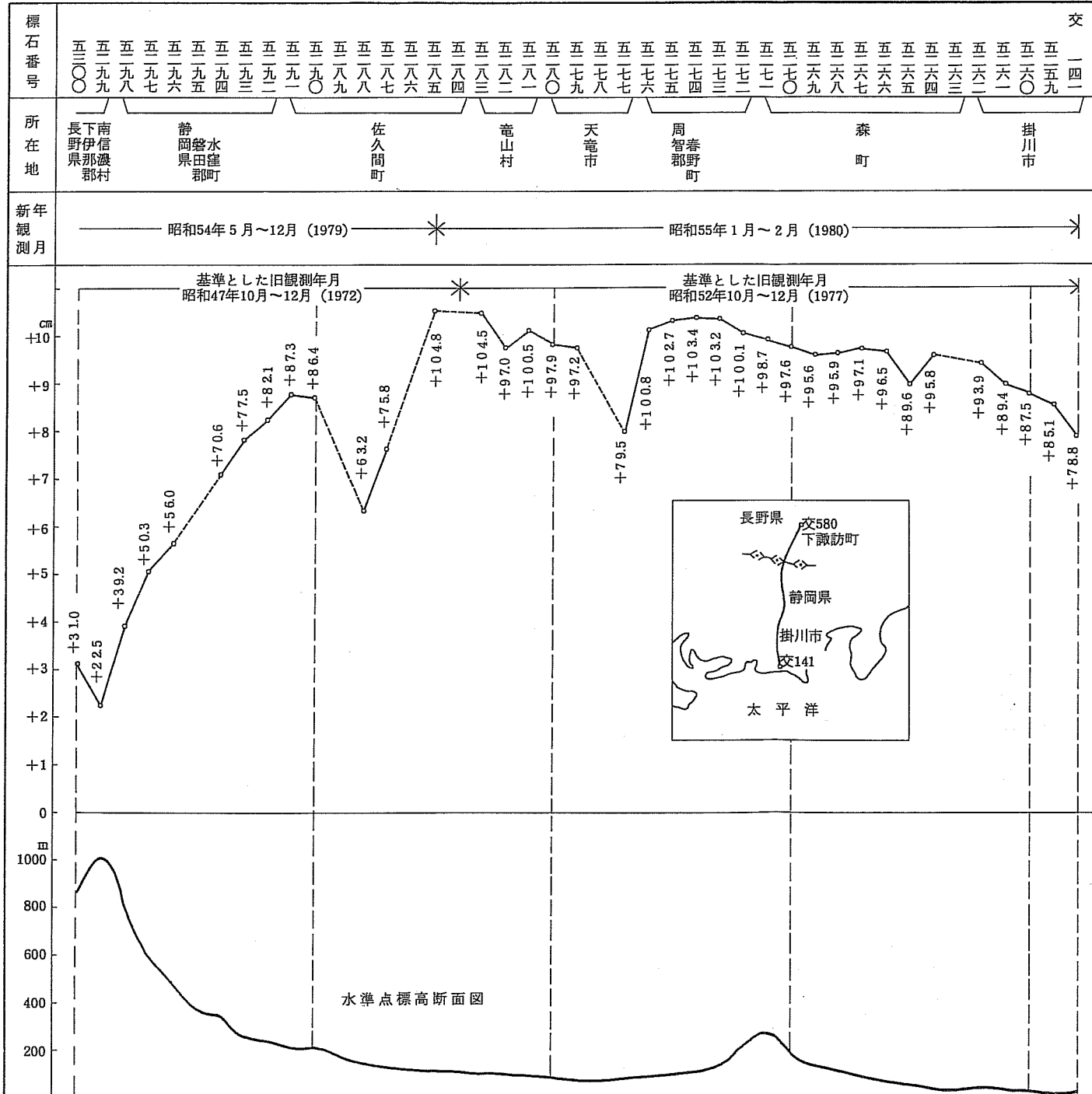
標石番号	交 五二二 九三二七 九三二八 九三二九 九三三〇 九三三一 九三三二 九三三三 九三三四 九三三五 九三三六 九三三七 九三三八 九三三九 九三四〇 九三四一 九三四二 九三四三 九三四四 九三四五 九三四六 九三四七 九三四八 九三四九 九三五〇 九三五一 九三五二 九三五三 九三五四 九三五五
所在地	静岡県 熱海市 伊東市 東伊豆郡 賀茂町 河津町

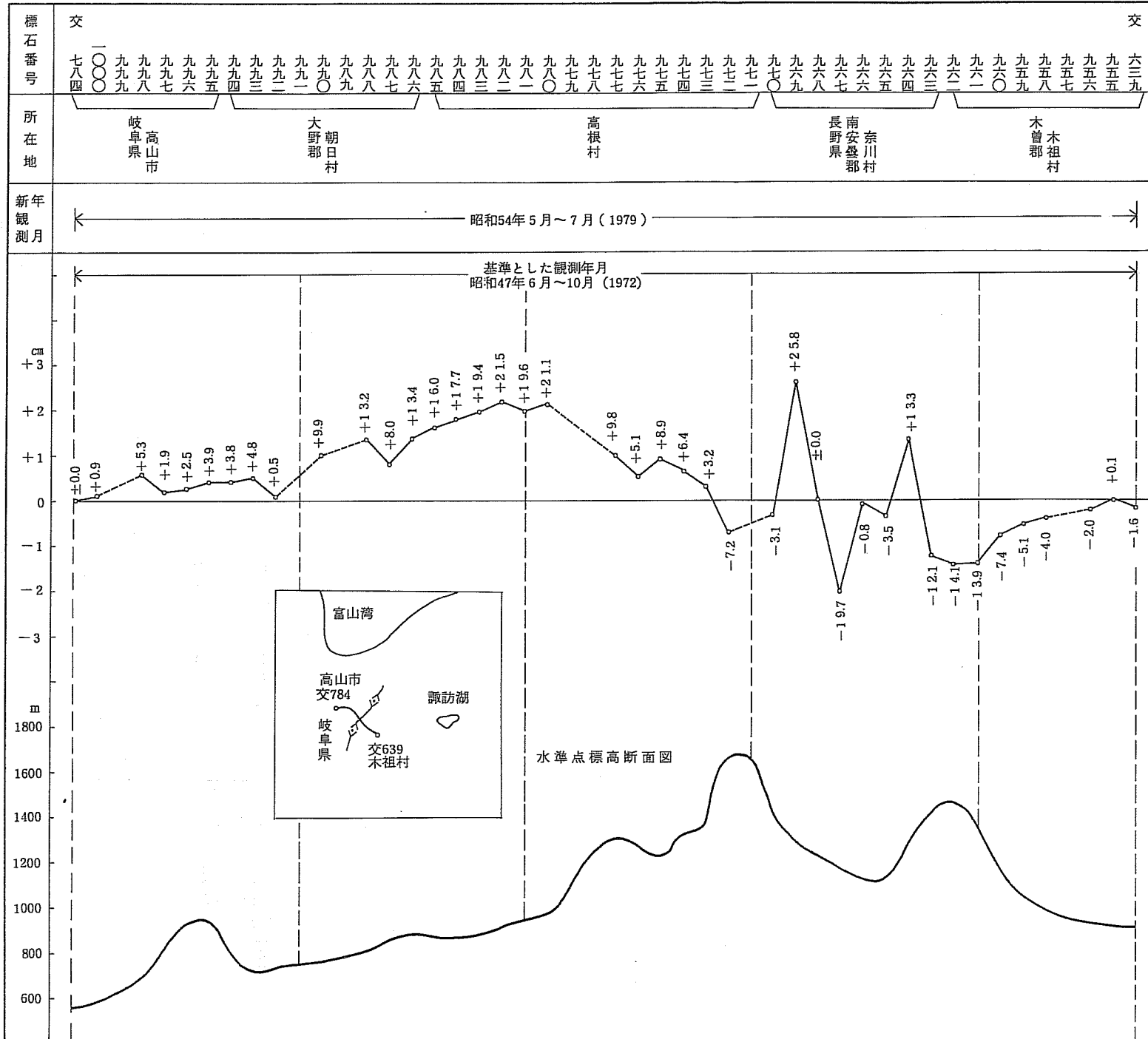
新年観測月
昭和55年1月~2月 (1980)

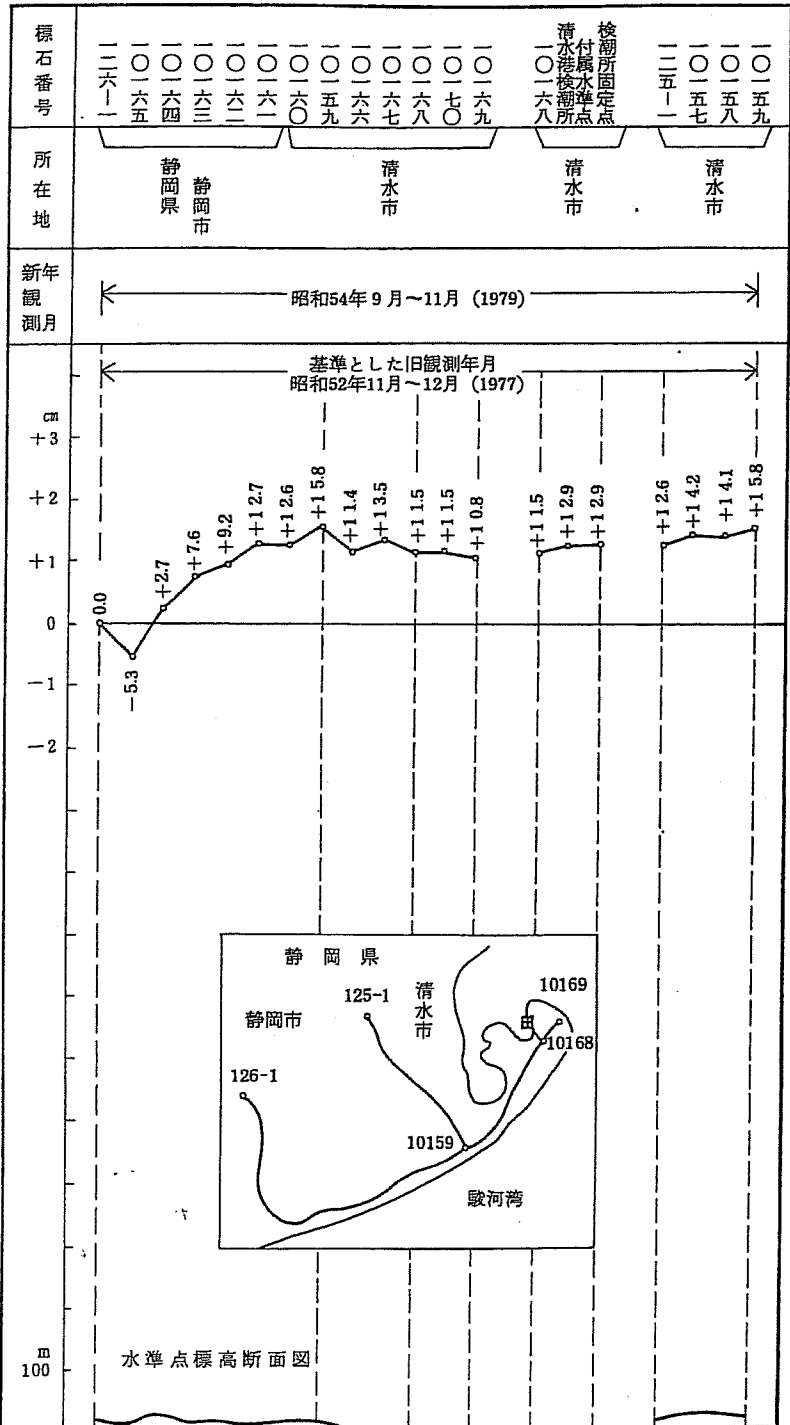


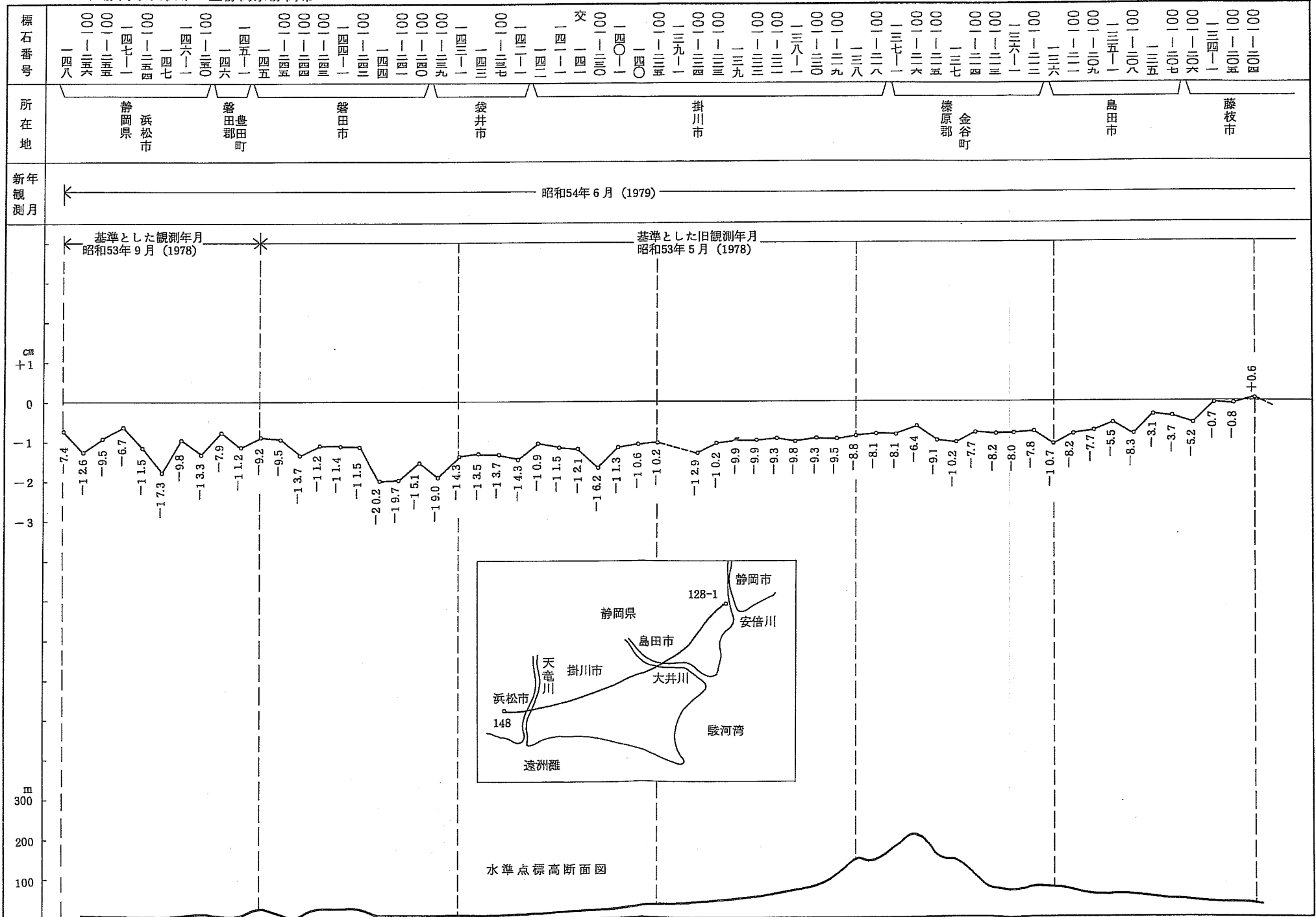


自長野県諏訪郡下諏訪町 至静岡県掛川市

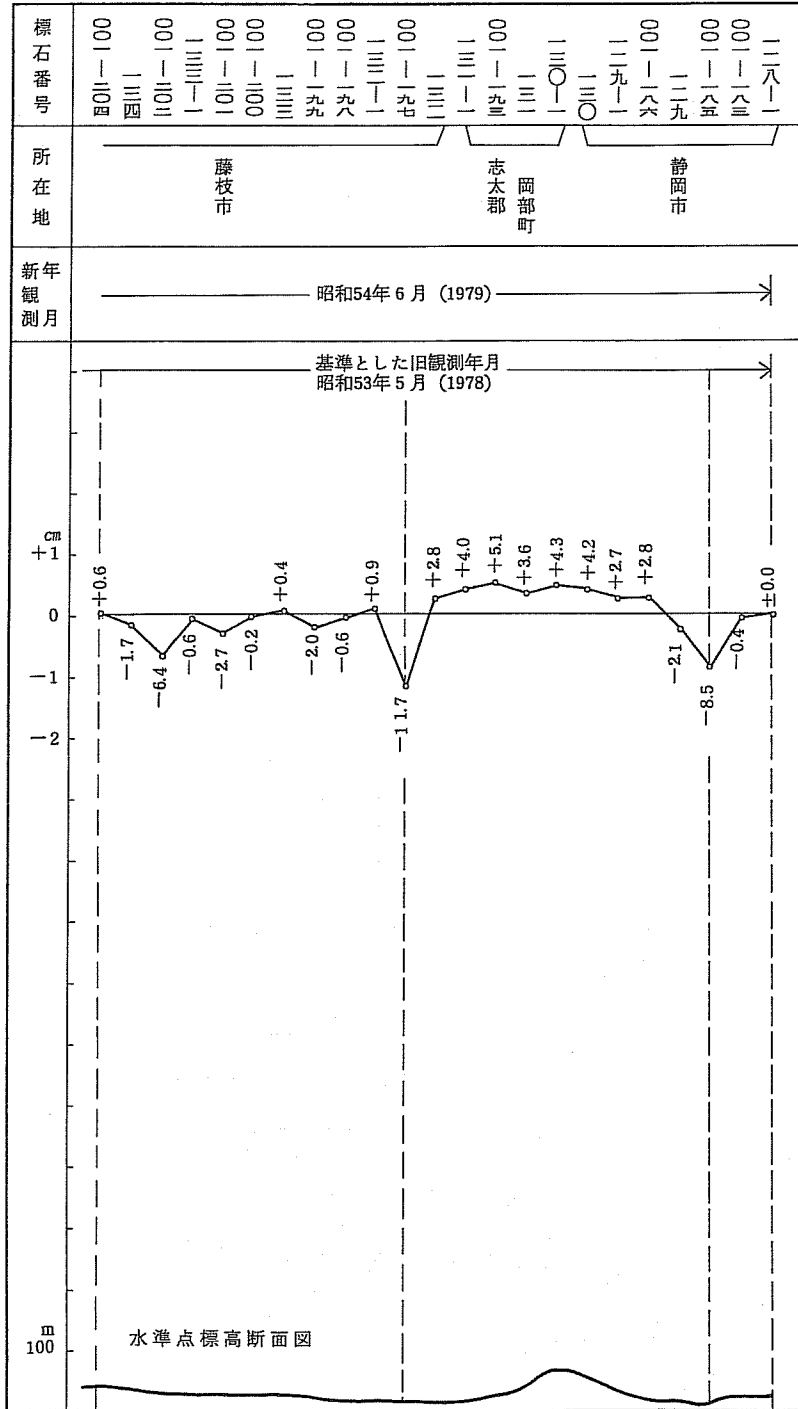


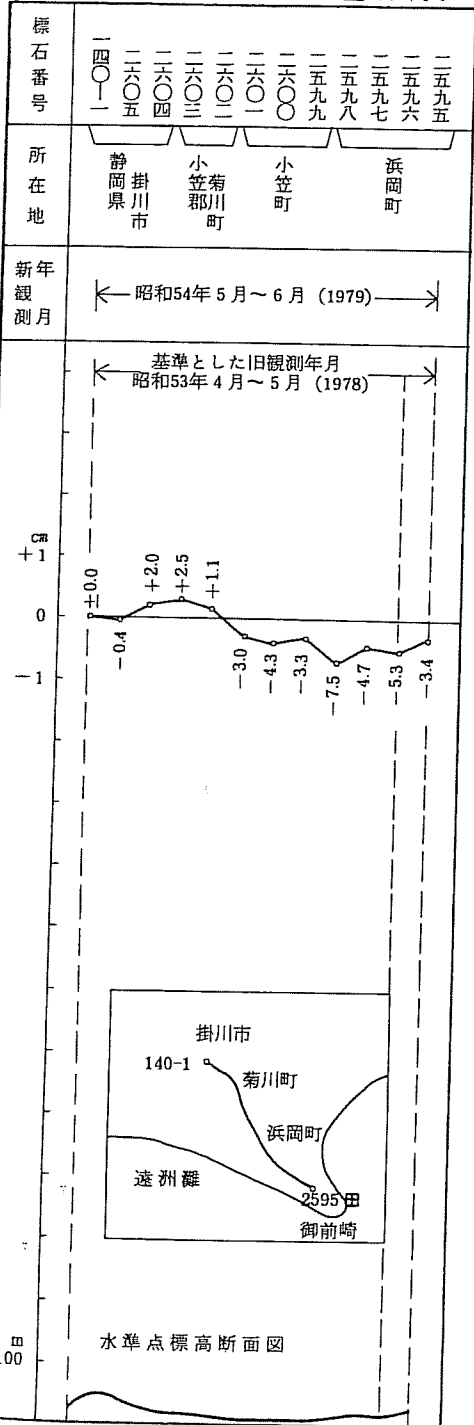






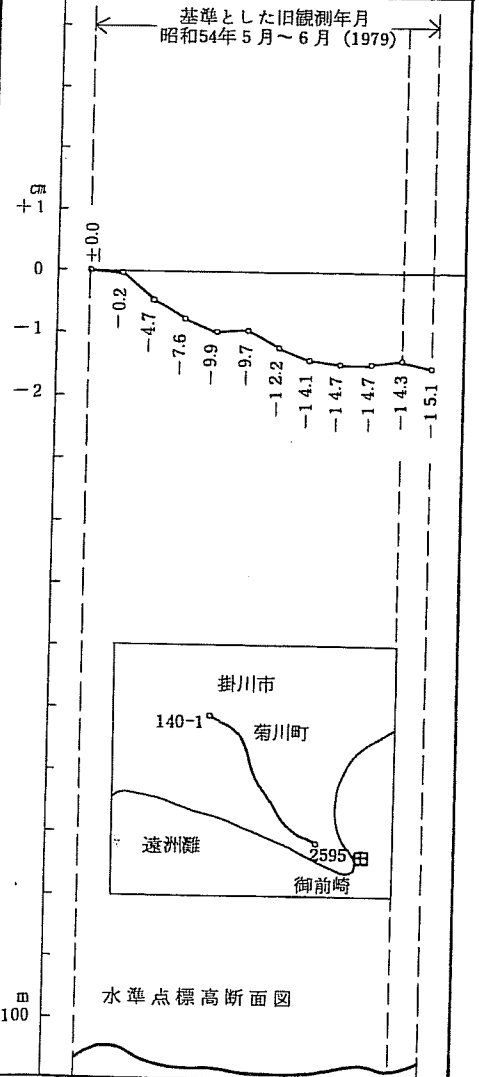
自静岡県浜松市 至静岡市

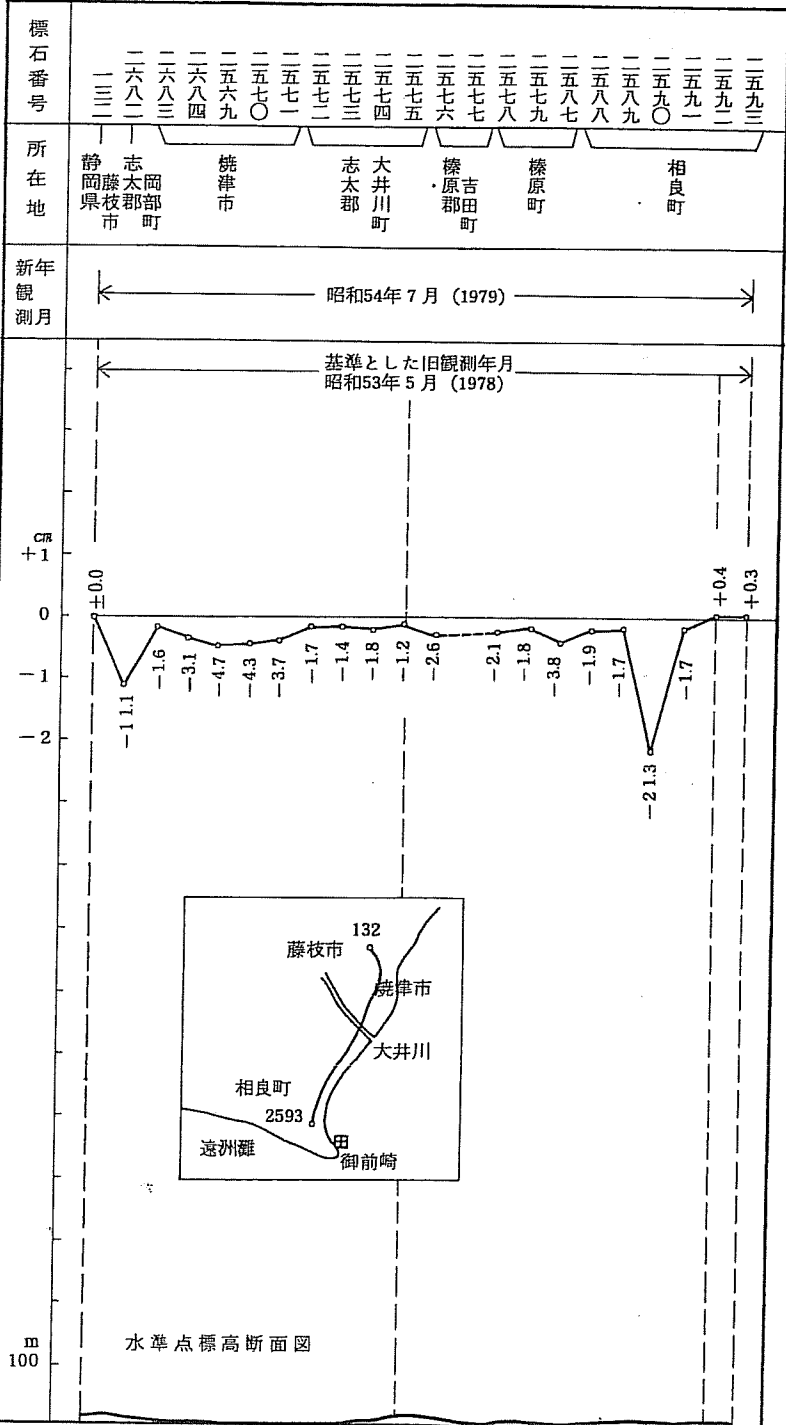


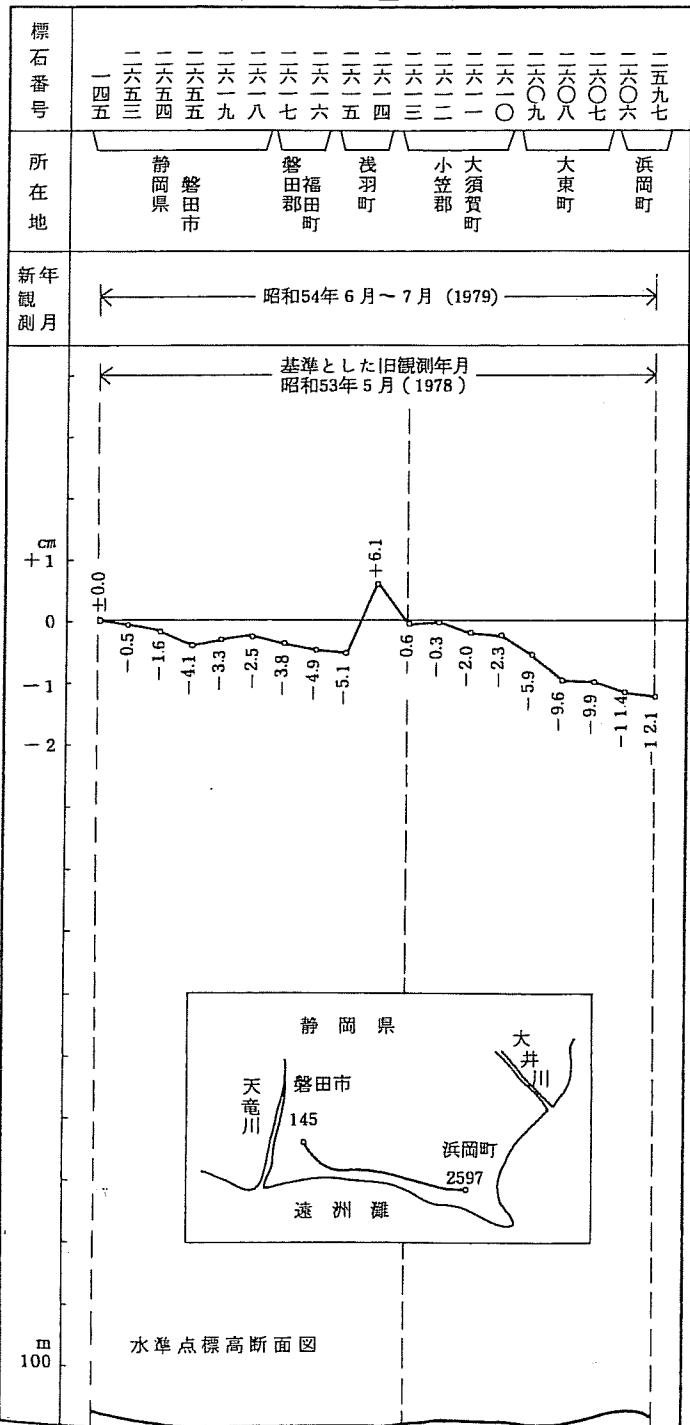


標石番号	一四〇一 一六〇五 一六〇四 一六〇三 一六〇二 一六〇一 一六〇〇 一五九九 一五九八 一五九七 一五九六 一五九五
所在地	静岡県掛川市 小笠郡菊川町 小笠町 浜岡町

新年観測月
 ← 昭和54年11月~12月 (1979) →

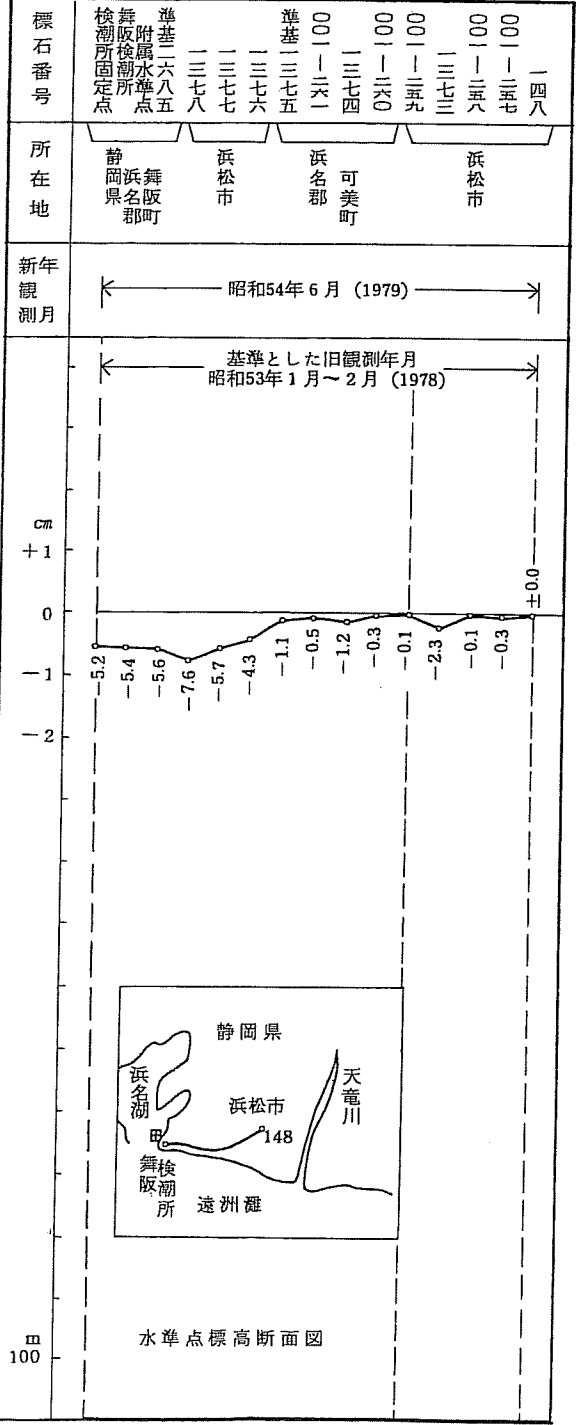






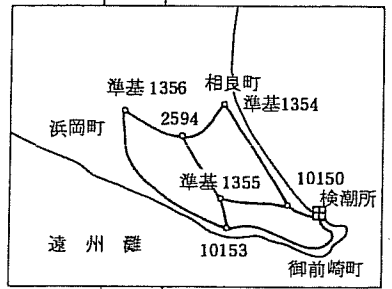
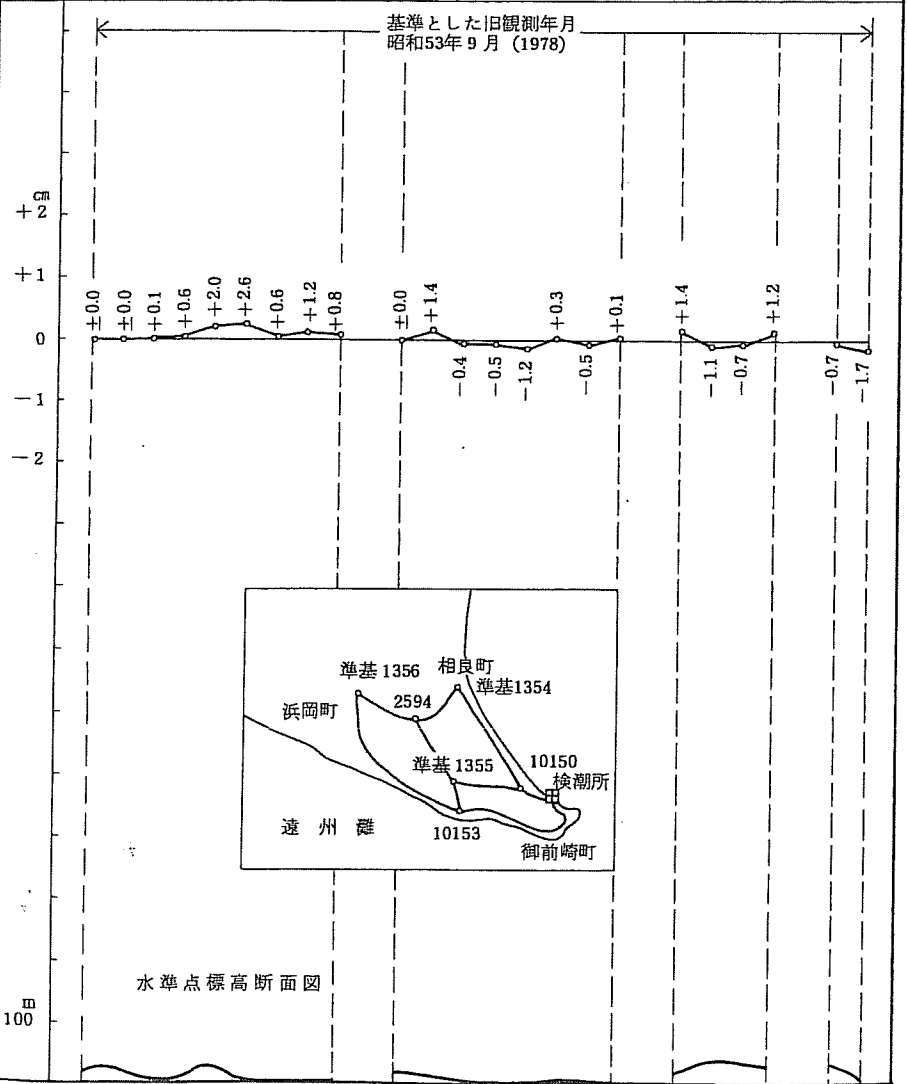
水準点標高断面図

m
100



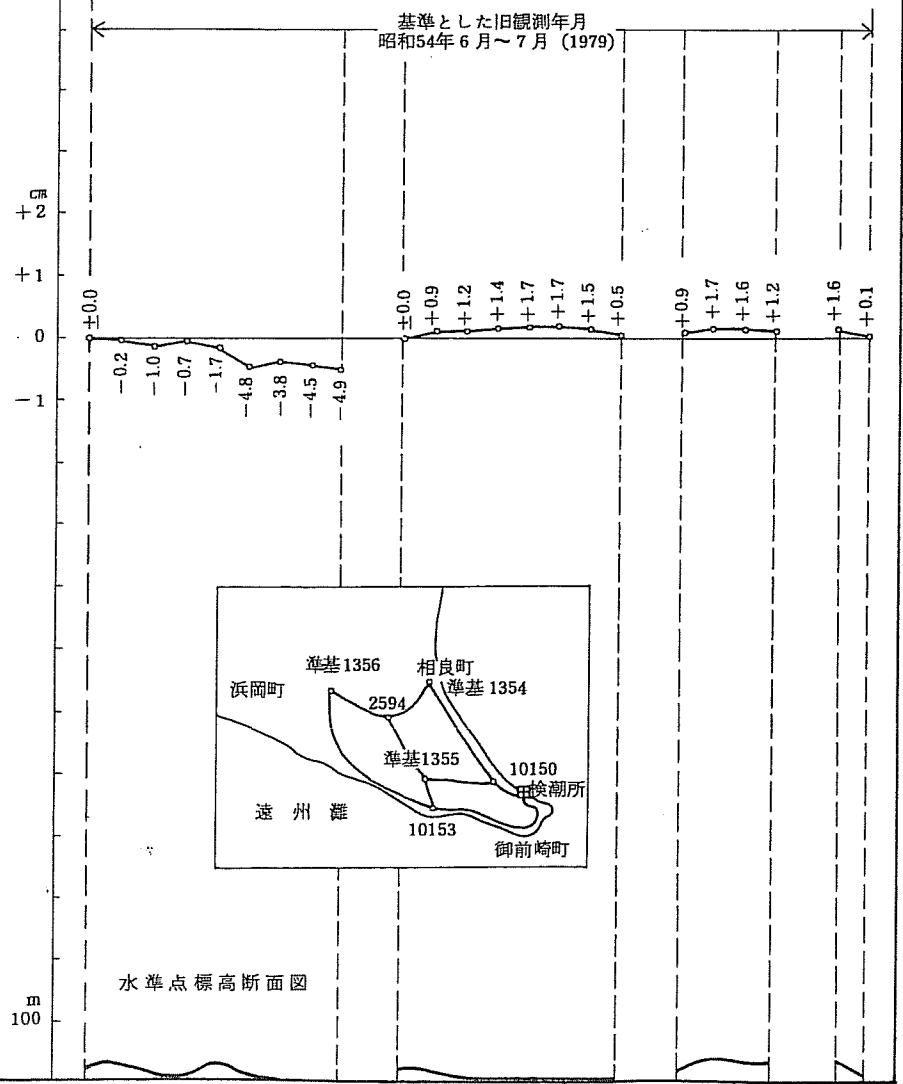
標石番号	準基 一〇一五〇 二五九三 二五九四 二五九五 二五九六	御前崎検潮所 御前崎検潮所 御前崎検潮所 御前崎検潮所 御前崎検潮所 御前崎検潮所	検潮所固定点 付属水準点 付属水準点 付属水準点 付属水準点 付属水準点	準基 一〇一五三 一〇一五五 一〇一五六 二五九四	榛原郡 相良町	御前崎町	準基 二五九三 二五九四 二五九五 二五九六	小笠郡 浜岡町	御前崎町	御前崎町	御前崎町
所在地	静岡県小笠郡浜岡町			榛原郡相良町		御前崎町	小笠郡浜岡町		御前崎町	御前崎町	御前崎町

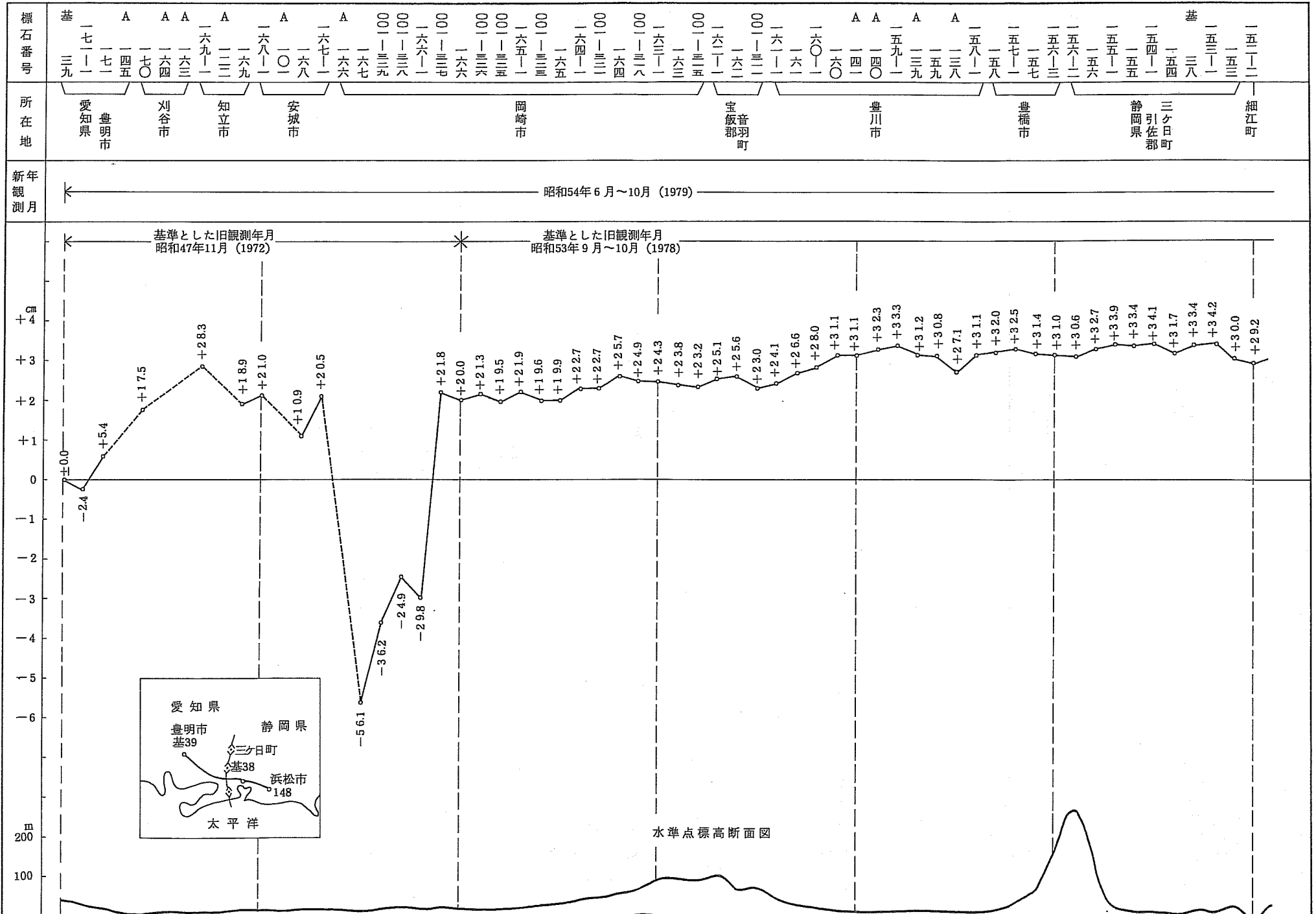
新年観測月
 ← 昭和54年6月~7月 (1979) →



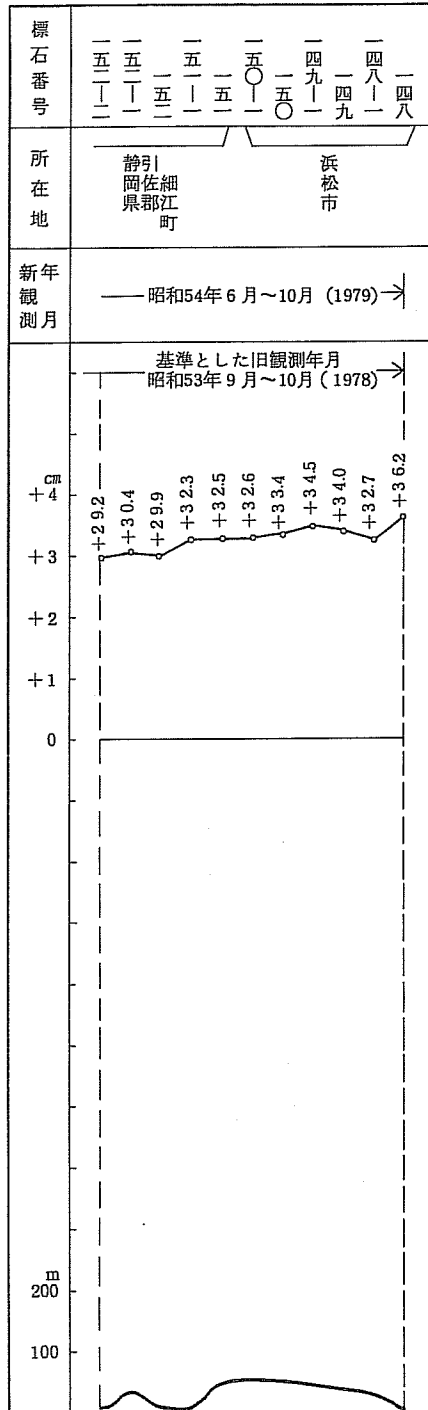
標石番号	準基 三五六	一 二五九五	一 一〇一五五	一 一〇一五四	一 一〇一五三	一 一〇一五二	一 一〇一五一	御前崎 付属水 検潮所	検潮所 固定点	準基 三五六	二 二五九四	準基 三五四	二 二五九三	一 一〇一四九	二 二五九二	一 一〇一四八	御前崎 付属水 検潮所	二 二五九四	一 一〇一五六	準基 三三五	一 一〇一五三	準基 三三五	一 一〇一五〇
所在地	小笠郡 浜岡町		御前崎 郡					小笠郡 浜岡町	榛原郡 相良町	御前崎 町	榛原郡 相良町	御前崎 町	榛原郡 相良町	御前崎 町	榛原郡 相良町	御前崎 町	榛原郡 相良町	御前崎 町	御前崎 町	御前崎 町	御前崎 町	御前崎 町	御前崎 町

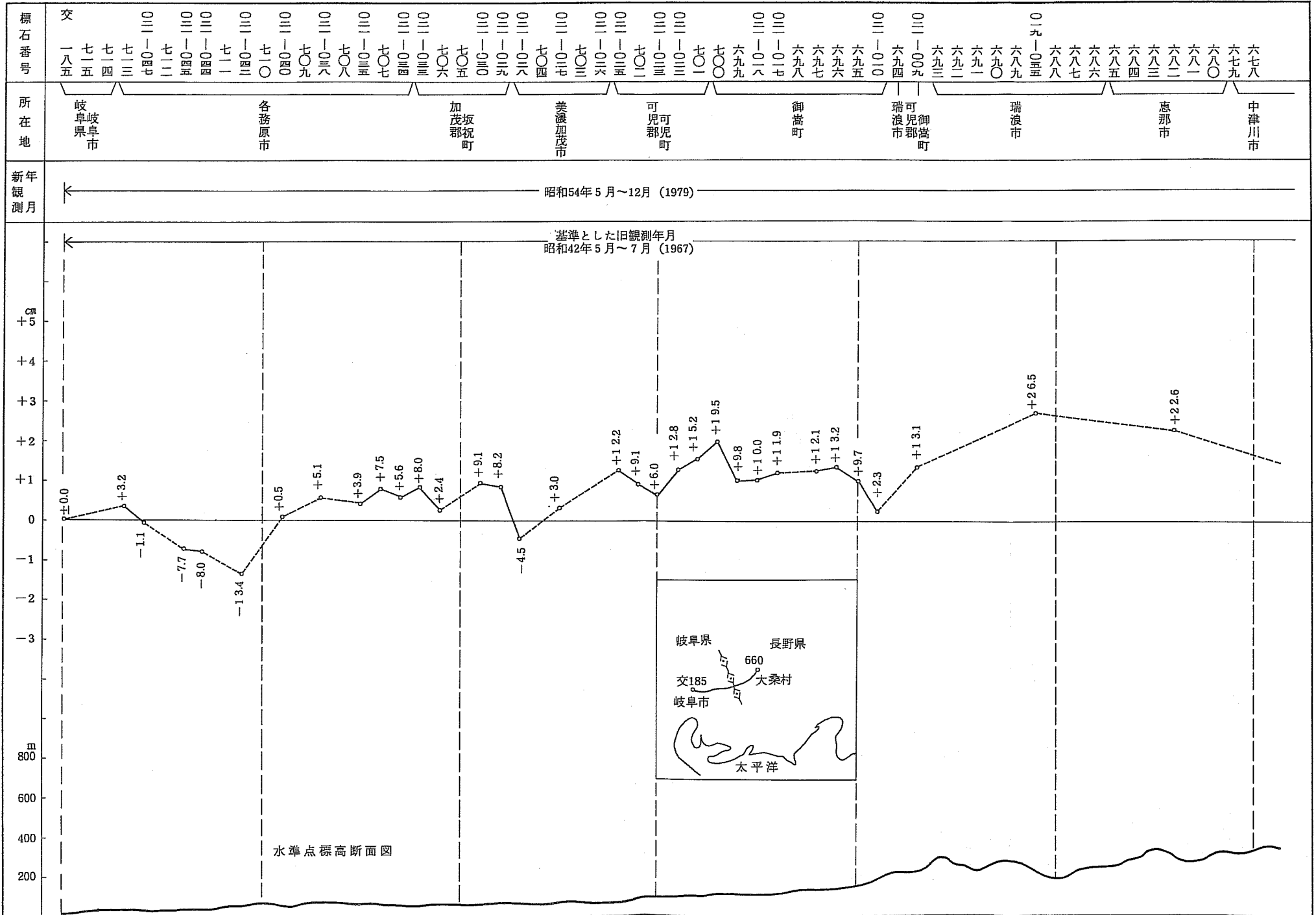
新年観測月
 ← 昭和54年12月 (1979) →



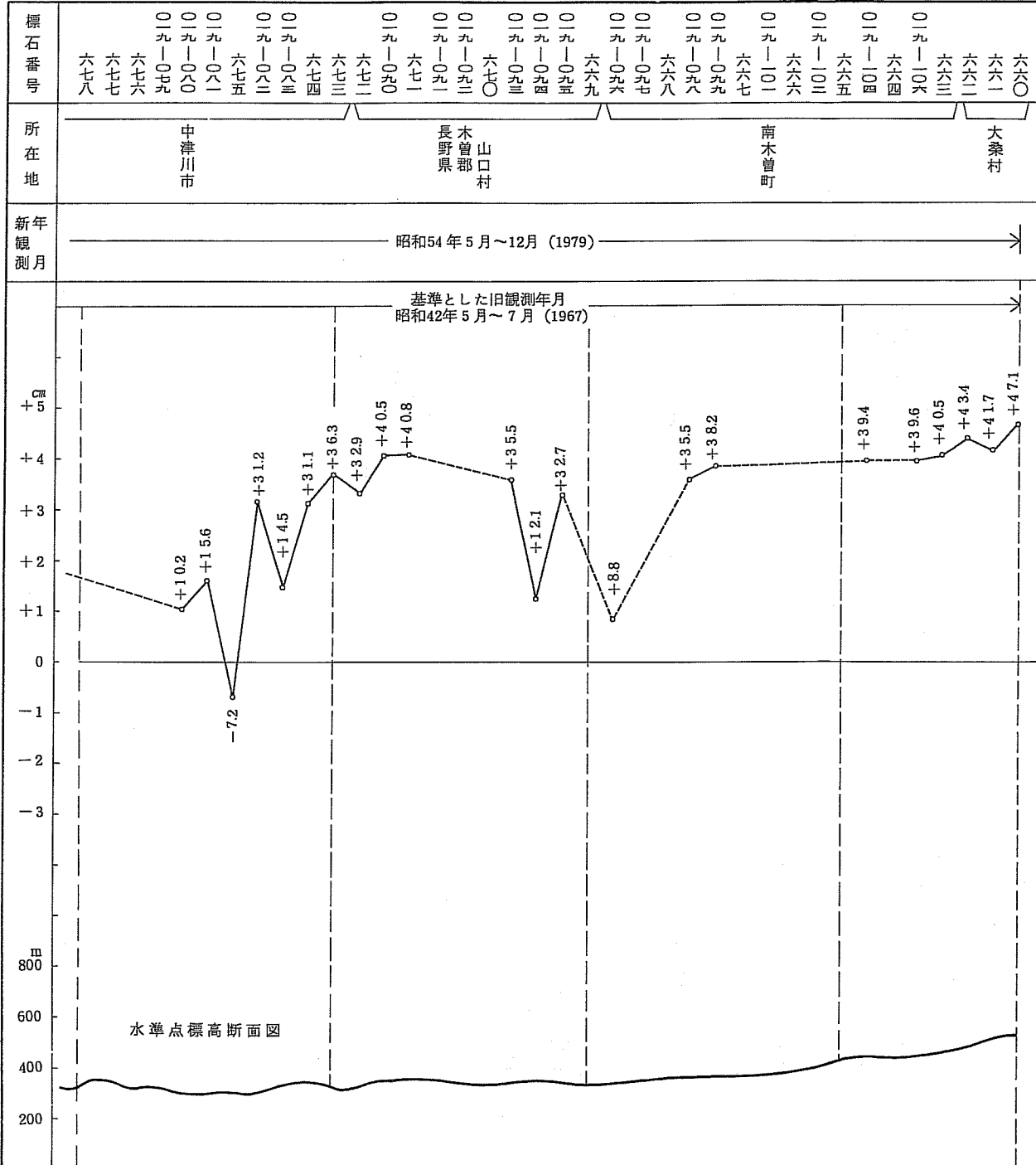


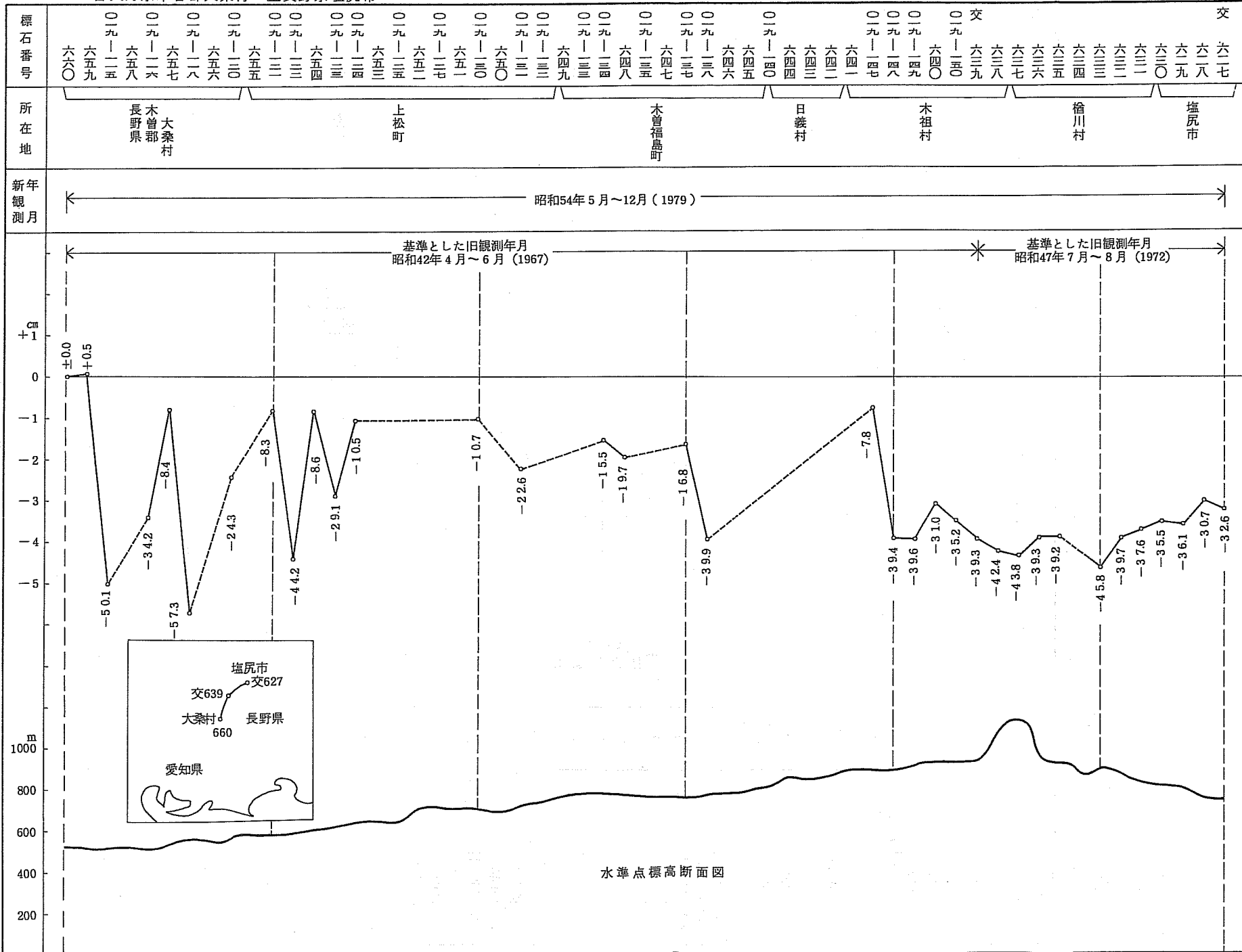
自愛知県豊明市 至静岡県浜松市

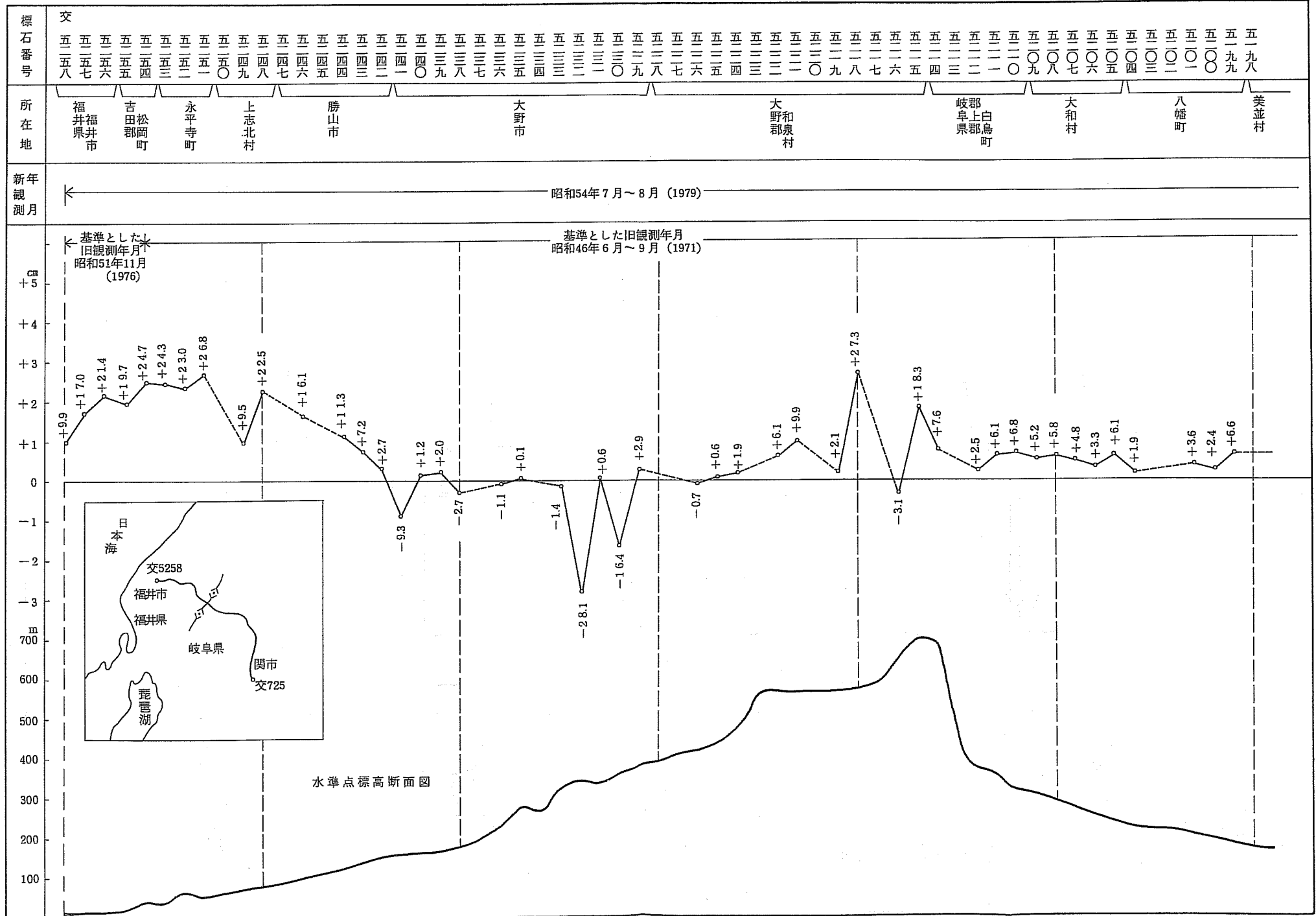




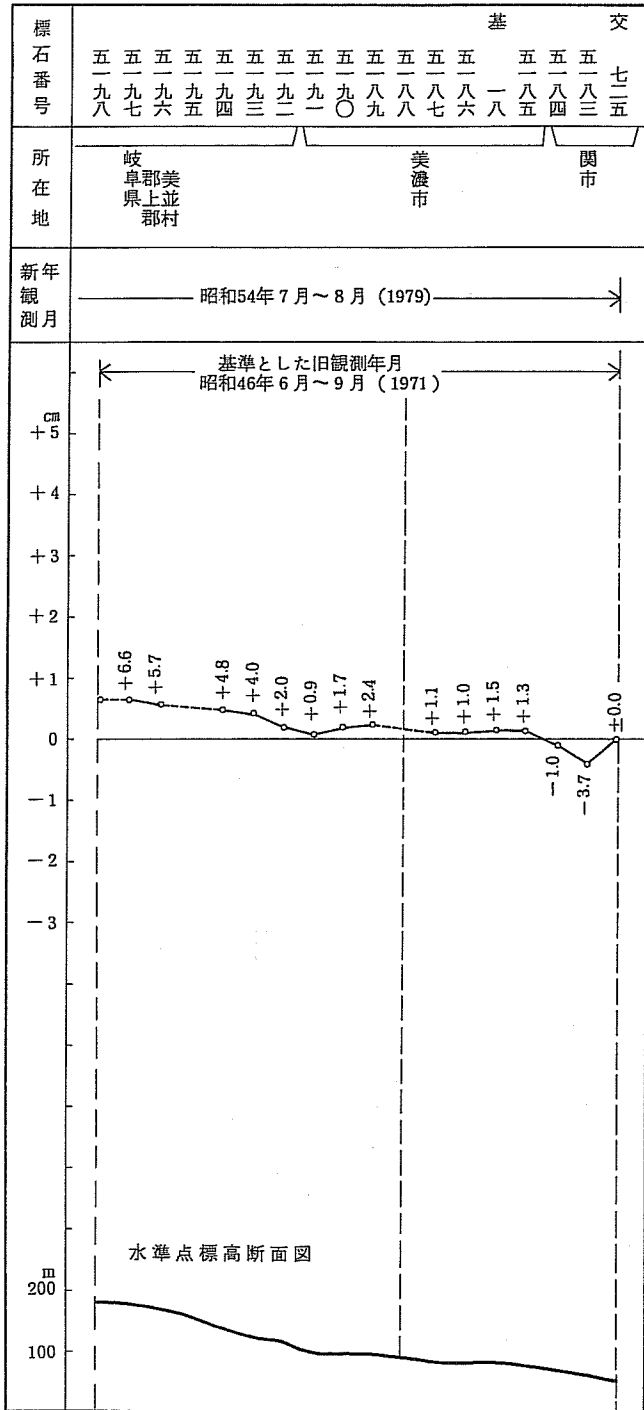
自岐阜県岐阜市 至長野県木曾郡大桑村

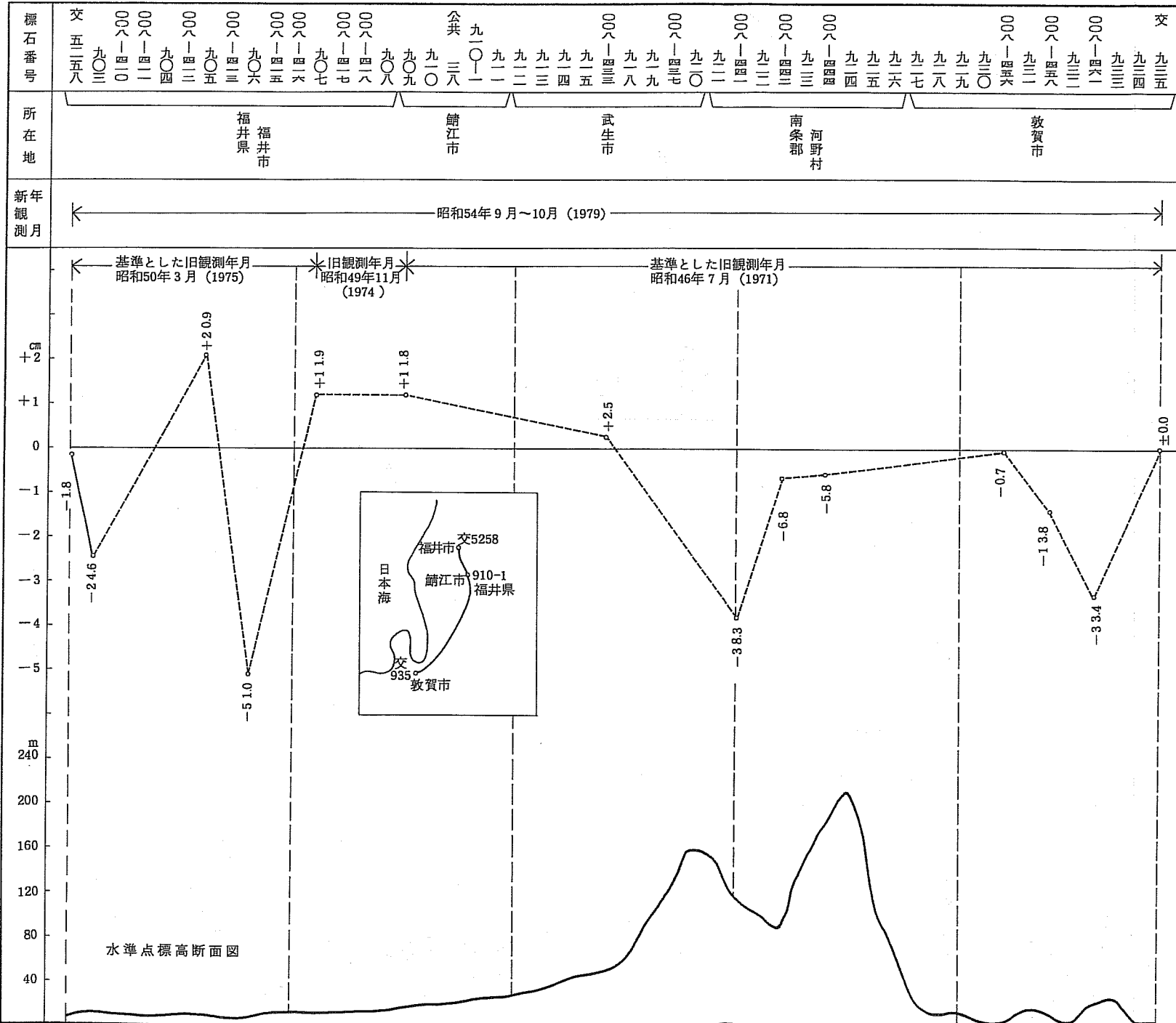


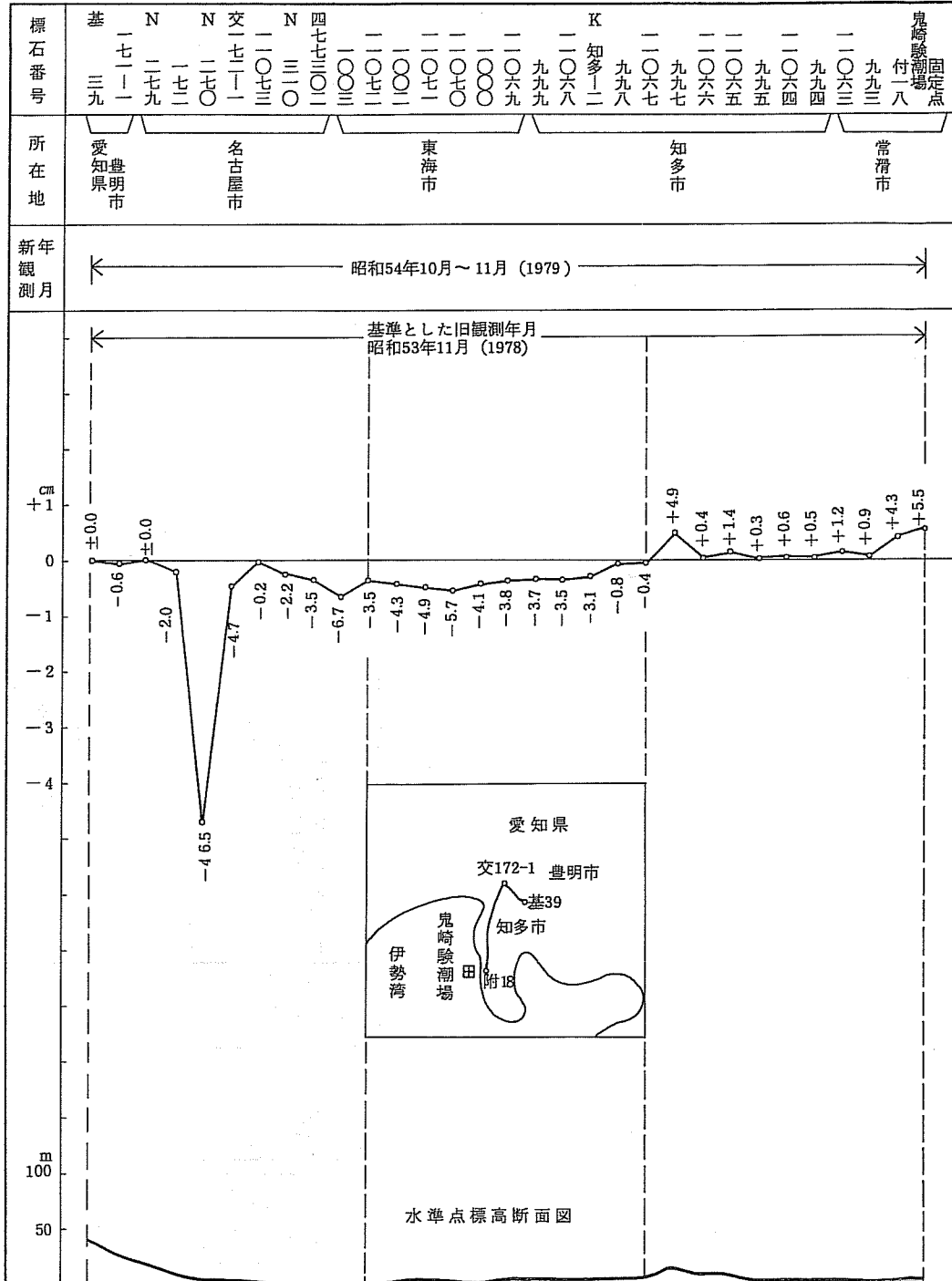




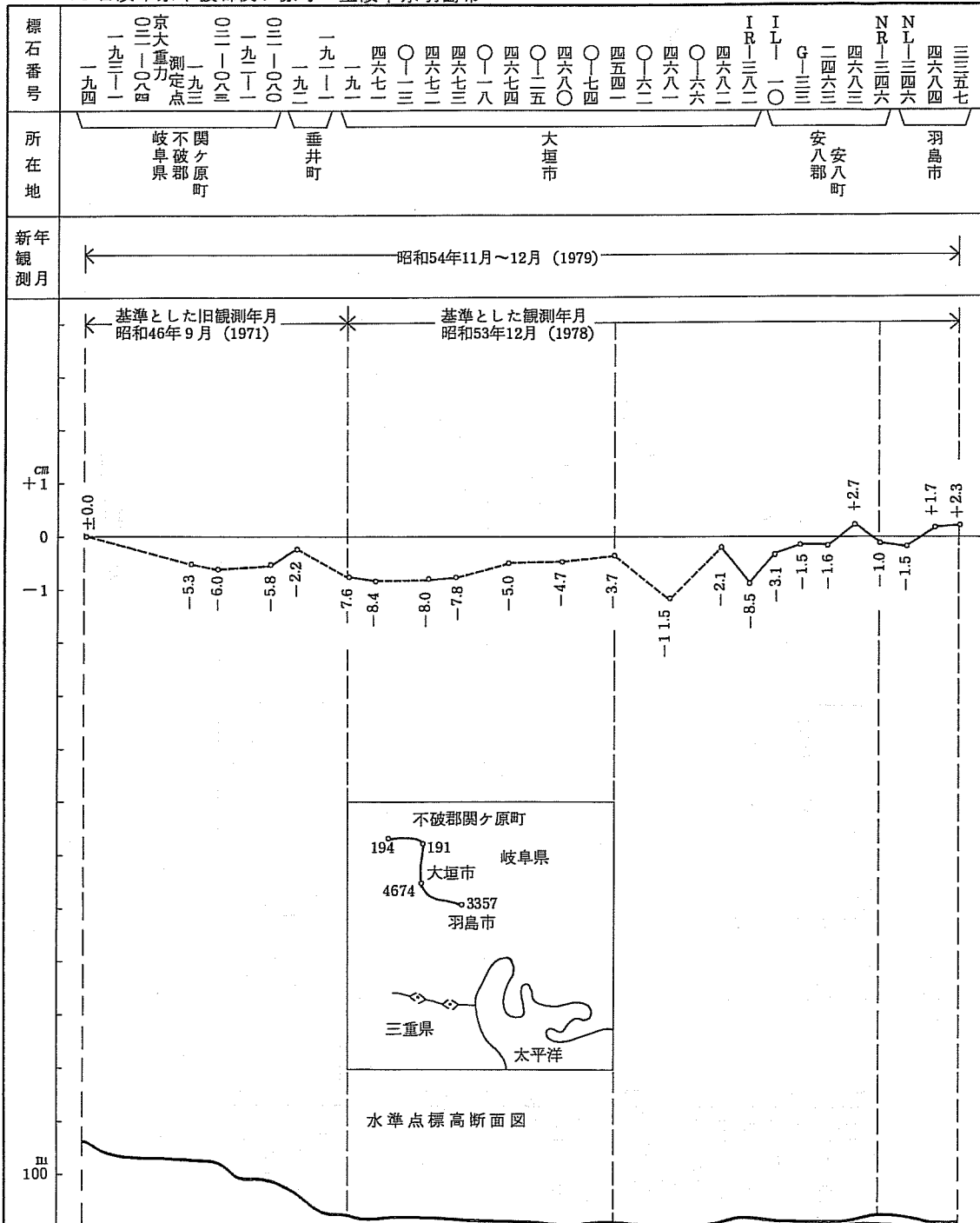
自福井県福井市 至岐阜県岐阜市

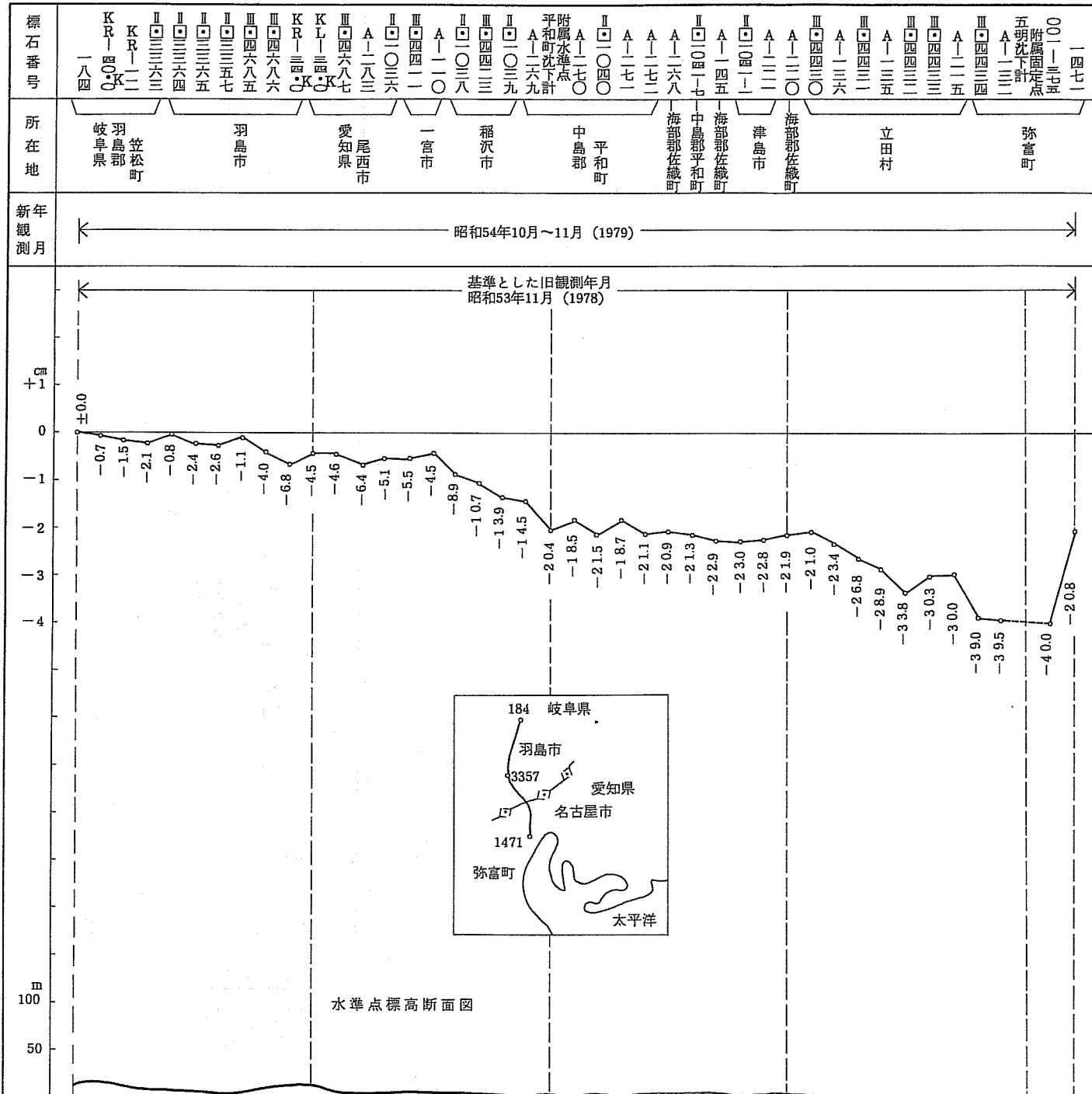


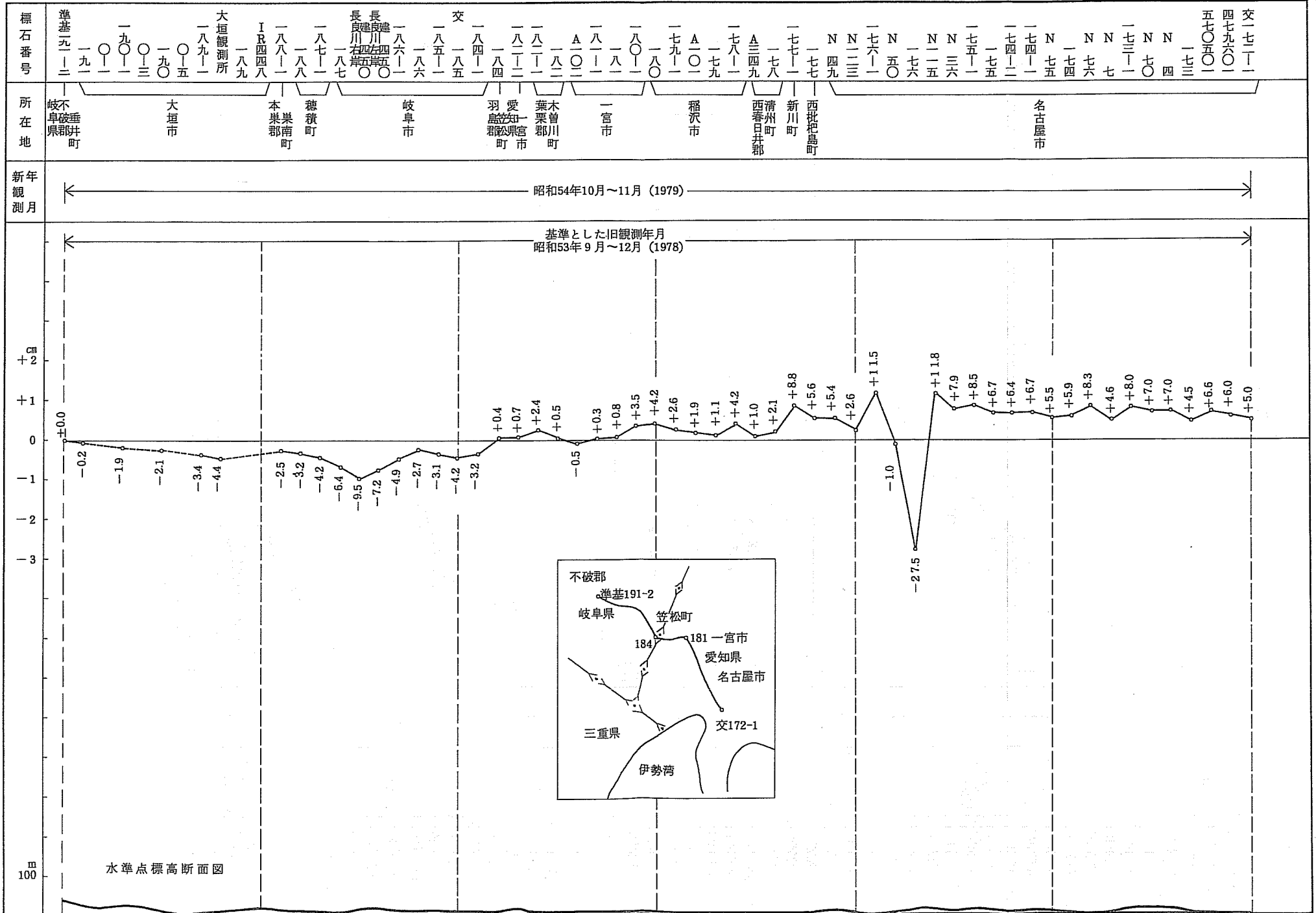




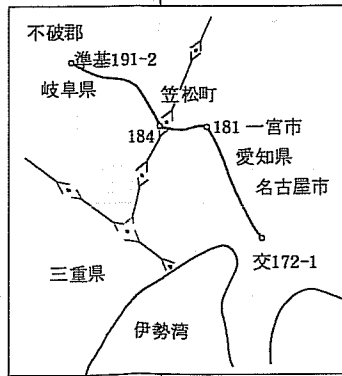
54-55 自岐阜県不破郡関ヶ原町 至岐阜県羽島市

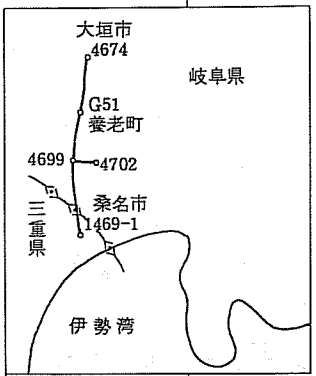
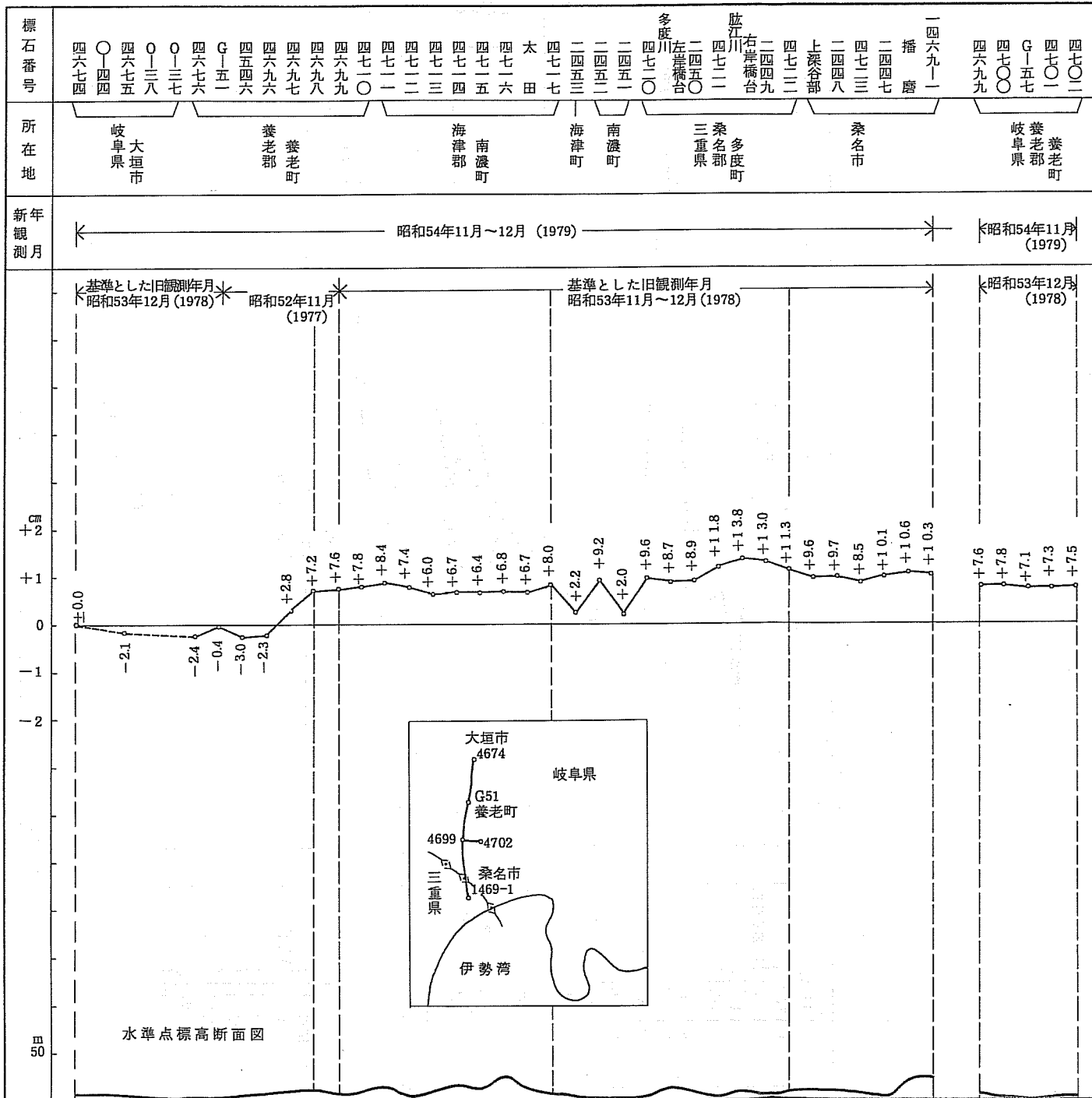


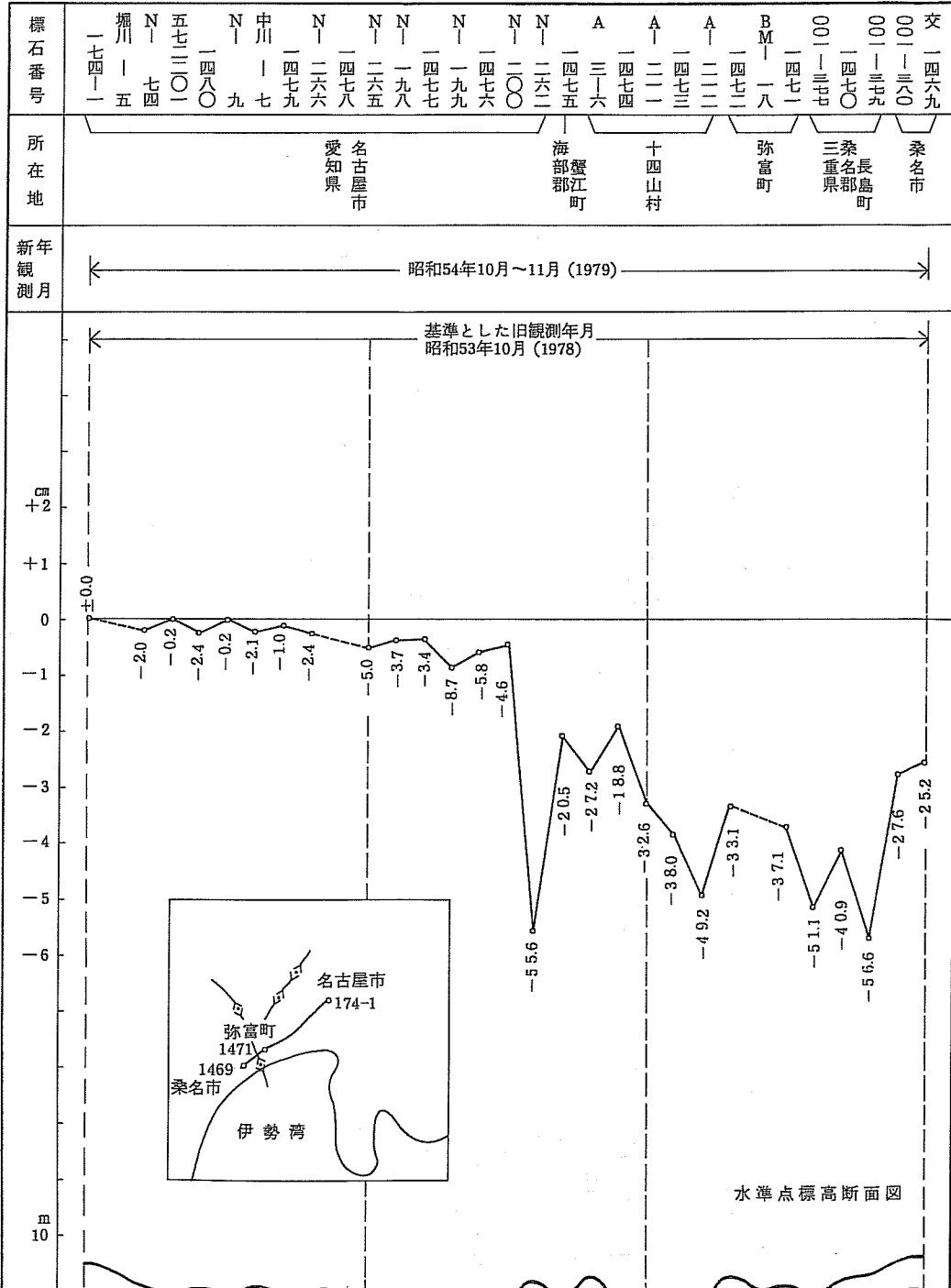


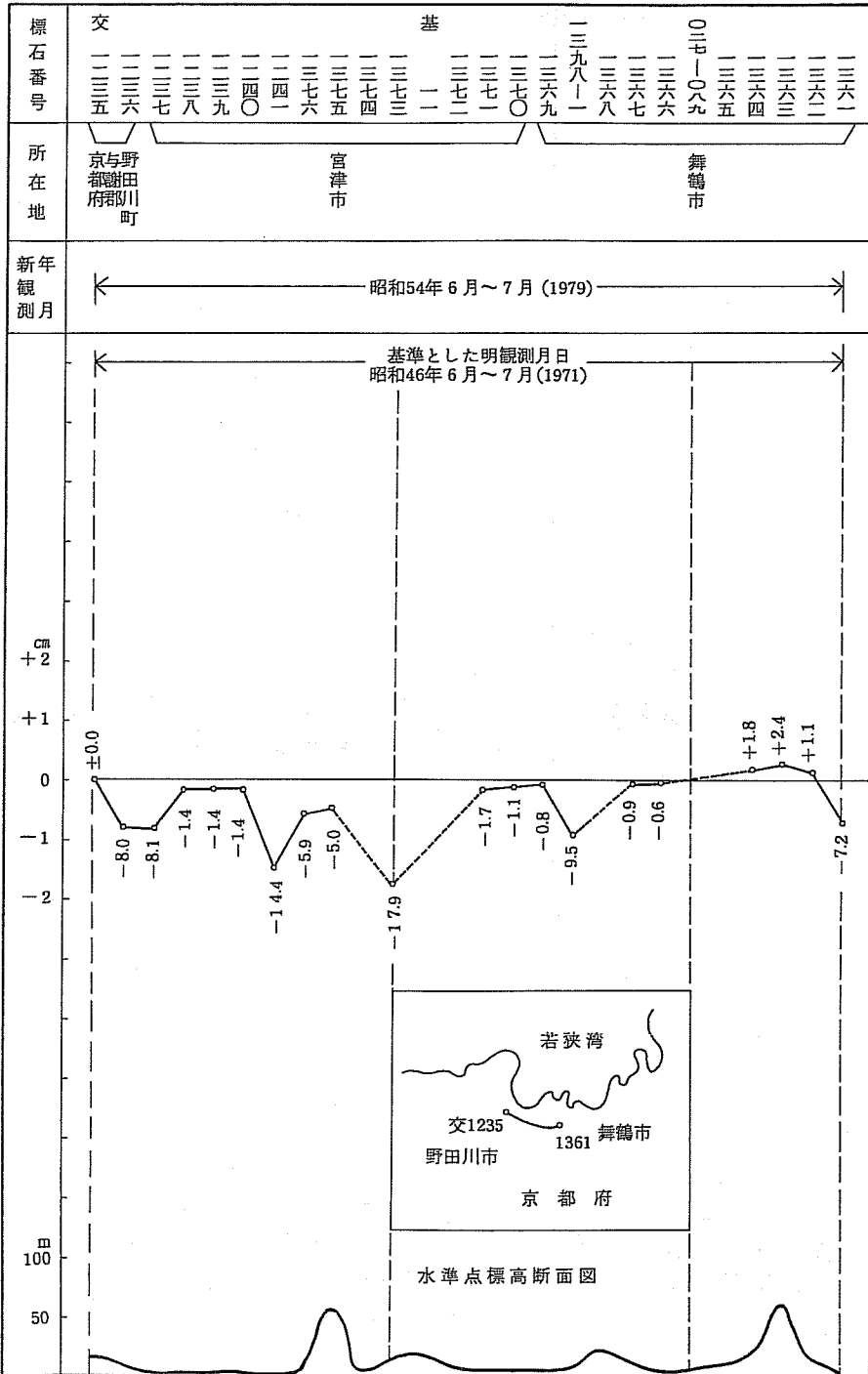


水準点標高断面図



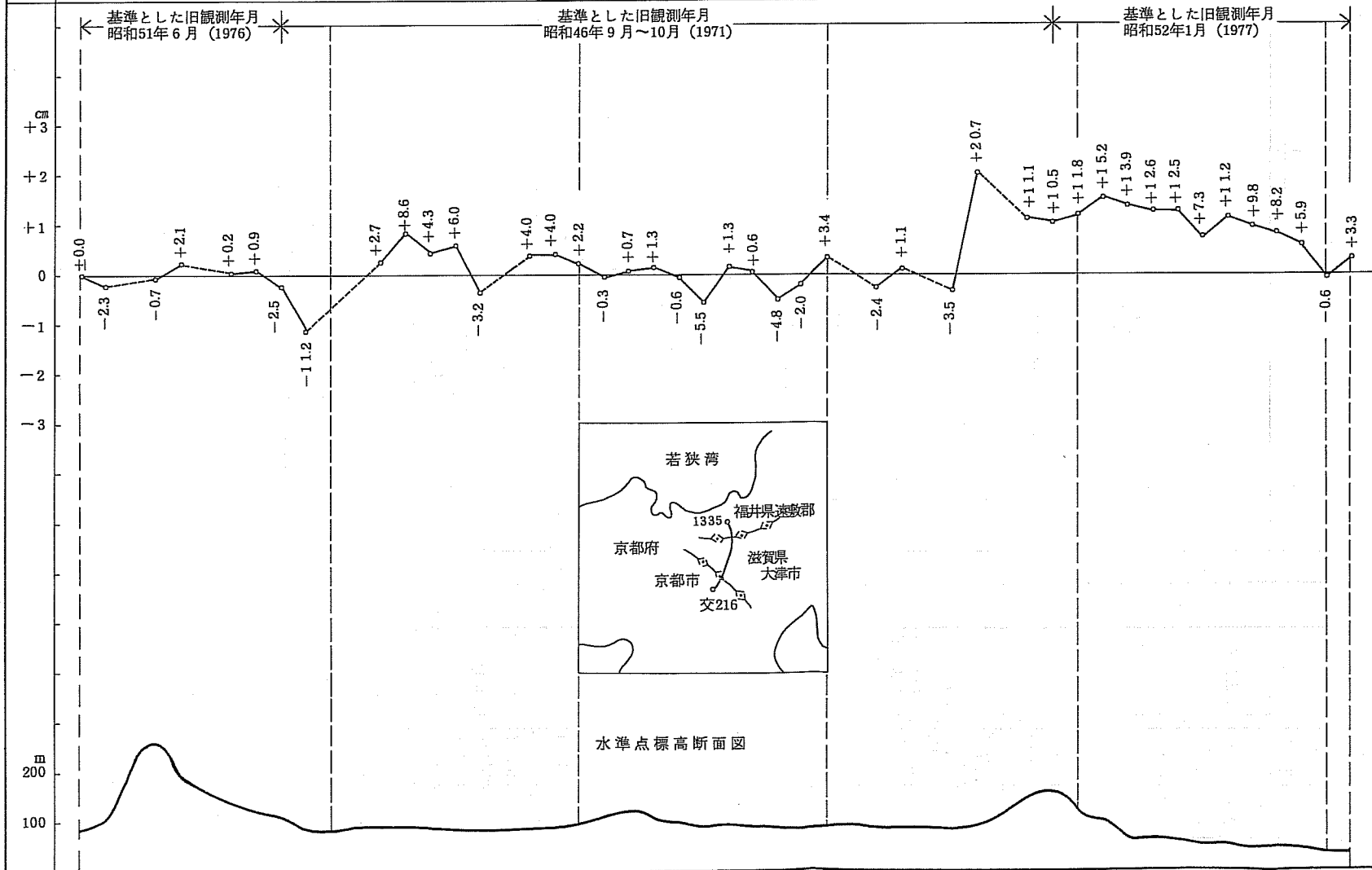




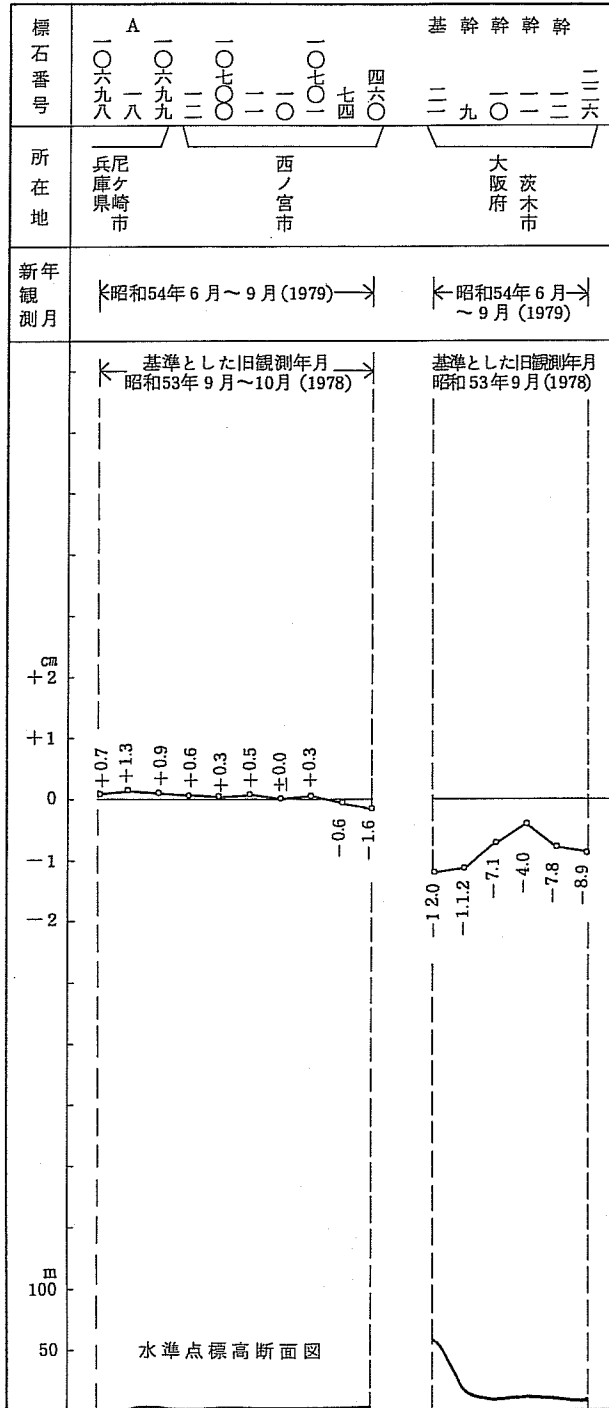


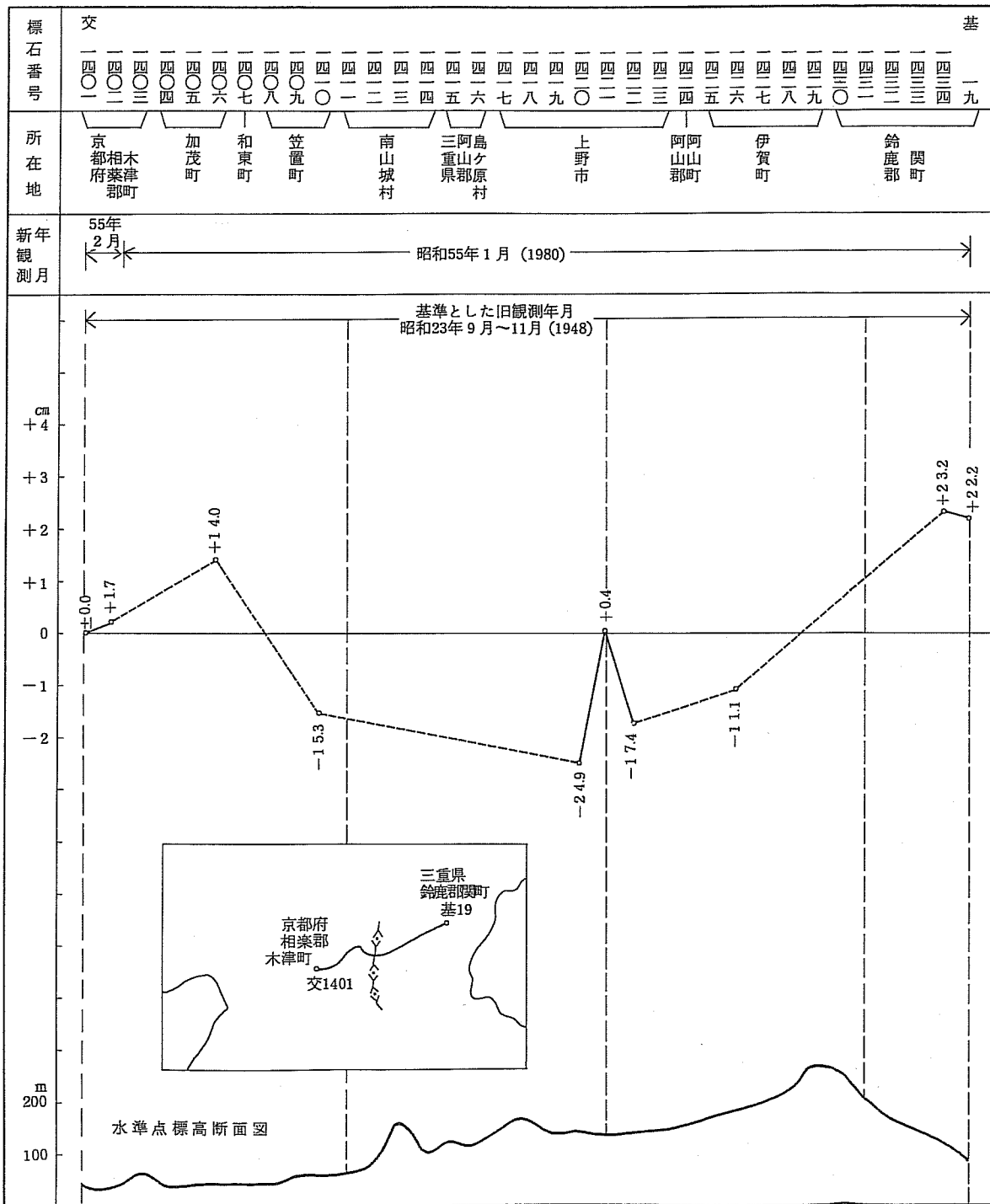
標石番号	一一三	一一四	一一五	一一六	一一七	一一八	一一九	一二〇	一二一	一二二	一二三	一二四	一二五	一二六	一二七	一二八	一二九	一三〇	一三一	一三二	一三三	一三四	一三五	一三六	一三七	一三八	一三九	一四〇	一四一	一四二	一四三	一四四	一四五	一四六	一四七	一四八	一四九	一五〇	一五一	一五二	一五三	一五四	一五五	一五六
所在地	福井県上中町			滋賀県高島郡今津町				新旭町	安曇川町		高島町	志賀町											滋賀県	大津市	京都府		京都市	京都市																

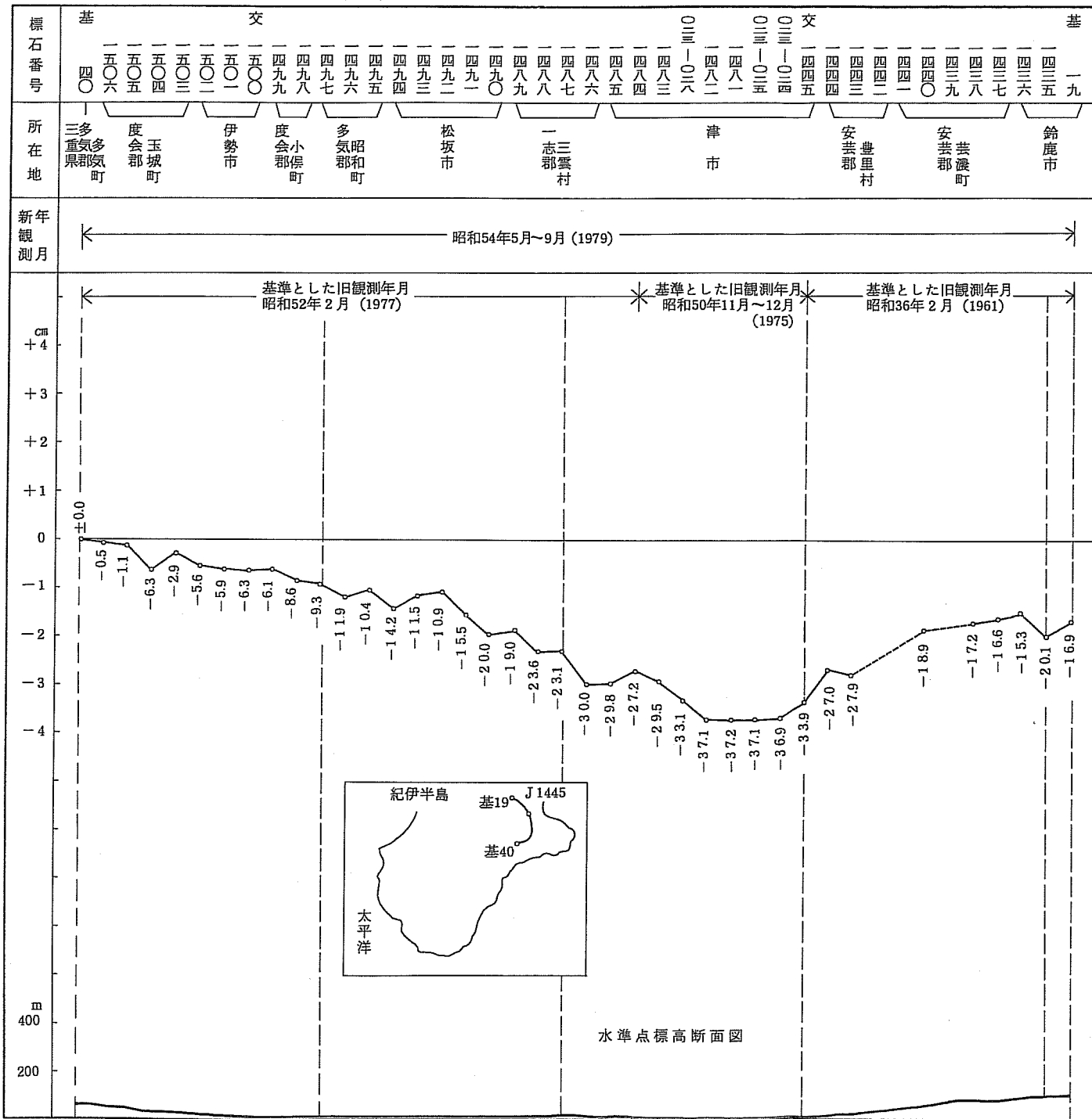
新年観測月 → 昭和54年6月~9月 (1979) ←

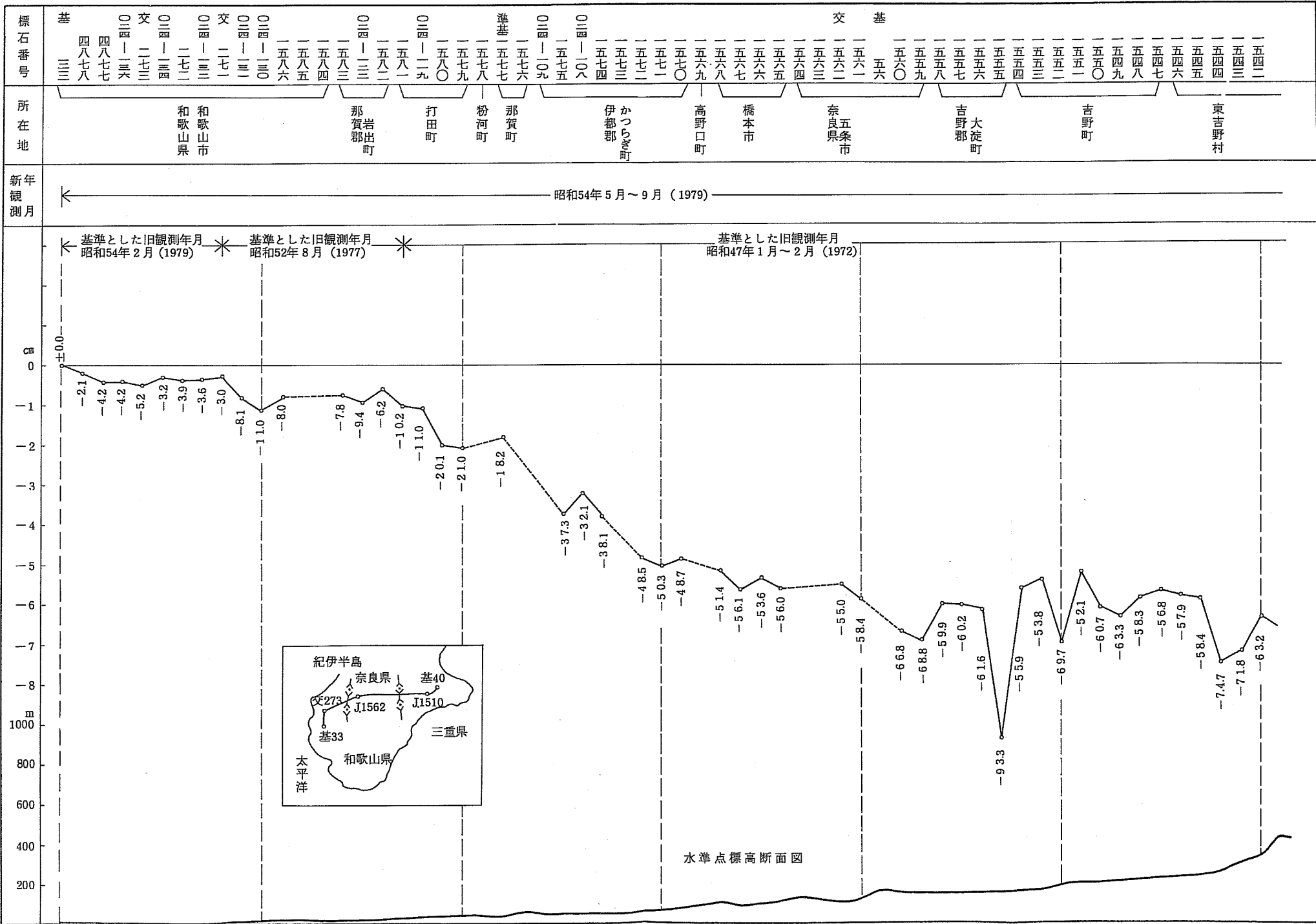


自京都府京都市 至兵庫県西宮市

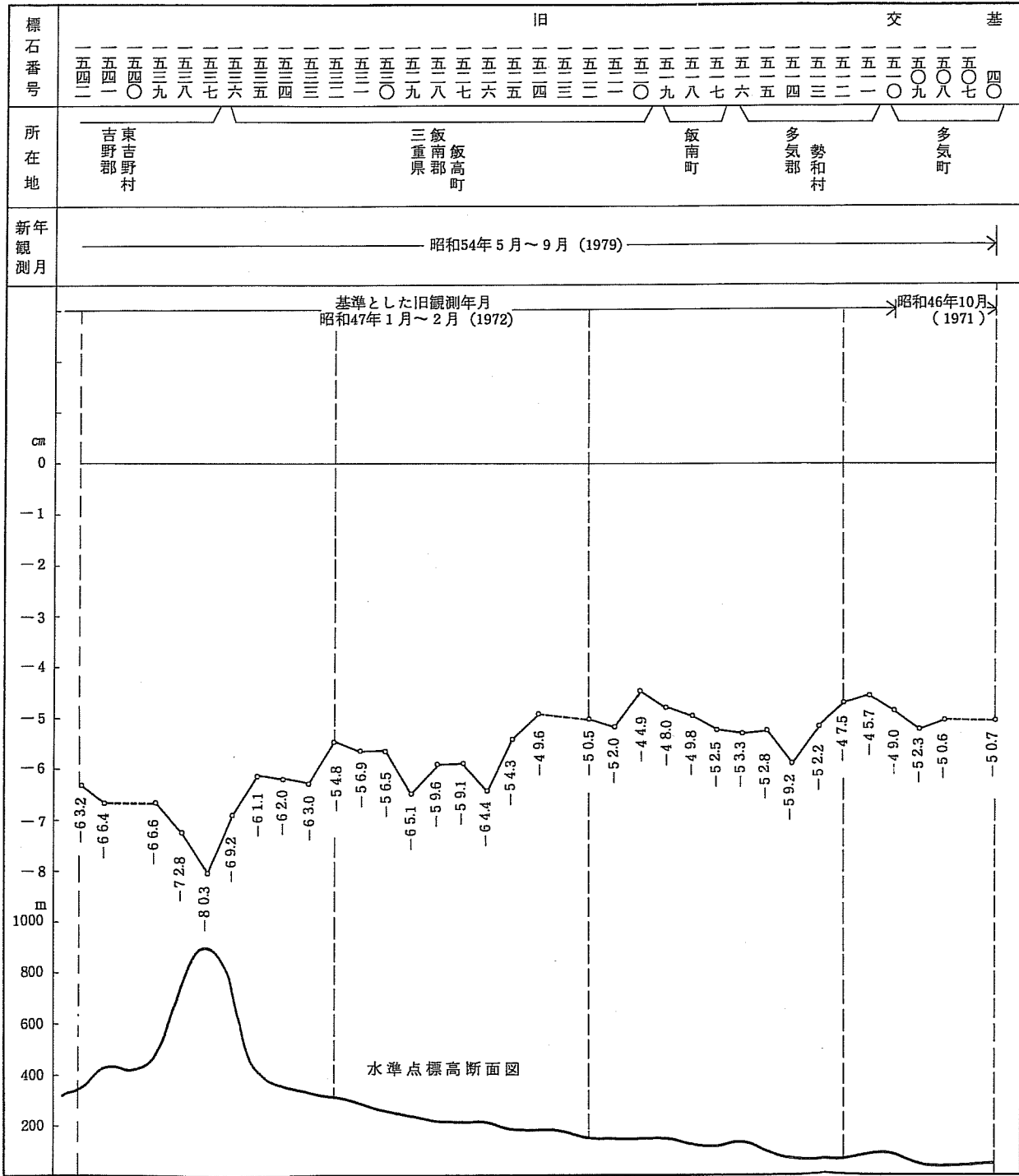


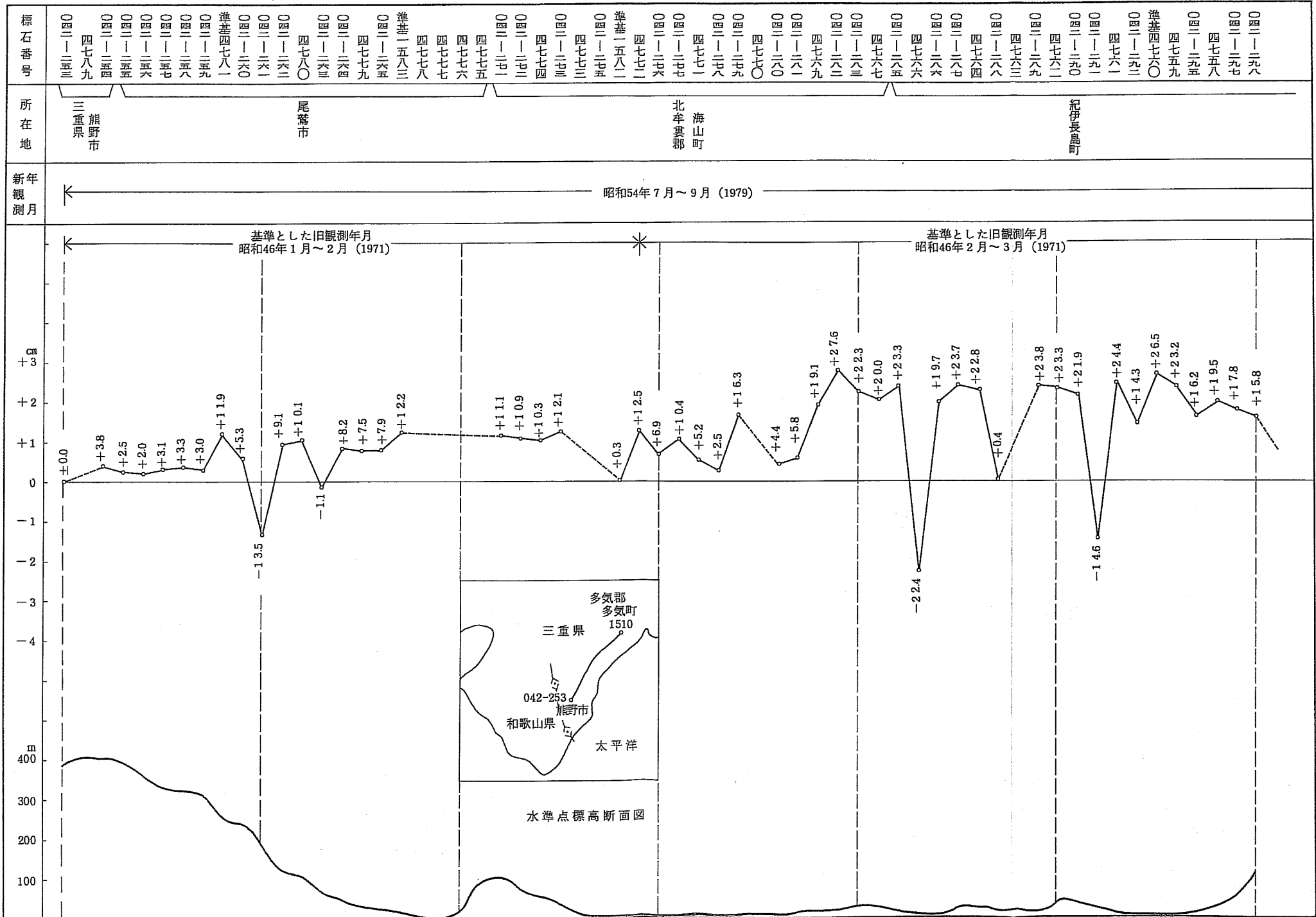




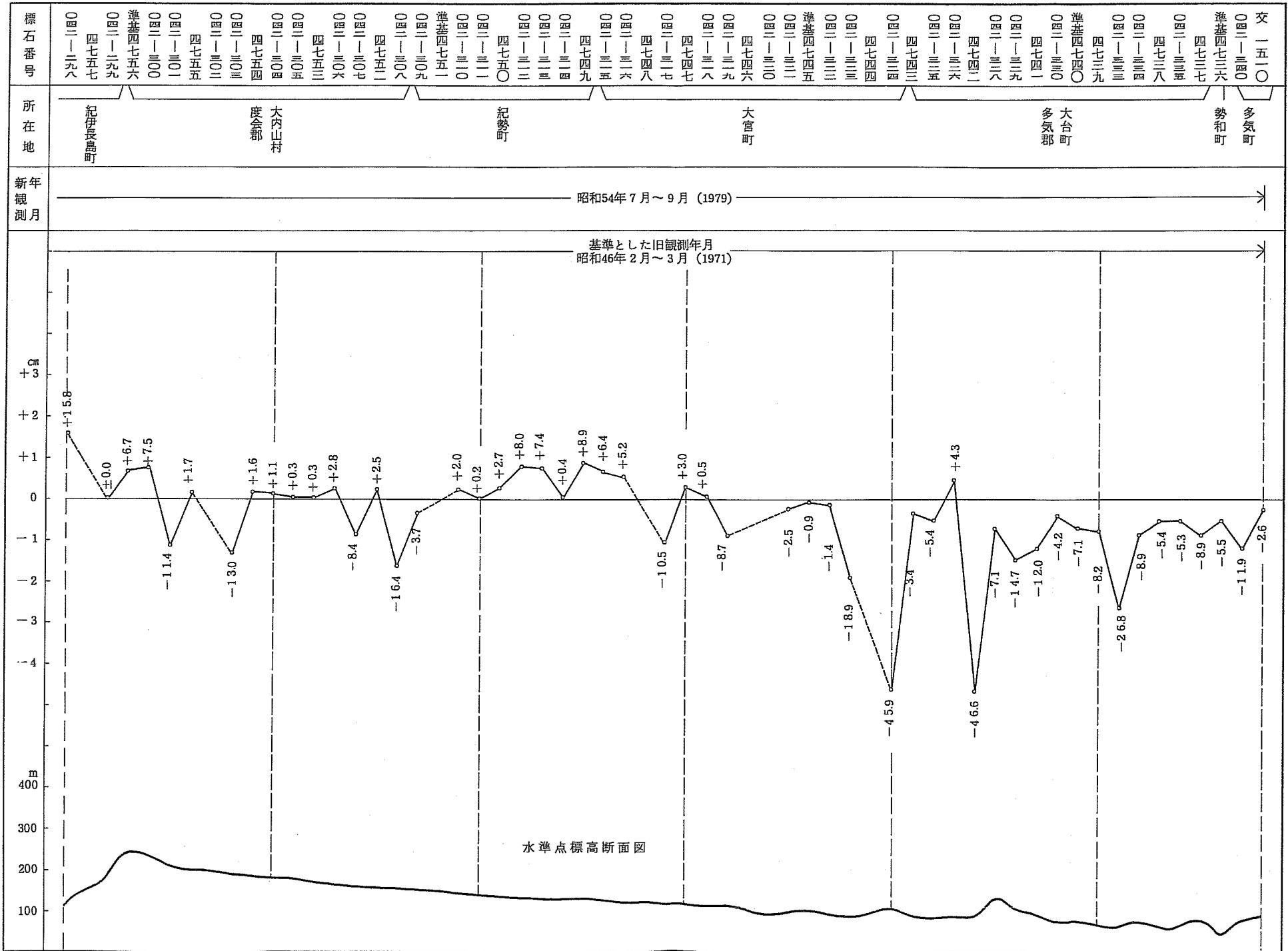


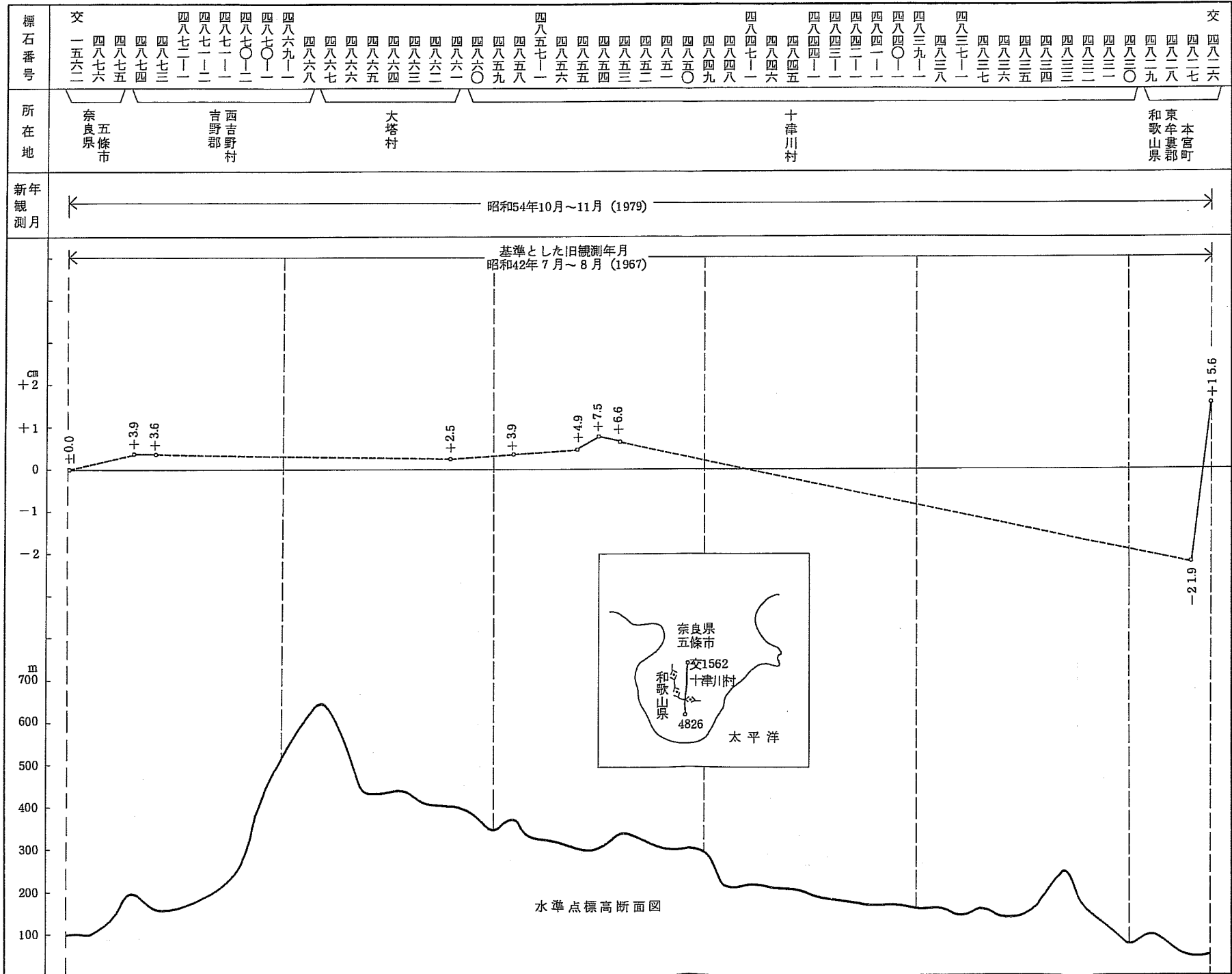
自和歌山県和歌山市 至三重県多気郡多気町

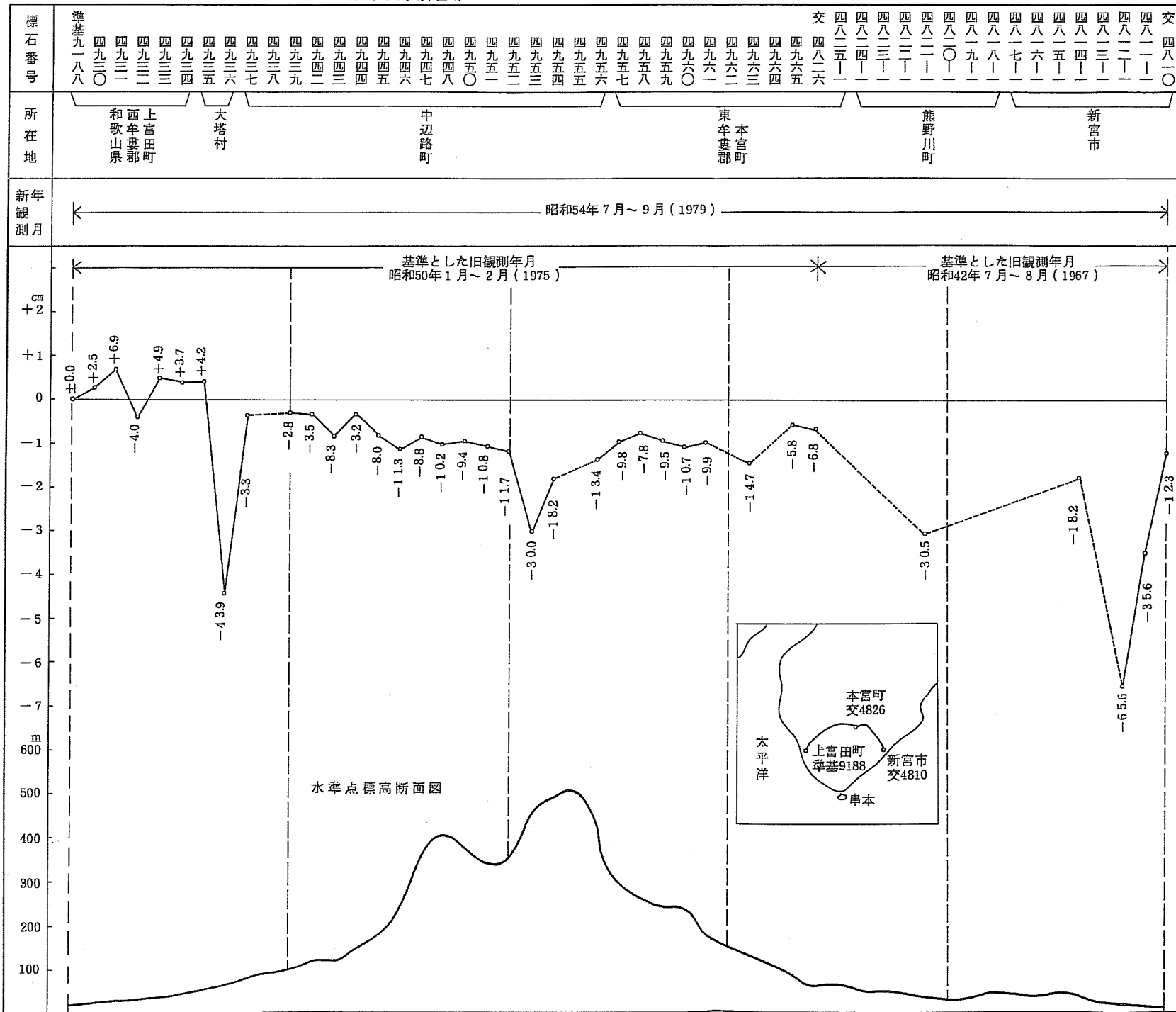




自三重県熊野市 至三重県多気郡多気町

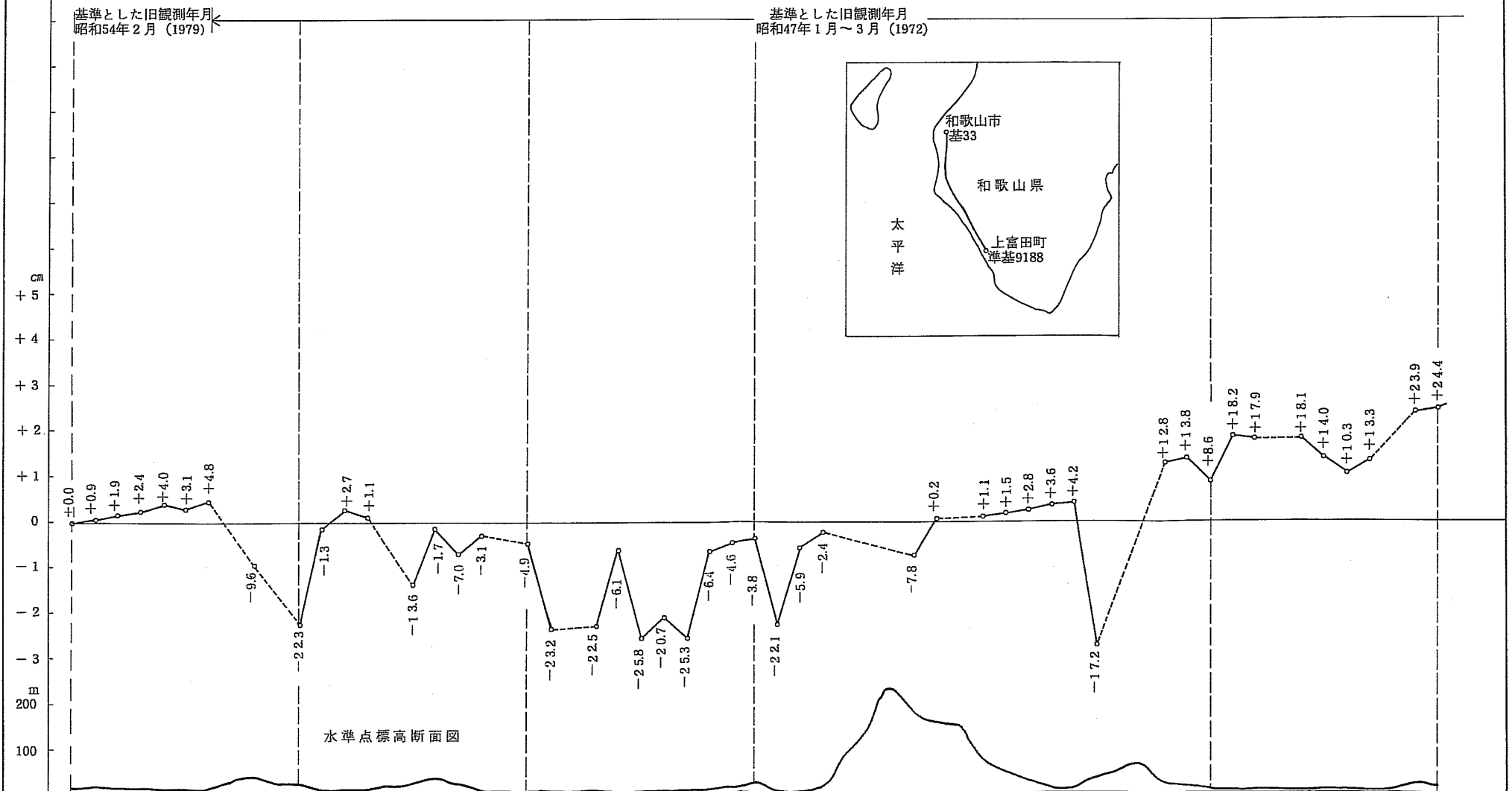




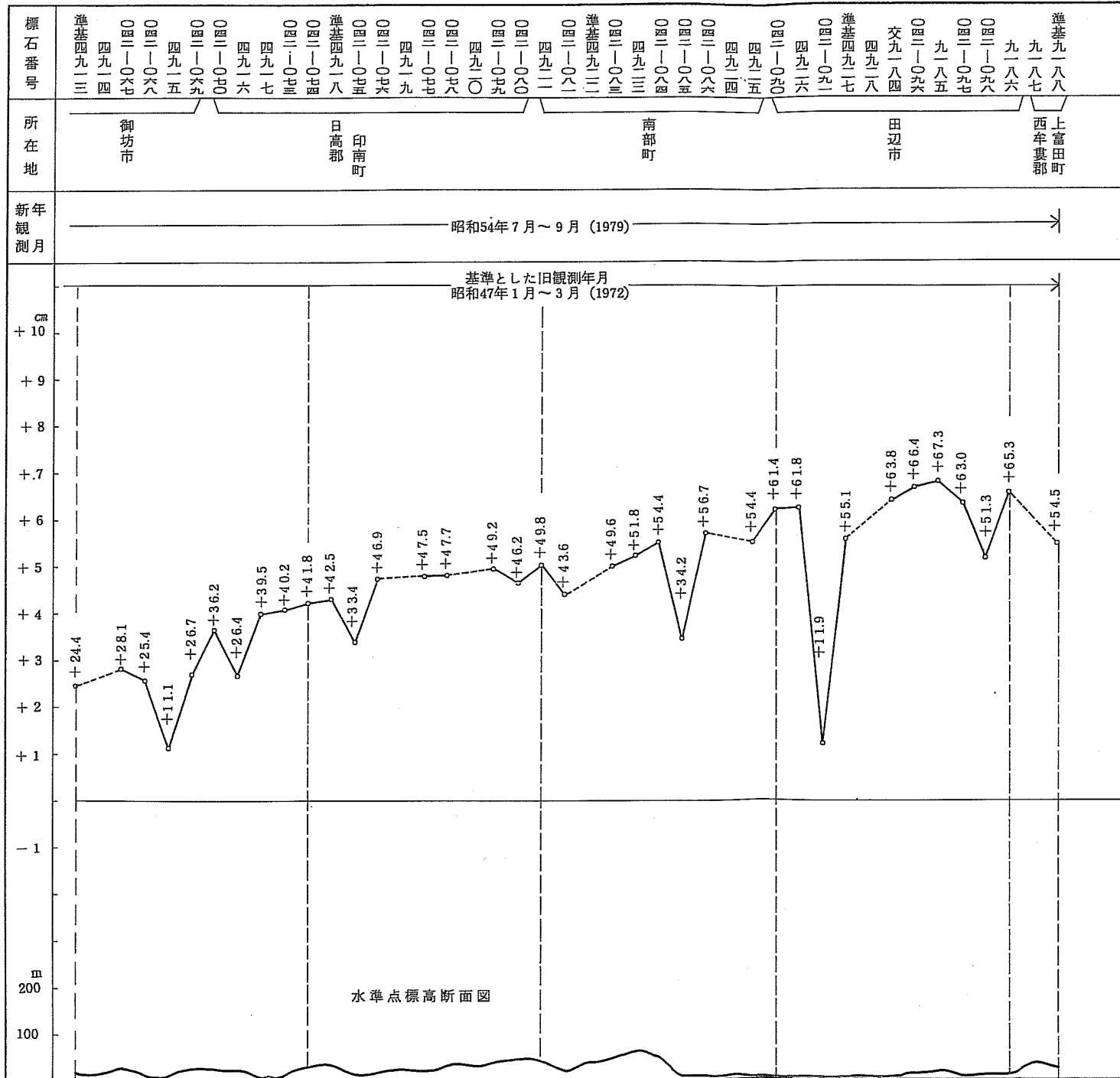


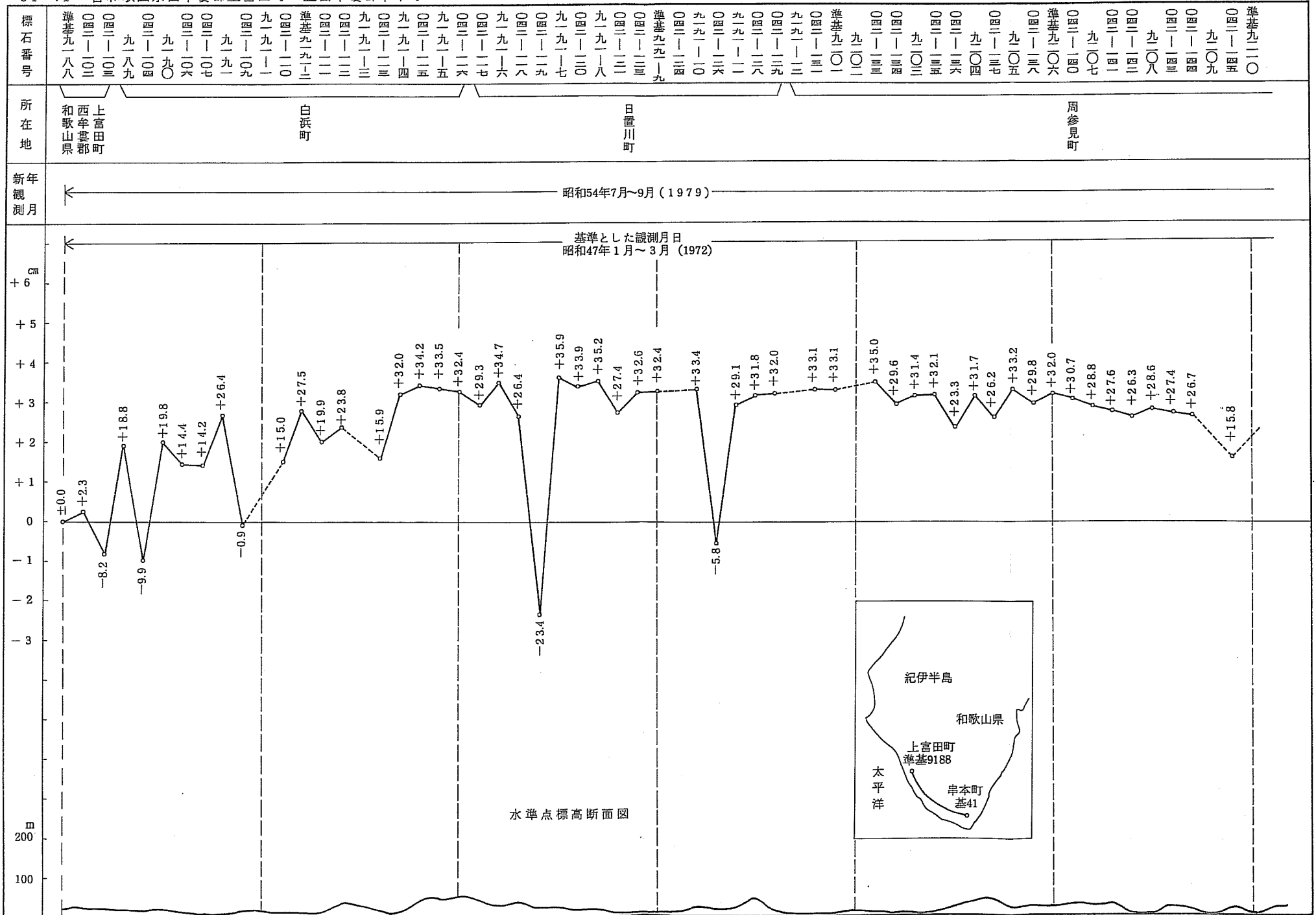
標石番号	基 三三	準基 四八七九	準基 四八八〇	四八八一	四八八二	四八八三	附 一四	四八八四	四八八五	四八八六	四八八七	四八八八	四八八九	準基 四八八九	四九〇〇	四九〇一	四九〇二	四九〇三	四九〇四	四九〇五	四九〇六	四九〇七	四九〇八	四九〇九	四九一〇	四九一一	四九一二	四九一三	準基 四九一三
所在地	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県

新年観測月
 ← 昭和54年7月~9月 (1979) →

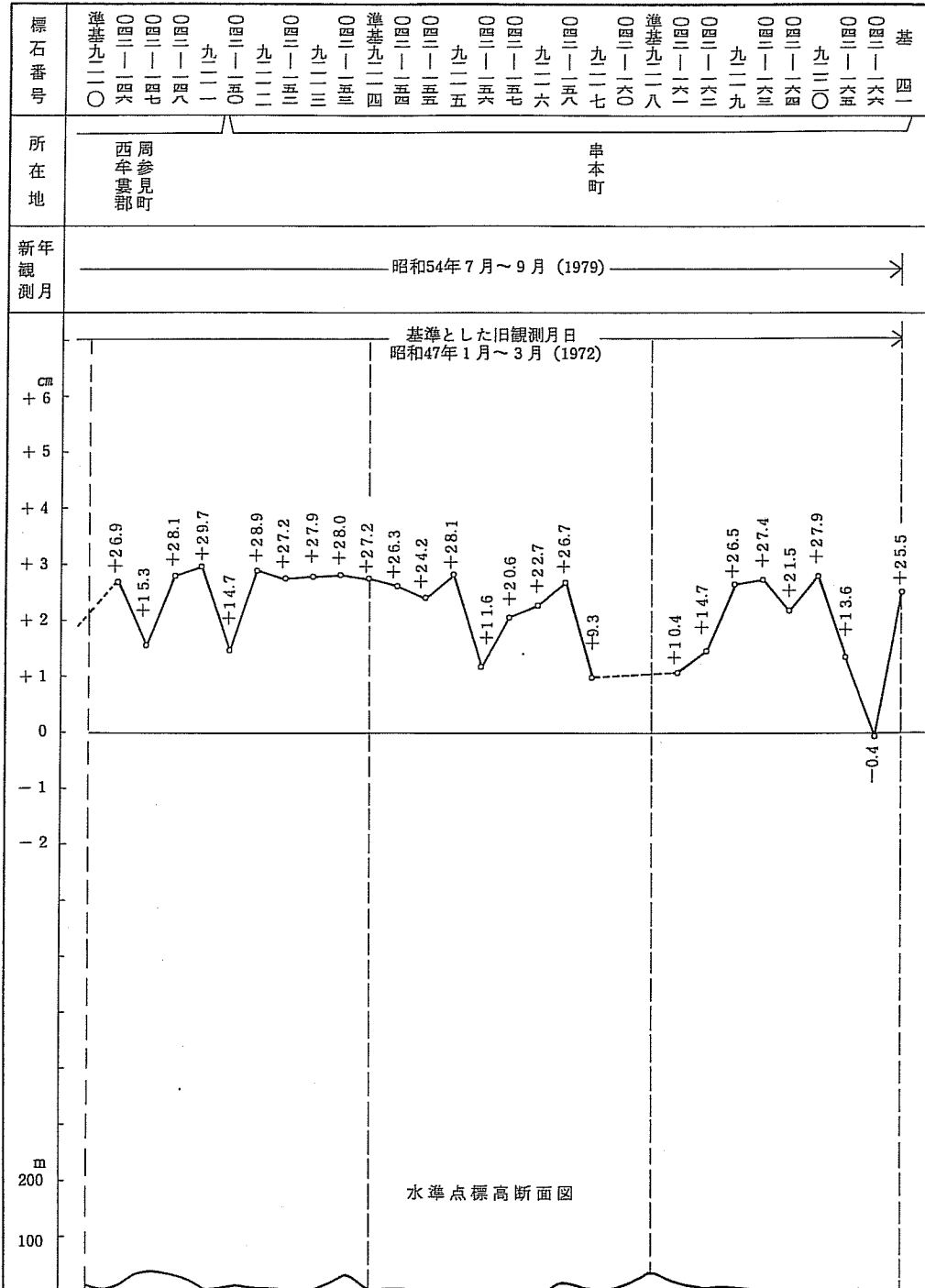


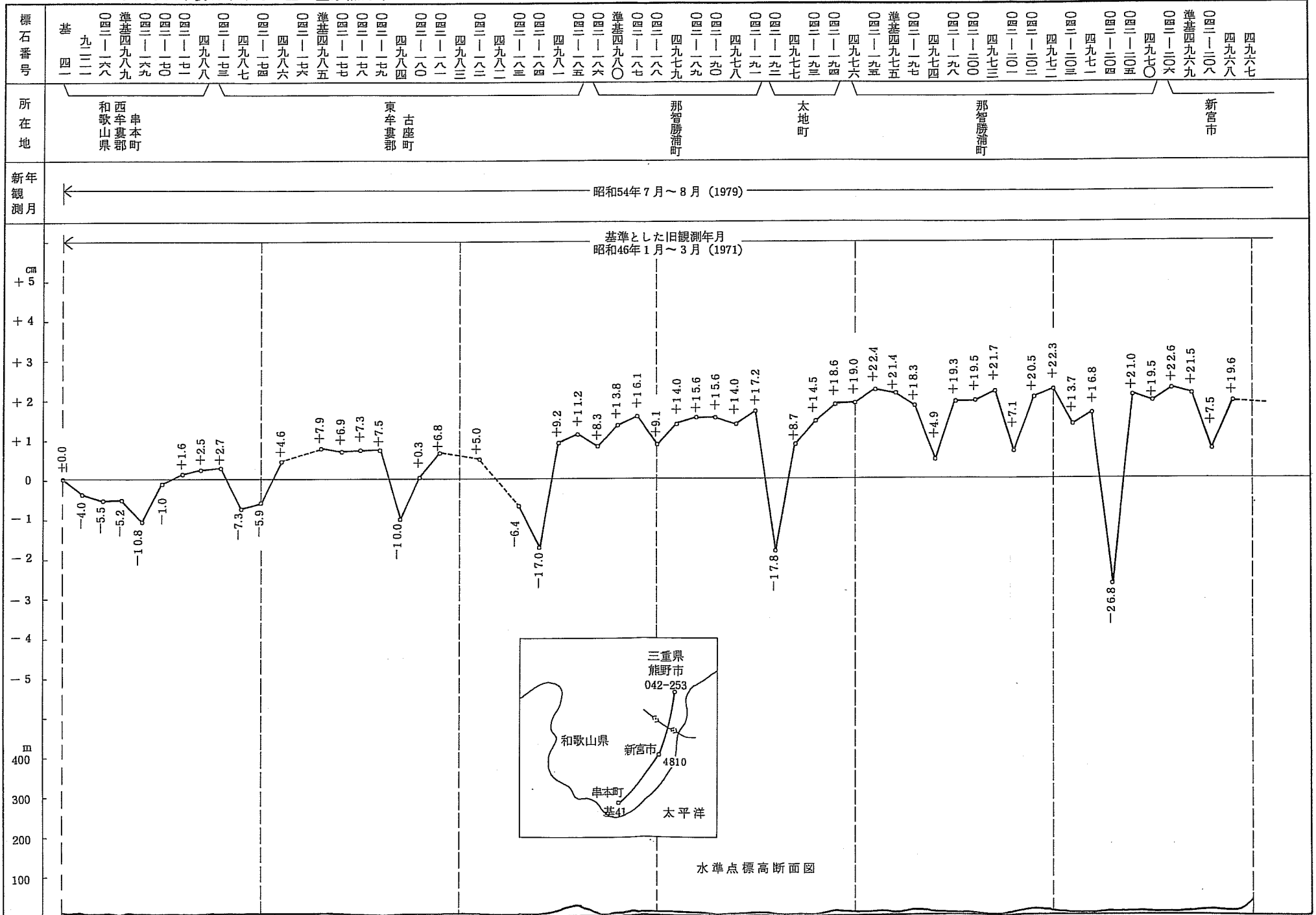
自和歌山県和歌山市 至西牟婁郡上富田町



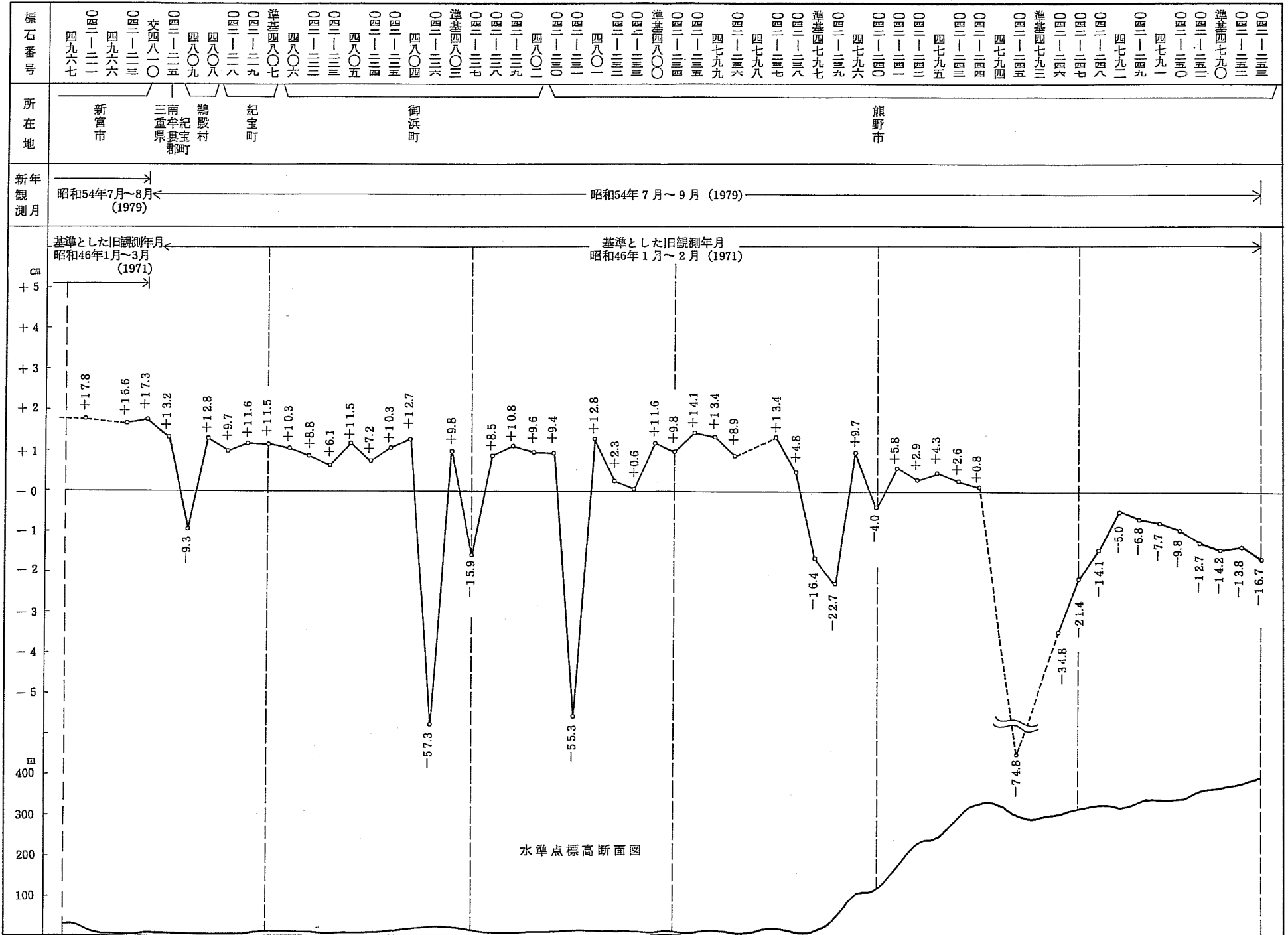


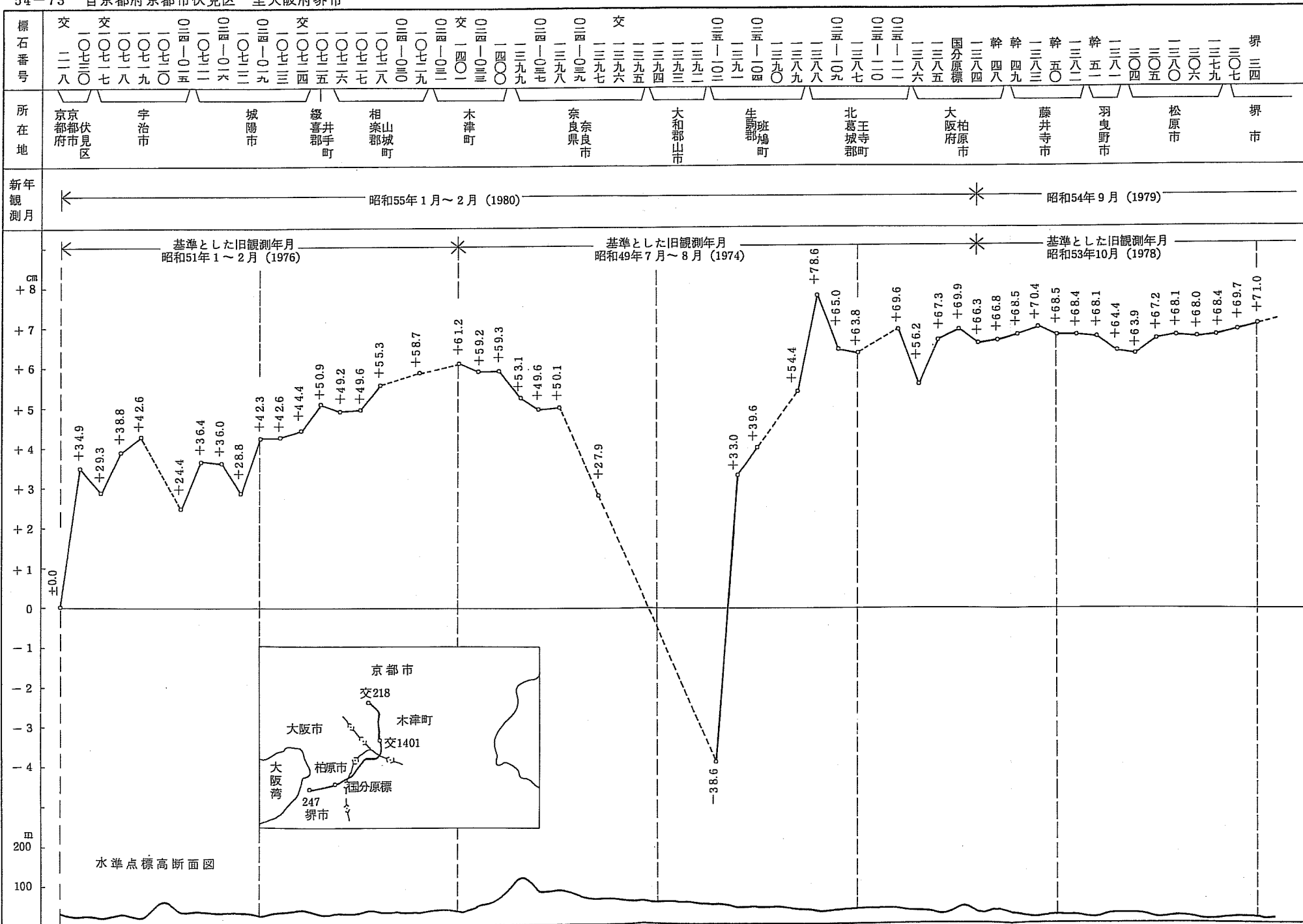
自和歌山県西牟婁郡上富田町 至西牟婁郡串本町



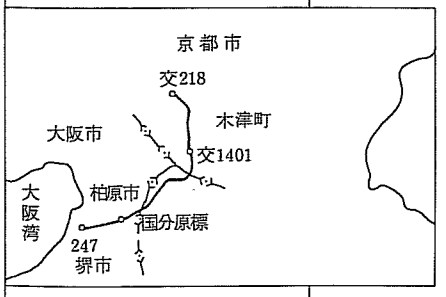


自和歌山県西牟婁郡串本町 至三重県熊野市





水準点標高断面図



m
200
100

+8
+7
+6
+5
+4
+3
+2
+1
±0.0
-1
-2
-3
-4

基準とした旧観測年月
昭和51年1~2月(1976)

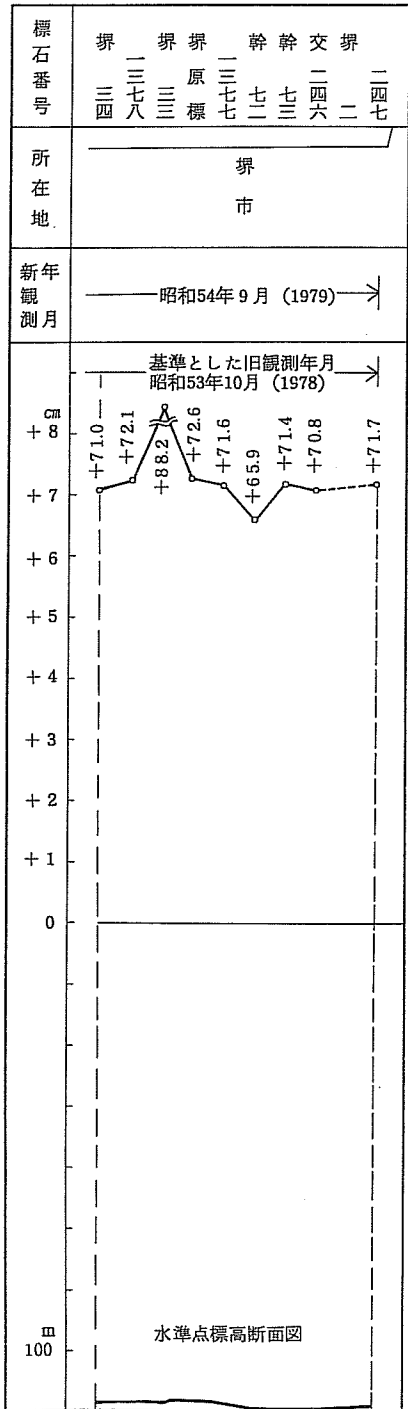
基準とした旧観測年月
昭和49年7月~8月(1974)

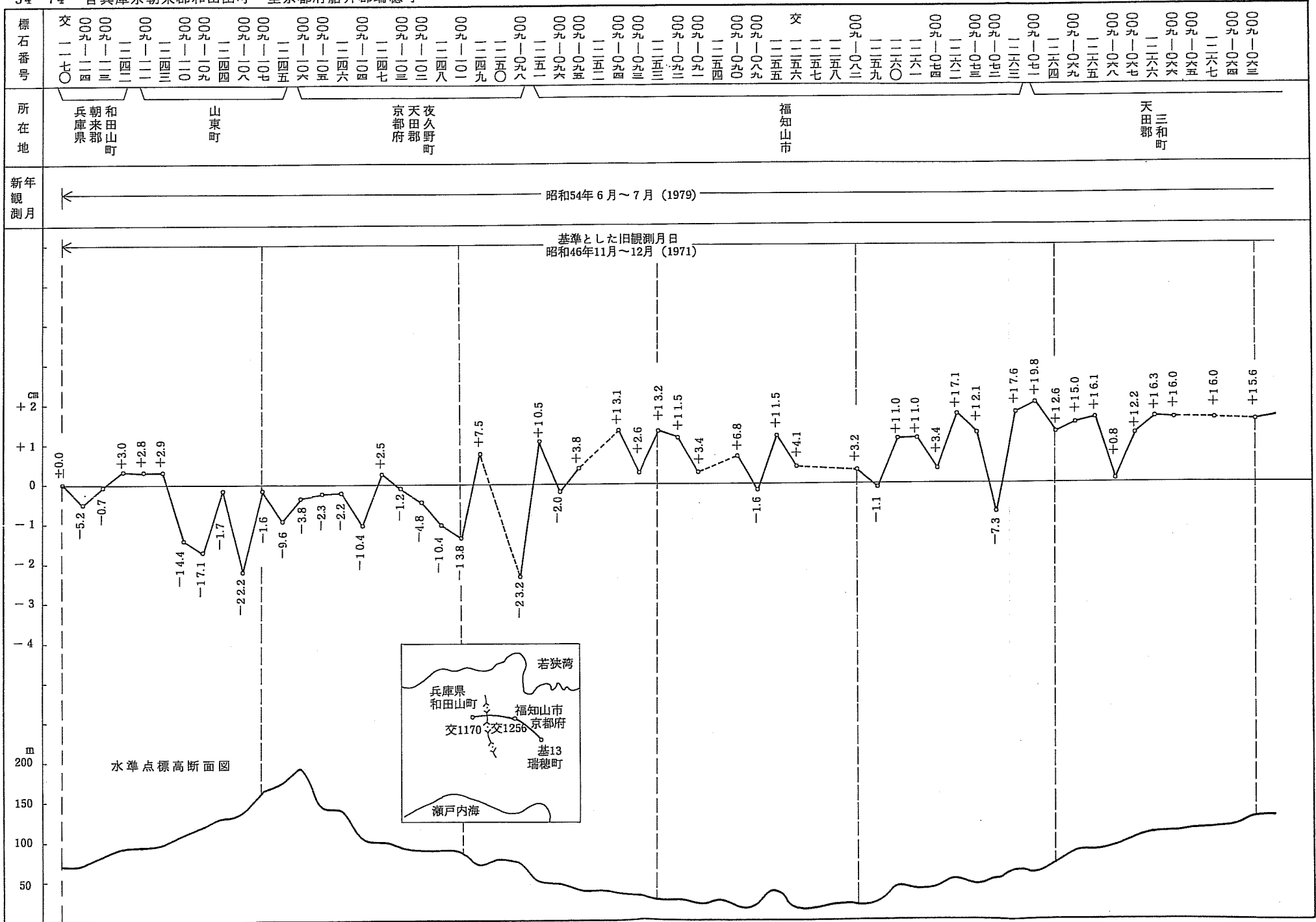
基準とした旧観測年月
昭和53年10月(1978)

昭和55年1月~2月(1980)

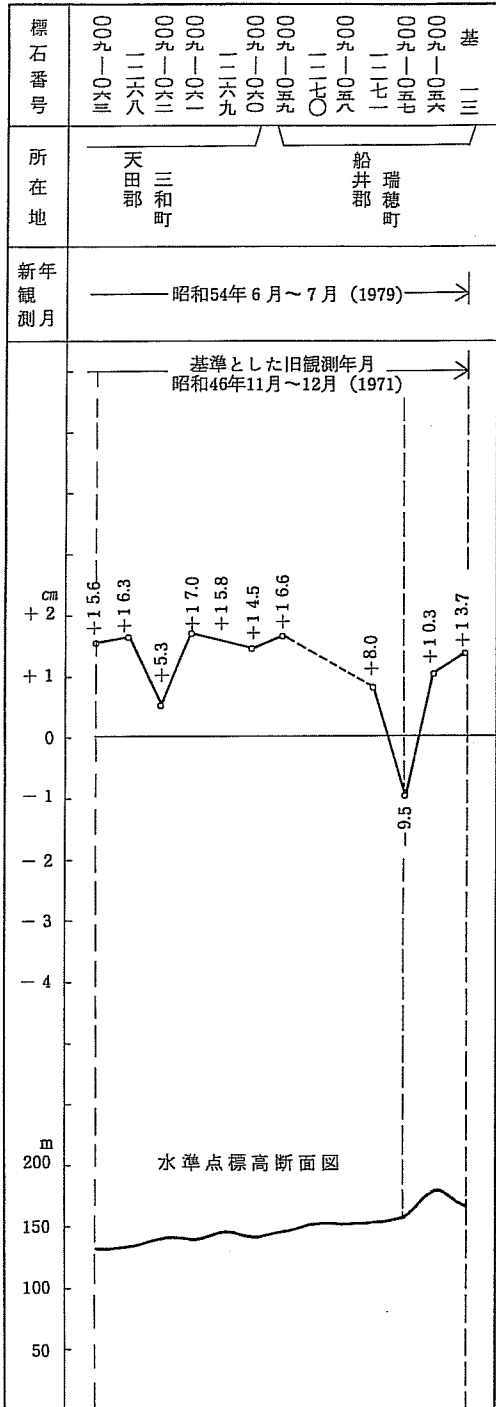
昭和54年9月(1979)

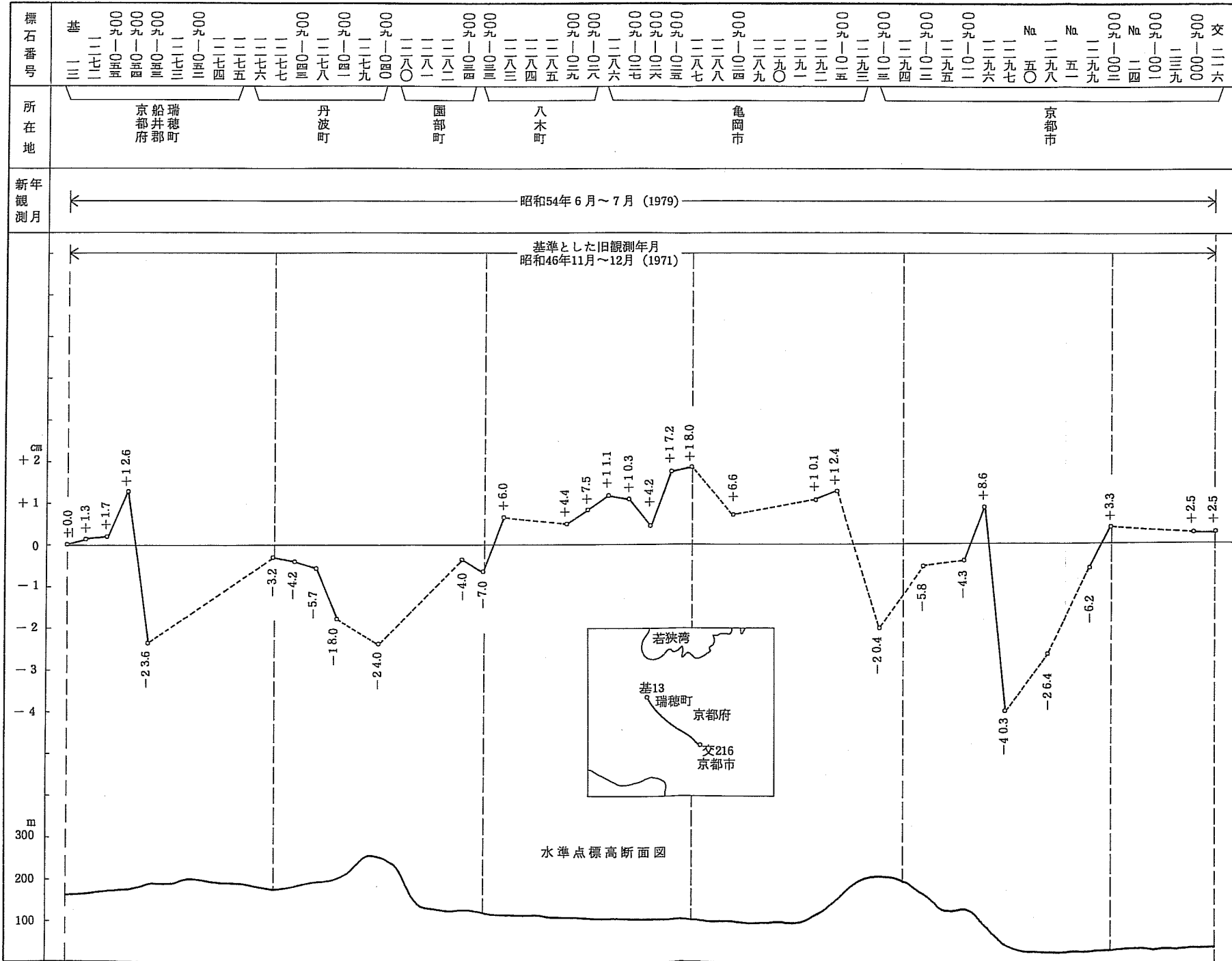
自京都府京都市伏見区 至大阪府堺市

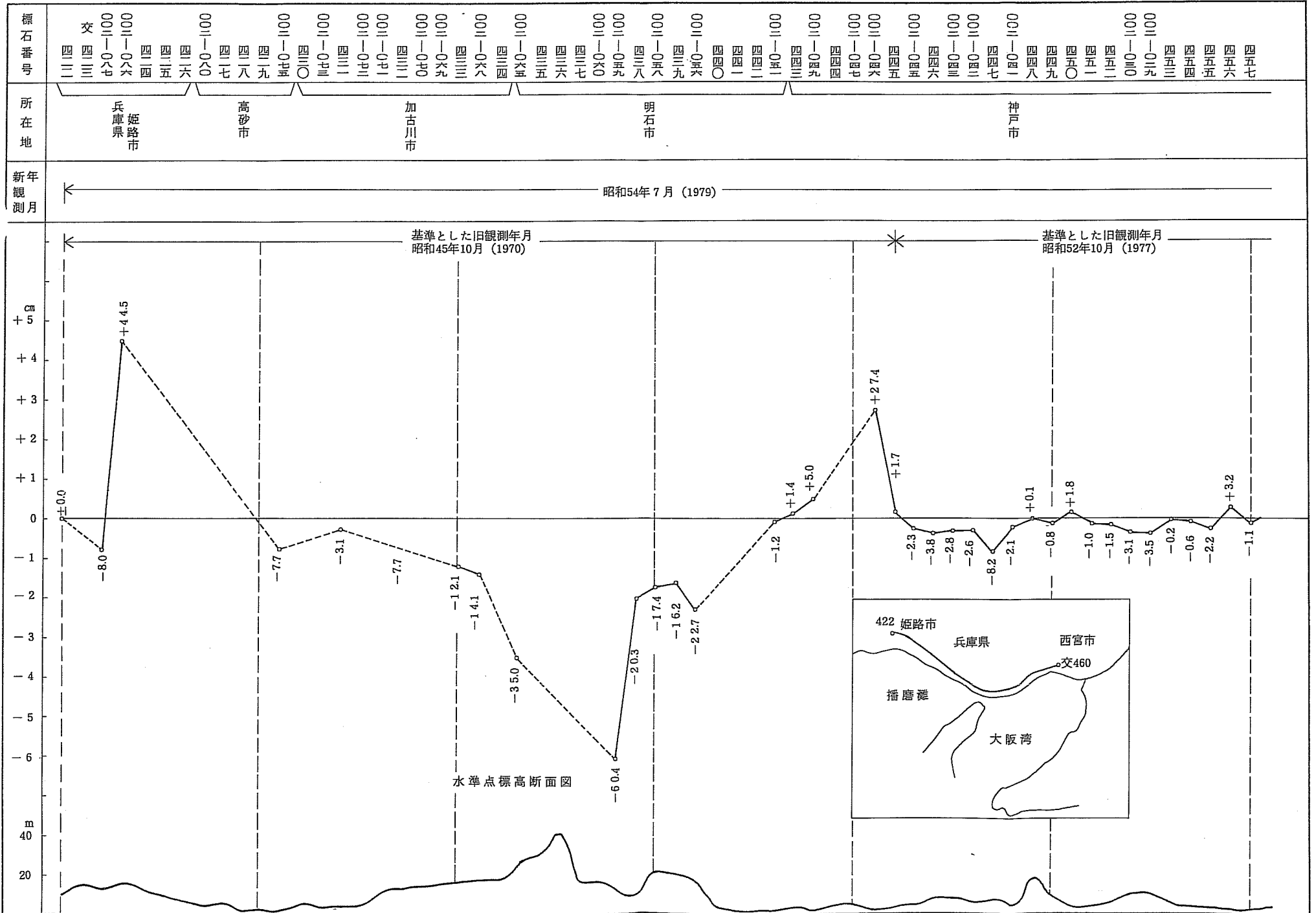




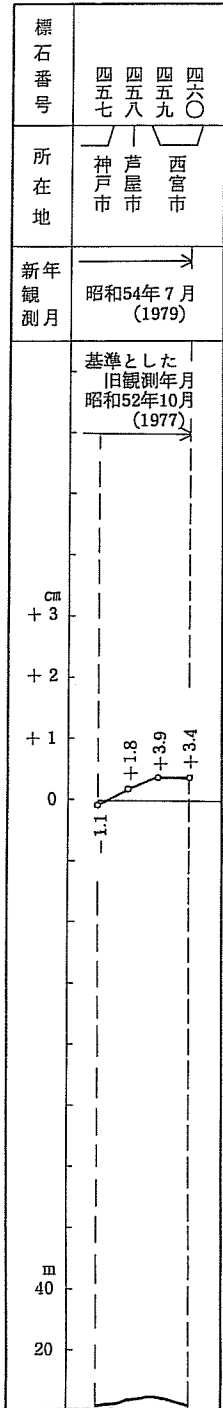
自兵庫県朝来郡和田山町 至京都府船井郡瑞穂町

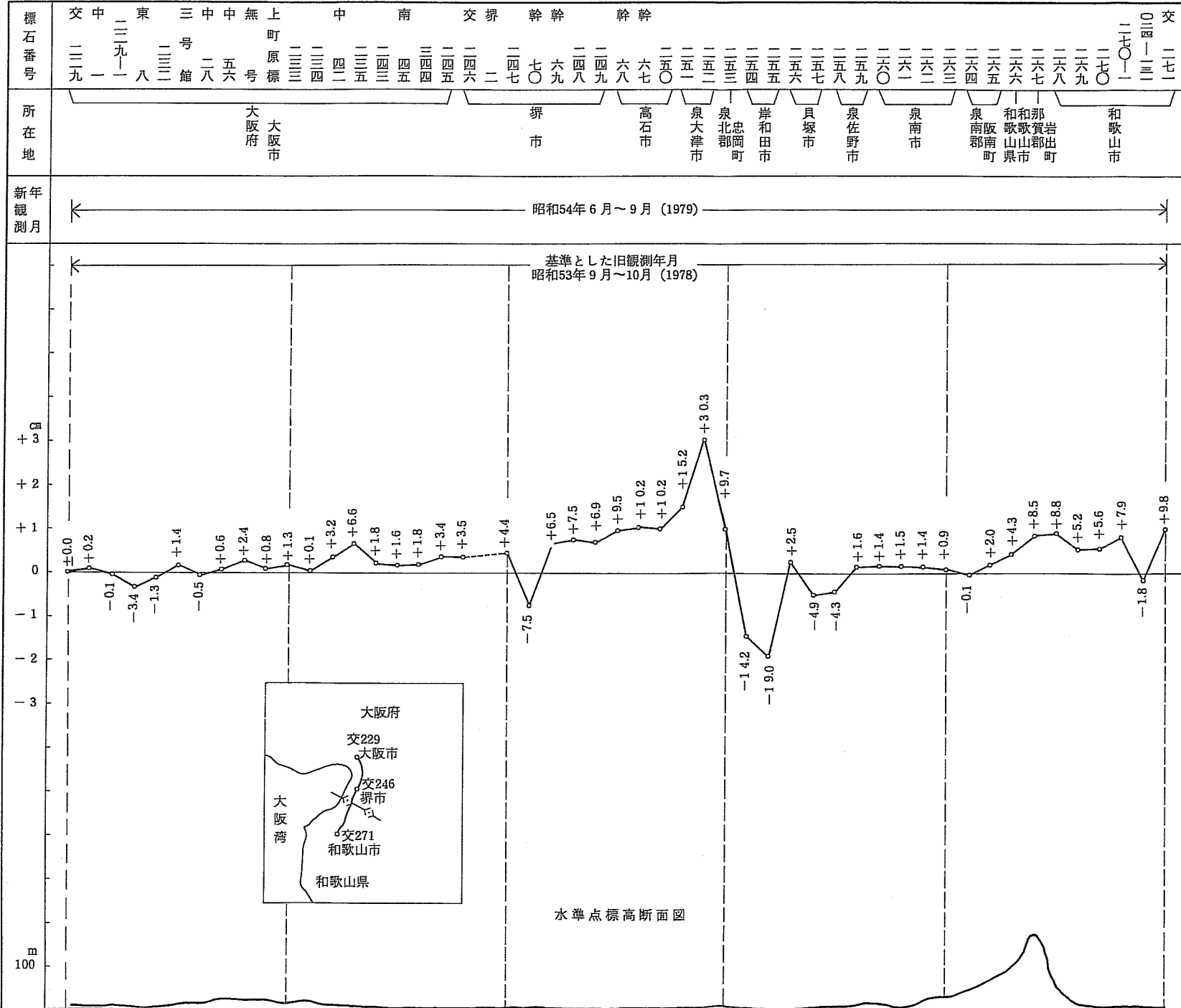


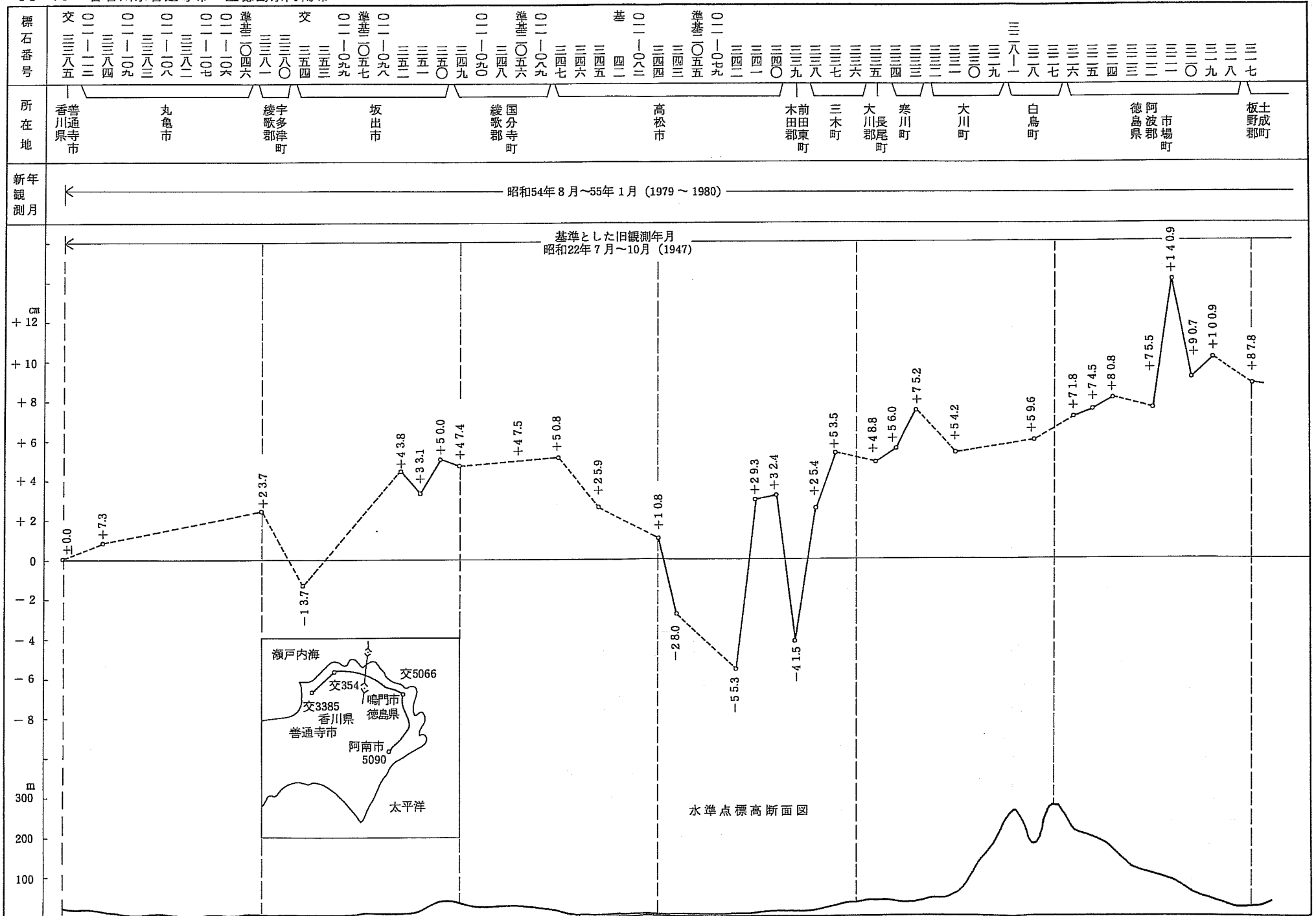




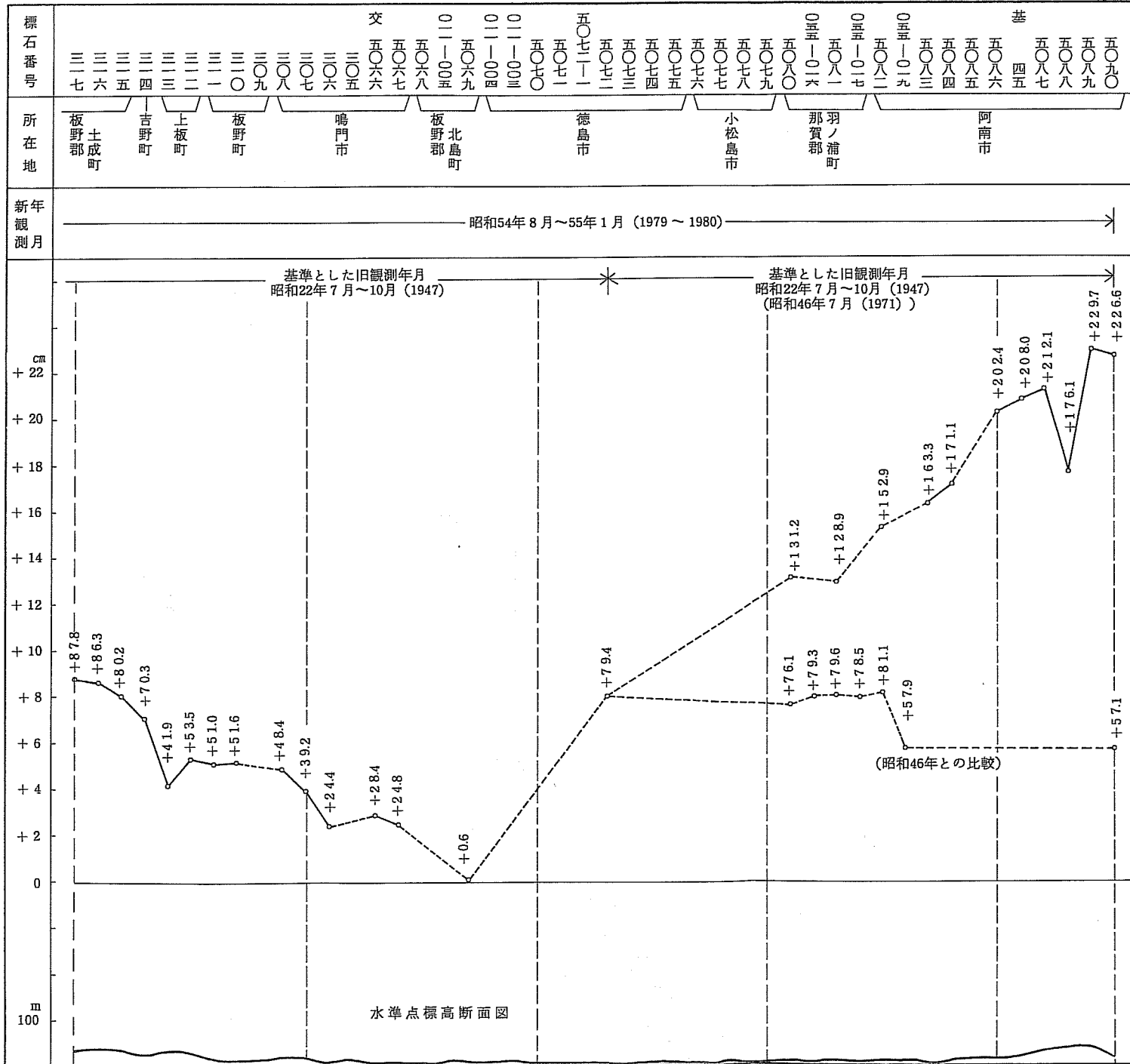
自兵庫縣姫路市 至西宮市

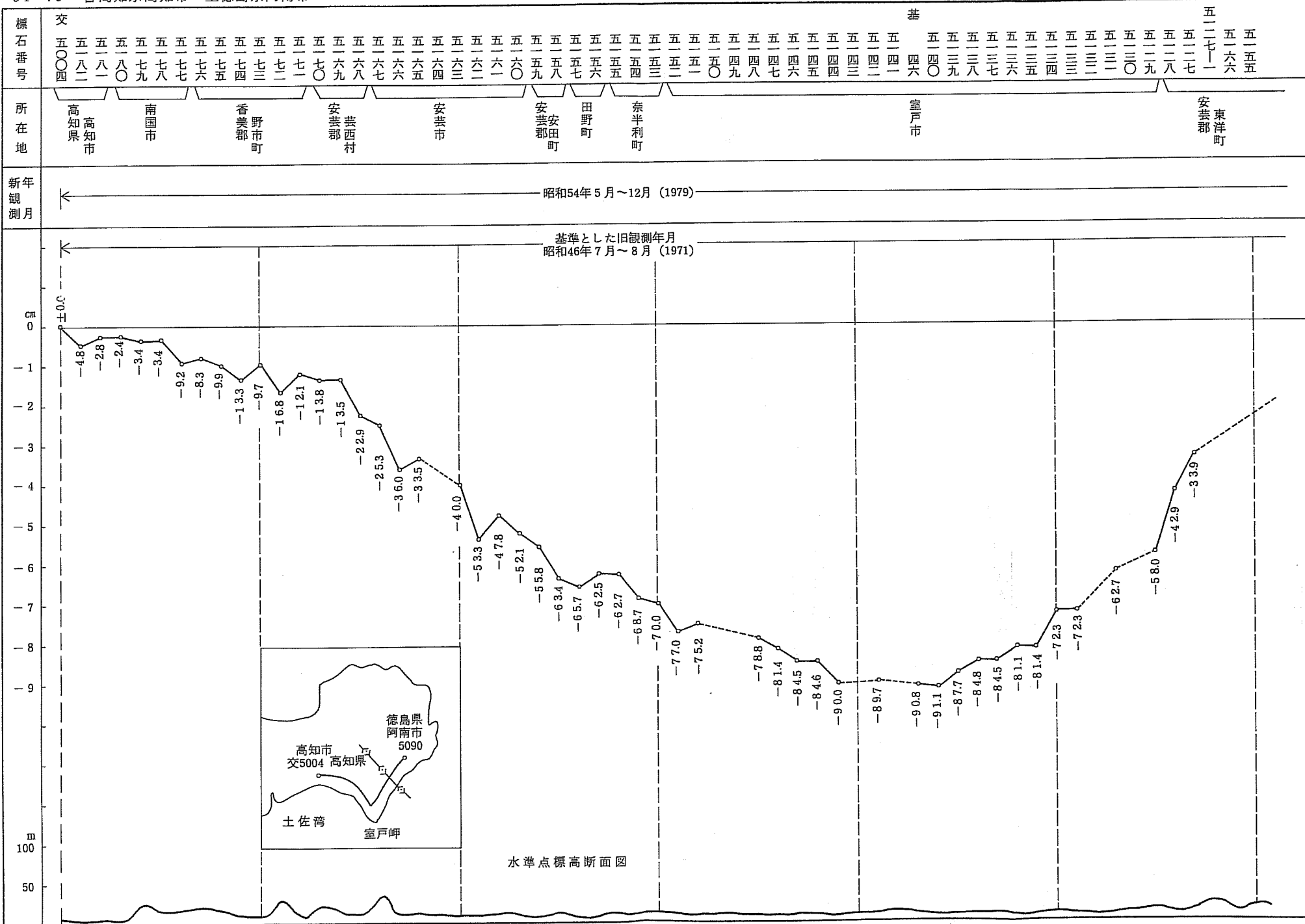




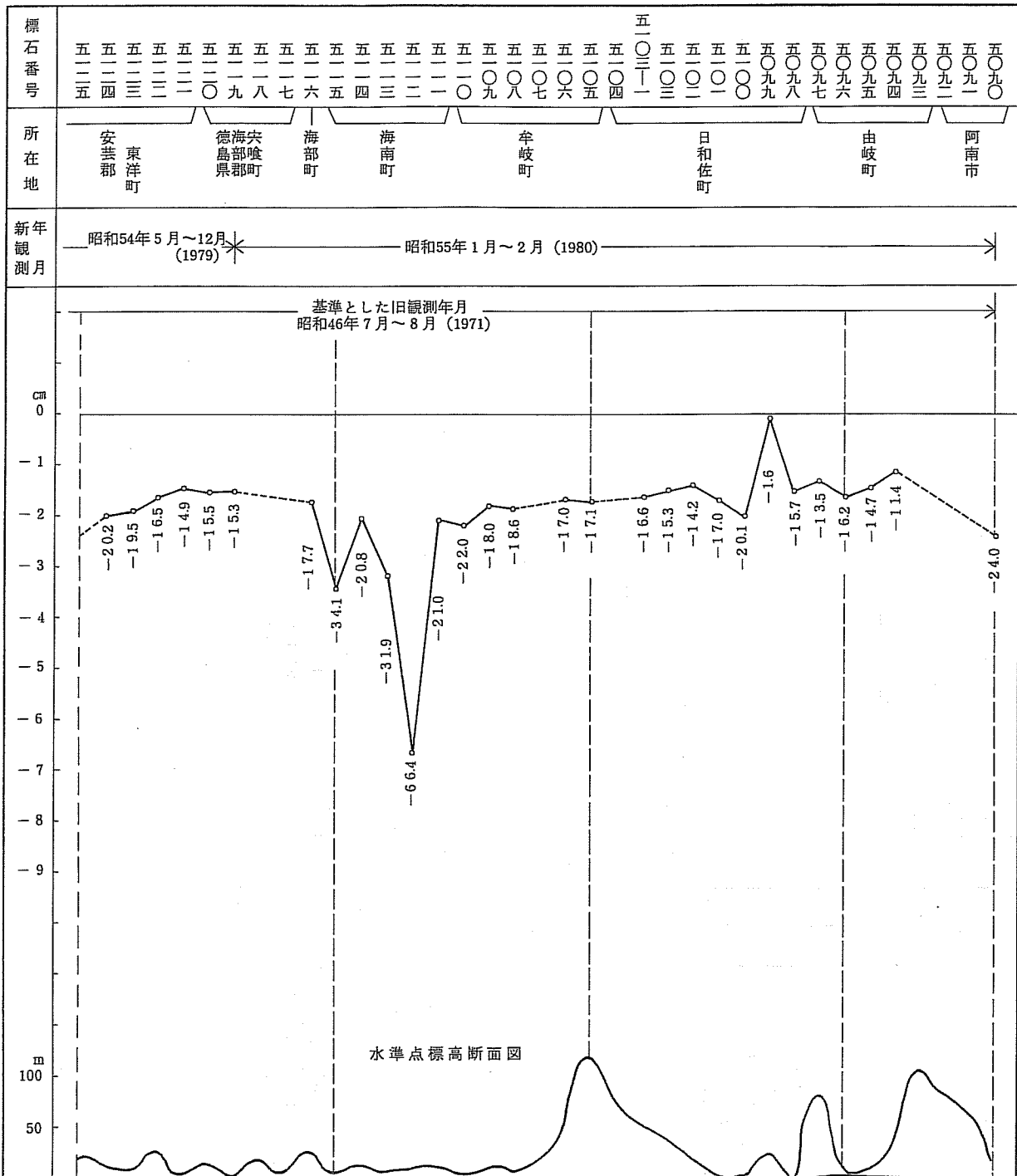


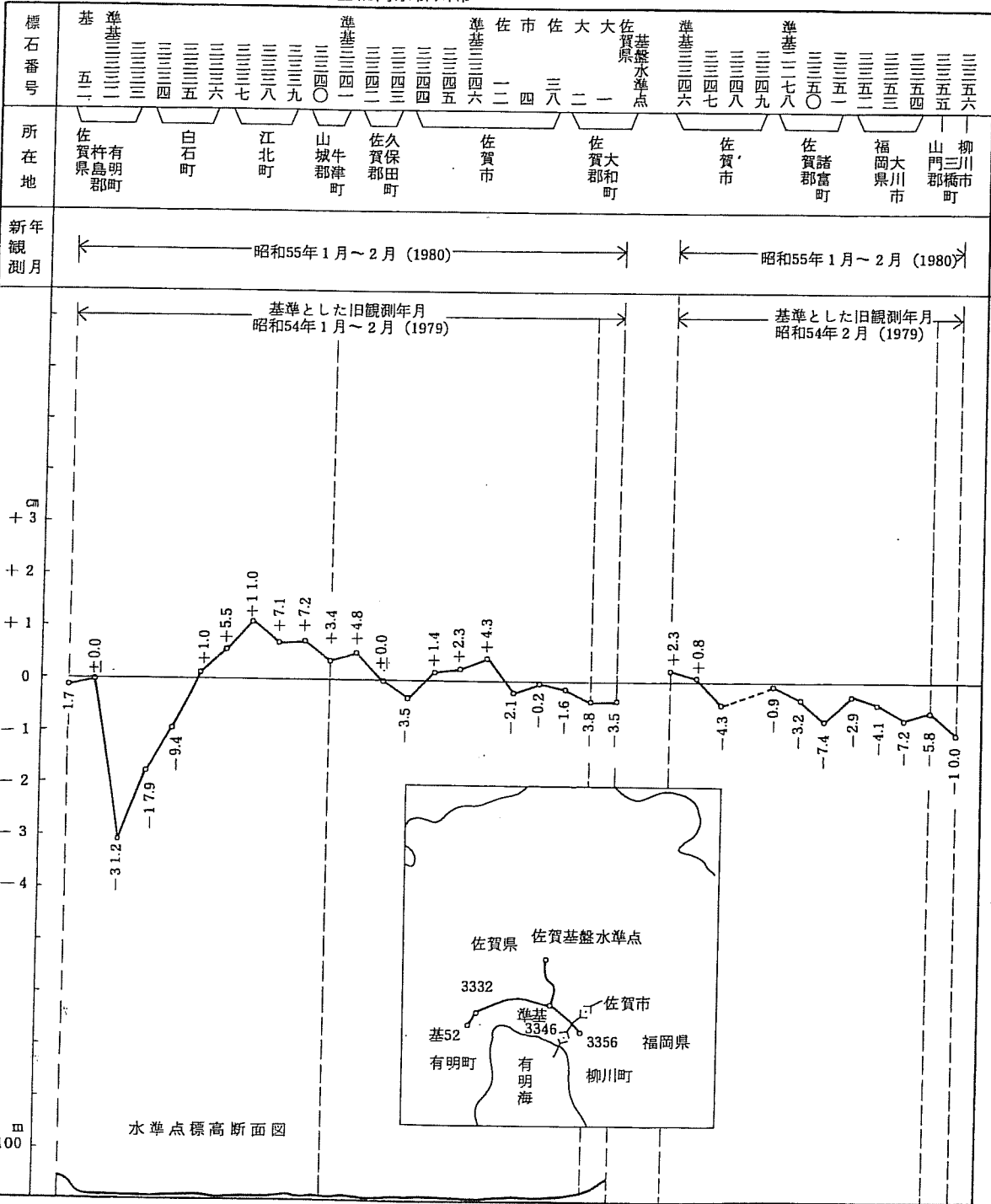
自香川県善通寺市 至徳島県阿南市





自高知県高知市 至徳島県阿南市





標石番号	九六九九二 九七〇四 九七〇五 九七〇六 九七〇七 九七〇八 九七〇九 九七〇一〇 九七〇一一 九七〇一二 九七〇一三
所在地	沖繩県国頭郡大宜味村 国頭郡国頭村

新年観測月
 ← 昭和54年5月~6月 (1979) →

